

# 上智大学

## 学部学科の3つのポリシー

Three Integrated Policies for Undergraduate  
Faculties and Departments, Sophia University

(予定)  
(Tentative)

本資料に記載の情報は、2026年5月現在の計画に基づくものです。  
今後、内容が変更となる可能性がありますので、  
あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

The information contained in this document is based on plans as of May 2026.  
Please note that the content is subject to change.

## 目次

### 神学部

神学部神学科の3つのポリシー .....	1
----------------------	---

### 文学部

文学部の3つのポリシー .....	5
哲学科の3つのポリシー .....	9
史学科の3つのポリシー .....	13
国文学科の3つのポリシー .....	17
英文学科の3つのポリシー .....	22
ドイツ文学科の3つのポリシー .....	28
フランス文学科の3つのポリシー .....	34
新聞学科の3つのポリシー .....	40
Three policies of the Department of Journalism SPSF .....	45

### 総合人間科学部

総合人間科学部の3つのポリシー .....	53
教育学科の3つのポリシー .....	57
Three Policies of the Department of Education SPSF .....	63
心理学科の3つのポリシー .....	71
社会学科の3つのポリシー .....	75
Three policies of the Department of Sociology SPSF .....	79
社会福祉学科の3つのポリシー .....	87
看護学科の3つのポリシー .....	91

### 法学部

法学部の3つのポリシー .....	95
法律学科の3つのポリシー .....	100
国際関係法学科の3つのポリシー .....	104
地球環境法学科の3つのポリシー .....	108

### 経済学部

経済学部の3つのポリシー .....	112
経済学科の3つのポリシー .....	117
Three Policies of the Department of Economics SPSF .....	122
経営学科の3つのポリシー .....	130
Three Policies of the Department of Management SPSF .....	135

## 外国語学部

外国語学部の3つのポリシー.....	143
(※外国語学部の新たな3つのポリシーは2027年度以降公開、2028年度以降適用予定)	

## 総合グローバル学部

総合グローバル学部総合グローバル学科の3つのポリシー.....	144
総合グローバル学科国際関係論分野の3つのポリシー.....	149
総合グローバル学科地域研究分野の3つのポリシー.....	153
Three policies of the Department of Global Studies SPSF.....	157
Three Policies of the Department of Global Studies SPSF Field of Studies: International Relations.....	165
Three Policies of the Department of Global Studies SPSF Field of Studies: Area Studies.....	173

## 国際教養学部(Faculty of Liberal Arts)

国際教養学部国際教養学科の3つのポリシー.....	181
Three Policies of the Department of Liberal Arts.....	186

## 理工学部

理工学部の3つのポリシー.....	194
物質生命理工学科の3つのポリシー.....	198
機能創造理工学科の3つのポリシー.....	203
情報理工学科の3つのポリシー.....	208

## 神学部神学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学神学部神学科は、カトリック神学の研究と教育によって真理を探究し、キリスト教的価値観にもとづいて現代世界の諸問題を解決するために貢献する地球市民を育成することと、カトリック教会の聖職者・教職者を養成することとを目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部での専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(神学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

カトリック神学の基礎を修得し、キリスト教的価値観を理解する力、

dDP1-2.

キリスト教的価値観にもとづいて現代世界における諸問題を発見し、問題の解決を追究する力

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

学生が選択した「系」(神学系・キリスト教倫理系・キリスト教文化系)の分野を深く理解し、各分野における諸問題を見出して探求する力

dDP2-2.

それぞれの「系」の分野における諸問題を解決するために、異なる立場や文化を有する人々と対話し協働する力

#### 3. 叡智を探究し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

神学を研究するための調査・論考・発表に関するアカデミック・スキルズ

dDP3-2.

学生が選択した「系」(神学系・キリスト教倫理系・キリスト教文化系)の分野に沿ったテーマで卒業論文を完成させる能力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造・改ざん・盗用などの不正を行わず、神学分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学神学部神学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生がカトリック神学に関連した幅広い知識を修得するとともに、キリスト教的価値観にもとづく教養を身につけるため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、カトリック神学の基礎的素養を養うために、学部学科が開講する必修科目を設置します【100番台～300番台】。
- 2年次に、神学を研究するための調査・論考・発表に関するアカデミック・スキルズを養うために、学部学科が開講する「神学アカデミック・スキルズ」の科目を設置します【200番台】。
- 3年次からは、学生が選択する系(神学系、キリスト教倫理系、キリスト教文化系)に沿って、学生が各自の関心に従い、より専門的に勉学を深めるために、学部学科開講の選択必修科目と選択科目を設置します【200番台～400番台】。
- 4年次には、神学の勉学を総合する卒業論文執筆に向けて、問題解決と発表の能力を育てるために、学部学科開講の「卒業論文 I」、「卒業論文 II」の科目を設置します【400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、2年次の「神学アカデミック・スキルズ」【200番台】のほか、4年次の「卒業論文 I」、「卒業論文 II」【400番台】を通じて指導します。
- 教皇庁認可神学部共通の国際的学位である Sacrae Theologiae Baccalaureatus (STB) ・ Sacrae Theologiae Licentiatu (STL) ・ Sacrae Theologiae Doctor (STD) を取得するための基準に則した学部学科開講の神学専門科目、また教会の必要に応えるための宣教実務に関する学部学科開講の神学専門科目を設置します【100番台～400番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1-1 と dDP1-2 に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する学科開講の必修科目、全学教養教育である全学共通科目の各科目の履修を通じて、カトリック神学の基礎を修得し、キリスト教的価値観を理解する力を身に付けるとともに、キリスト教的価値観にもとづいて現代世界の諸問題を見出し、問題の解決を追究する力を身につけます。

dDP2-1 と dDP2-2 に掲げる目標を達成するために、3 年次以降に学生が選択する系(神学系、キリスト教倫理系、キリスト教文化系)にもとづいて、学科開講の選択必修科目と選択科目を履修して、専門分野および関連分野を理解し、各分野における諸問題を見出して探求する力を身に付けるとともに、諸問題を解決するために、異なる立場や文化を有する人々と対話し協働する力を身につけます。

dDP3-1 に掲げる目標を達成するために、2 年次に学科開講の必修科目「神学アカデミック・スキルズ」を履修して、神学を研究するための調査・論考・発表に関するアカデミック・スキルズを身につけます。

dDP3-2 に掲げる目標を達成するために、4 年次に学科開講の必修科目「卒業論文 I」、「卒業論文 II」を履修して、問題解決と発表の能力を修得し学生が選択した「系」(神学系・キリスト教倫理系・キリスト教文化系)の分野に沿ったテーマで卒業論文を完成させる能力を身につけます。

dDP3-3 に掲げる目標を達成するために、2 年次の「神学アカデミック・スキルズ」、4 年次の「卒業論文 I」、「卒業論文 II」での指導に加え、4 年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実習等の多様な授業形態を通じた学修を行います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修等を実施する他、協働的な学修を行えるよう、様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学神学部神学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- カトリック神学とキリスト教的価値観を学ぶ意欲
- カトリック神学とキリスト教的価値観にもとづいて現代世界における諸問題の解決のために働き、より良い世界の構築に貢献する態度
- 人間の尊厳・基本的人権を適切に認識するとともに、社会正義の理解・実践に積極的に取り組む姿勢

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 英語・国語・地理歴史の高等学校卒業レベルの基礎学力
- キリスト教に関する基本的知識

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 異文化や国際性に開かれた柔軟な思考能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 人間の尊厳と社会正義に関心を持ち、ボランティア活動などの実践にも積極的な姿勢
- カトリック教会と人類社会への貢献を望む意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力・英語の能力を問う試験に加えて、本学科で学ぶことへの意欲と適性を評価する面接試験を実施します。

特別入学試験では、多様な背景をもった学生を積極的に受け入れるために複数の試験制度を設け、日本語の他に英語やそれ以外の語学能力とキリスト教の基礎知識を問う試験を行い、本学科で学ぶことへの意欲と適性を評価する面接試験を実施します。また、カトリック教会の司祭志願者をはじめ社会の多様な人々を受け入れるため、編入学枠を設けています。

## 文学部の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学文学部は、幅広い教養と柔軟な思考力を有し、世界と未来に開かれた新しい知を創造するために、哲学、歴史学、文学、新聞学の広く深い専門知識・技能を教授します。それにより、人間と世界を真に人間的な観点から考察し理解する知性と感性を備え、それを人間の尊厳に適ったしかたで活用して社会・文化の発展に貢献しうる人格を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学部の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(哲学、歴史学、文学、新聞学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

fDP1-1.

哲学、思想、歴史、芸術、文化、社会現象などに見られる人間性の表現を読み解き、それを通じて人間性を理解するとともに、それを人間の尊厳に適ったしかたで活用することに積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

fDP2-1.

多様な人間のあり方を理解するとともに、多様性の中に共通の人間性を探求する力

fDP2-2.

自己の意見を理解可能な形で表現し、対話を通じて他者を理解し、他者と協働する力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

fDP3-1.

哲学、歴史学、文学、新聞学の専門分野における基礎的知識・技能と分野横断的知識・技能

fDP3-2.

自らの修得した専門的知識・技能の社会的意義を自覚し、新たな課題を見出し、それを探求しようとする意欲・姿勢

fDP3-3.

学問を修めるものとしての自覚をもち、学問の信頼性を守り、人文学・新聞学の分野で責任ある学術的活動を実践する倫理的規範と倫理的態度

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学部では、学生が哲学、歴史学、文学、新聞学の幅広い総合的な専門的知識・技能を体系的に修得し、それを用いて多様な問題に取り組む探求力を養成するために、以下のように教育課程を編成します。

学部では「初年次研修」を実施し、「学部横断型人文学プログラム」を設置します。

各学科では、基礎科目、演習科目、実習科目、卒業論文などを設置します。また、各学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、各学科が専門分野の基礎科目、語学科目、演習科目を設置します【100番台】。
- 2年次には、3年次以降の専門教育に接続する専門分野の科目および語学科目を設置します【100番台・200番台】。
- 3年次以降は高度な専門科目を設置します。
- 多様な問題に取り組む探求力を養成するために、各学科において演習科目や実習科目【200番台～400番台】や卒業論文【400番台】を設置します。
- 学術にかかわる倫理的規範と倫理的態度については、各学科の1年次生の初年次研修、基礎科目、演習科目をはじめ、2～3年次の演習授業、卒業論文などを通じて指導します。
- 学部や各学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学部の学生は、哲学、歴史学、文学、新聞学の高度な専門的知識・技能、批判的思考力および対話的思考力、各自の専門性に基づいて人間性を広く深く探求する技法と態度を身につけるために、学科科目、学部科目、全学共通科目をバランスよく学修します。

fDP1に掲げる目標を達成するために、学生は初年次から各分野の専門知識・技能に関わる科目を履修して、テキストから人間性の自己表現を理解する技法を修得し、演習科目や実習科目、卒業論文を通じて人間性を自ら探求する態度を養います。また、全学共通科目の履修を通じて、専門分野に限定されない知識・技能を修得し、人間性理解の幅を広げます。

fDP2に掲げる目標を達成するため、学生は各分野の専門知識・技法を用いて人間性の探求を行うとともに、学科科目の授業に豊富に設けられている発表、質疑、討論、共同研究などを通じて、対話と協働の力を養います。さらに全学共通科目によって、他者理解、対話と協働の力の幅を広げます。

fDP3に掲げる目標を達成するために、学生は初年次研修に加え学部横断型人文学プログラムの諸科目、他学科の提供科目を履修することによって、各専門分野の知識・技能だけでなく、哲学、歴史学、文学、新聞学の横断的知識・技能を身につけ、自らの専門分野の意義を理解し、自ら課題を見出し、探求を続ける態度を養います。

また、1年次に履修する基礎科目や演習科目、2～3年次に履修する演習科目、4年次に履修する卒業論文を中心として、あらゆる学修活動を通じて、倫理的規範に触れ、それを守り自ら倫理的判断を下す態度を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では卒業論文を作成し主体的な探求に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学部では、学生が学部および各学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実習、個別指導等の多様な授業形態を通じた学修を行います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはリアクションペーパー、授業内討論、発表、実習、共同研究、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)などの様々な方法による学修を行うとともに、授業外においては課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学文学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学部では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学部のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、各学科で定める「求める学生像」に加えて、文学部共通のものとして次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間性に対する関心とそれを探求する意欲
- 哲学、歴史学、文学、新聞学に対する関心とそれらを専門的に学ぶ意欲
- 現代世界の諸問題に対する関心とそれを探求する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 哲学、歴史学、文学、新聞学を専門的に学ぶ際に必要な高等学校卒業レベルの基礎的な知識と技能

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自ら考え、他者とともに考えるために必要な基本的な思考力、判断力、表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 哲学、歴史、文学、時事問題に関心を持ち、それを主体的に、多様な観点から、他者とともに考える意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

各学科が定める入試選抜の方法により、学部および各学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜します。

## 哲学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学文学部哲学科では、「上智(知恵)の探究」の理念に基づき、哲学・思想を根本から研究することによって、人間と世界に関する広く深い理解をもって現代社会に貢献できる人材の養成を目的としています。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(哲学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

人間と世界をめぐる哲学的問題、なかでも「真」「善」「美」という基本的価値をめぐる哲学的問題の内容と意味を理解し、それらを自ら考える能力

dDP1-2.

哲学的問題を探求してきた人類の歩みに関する十分な知識・教養をもち、その探究の継承者としての自覚と責任をもって探究を続ける能力

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

哲学的な知識・技能・態度を基盤として、自律的に「他者のために、他者とともに」生きることによって、多様なものが共生する世界に貢献する能力

dDP2-2.

思考力を涵養し、人類に普遍的な基盤によって立つために資する古典文献の原語(ドイツ語、フランス語、ラテン語、ギリシャ語など)での読解能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

哲学的問題を自ら考えかつ他の人々とともに考えるための、問題を理解し、対話し続ける柔軟な理解力

dDP3-2.

現代社会の諸事象の根底にある哲学的問題を洞察し、それを哲学的な知識・教養および思考・修辞技法を用いて説得力をもって他者に伝えることのできる表現力

dDP3-3.

資料の収集と批判、自身による考察と発表に必要な倫理的・社会的な責任感

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部哲学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が哲学思想、倫理、美学などひろがりのある哲学的素養を一步一步修得し、それを実践し、応用してゆく技術を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 1～2年次に導入科目(「哲学入門」)、基礎ゼミ(「哲学演習 I」「哲学演習 II」)、および哲学史科目を履修し、哲学思想に慣れ、史的知識とともに哲学的思考の基礎力を養います【100番台・200番台】。
- おなじく1～2年次に選択語学(英語、ドイツ語、フランス語、ラテン語から2言語)の基礎コースを履修し(ギリシャ語は3年次以後に選択科目)、3～4年次の専門的な文献研究を準備します【100番台・200番台】。
- 3～4年次には、語学力を前提とした「演習」「文献講読」を履修するとともに、「人間論」「認識論」「自然神学」「形而上学」「倫理学」「美学」などの体系的科目を履修し、最終学年での卒業論文を準備します【300番台・400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、基礎ゼミ(「哲学演習 I」「哲学演習 II」)のほか、「卒業論文指導」「卒業論文」を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1、dDP2 に掲げる目標を達成するために、1～2年次に選択語学科目のほか、哲学史科目(「古代哲学史」「中世哲学史」「近世哲学史」「現代哲学史」)を学修し、人類の哲学的探究の歩みに関する知識と教養を身につけます。

dDP1、dDP2、dDP3 に掲げる目標を達成するために、主として3～4年次に配当された「演習科目」および「文献講読」により、哲学的な問題を討論・対話を通じて探求する技法と作法、哲学的文献の読解の技能、およびそれに必要な外国語の技能を養います。哲学思想、倫理学、芸術文化の3つの系列分けを基礎とした体系的科目の履修により、一つ一つの思想の理解では得られない広い視野での展望を獲得しつつ、一人一人の哲学的関心を系統的に方向づけ、体系的に研究に取り組む技法と作法を養います。

dDP3 に掲げる目標を達成するために、最終学年では「卒業論文指導」「卒業論文」により、探究を自律的に計画・遂行し、その成果を公共的・学術的に表現する技法と作法を養います。

また、学術に向き合う倫理観については、基礎ゼミ(「哲学演習 I」「哲学演習 II」)や4年次の「卒業論文指導」「卒業論文」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・講読・個別指導等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、個々の講義、演習などのなかで、能動性と受動性を掛け合わせた学修(アクティブ・ラーニング)、体系科目、理論科目、応用科目の組み合わせによって、理論と実践・評価・省察(反省的実践サイクル)を取り込んだ学修を推進します。

さらに授業外においても、予習・復習の要点・方法を示したり、具体的な課題を設定するなどして、学生が質量ともに十分な学修を行うことを促します。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学文学部哲学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間とそれをとりにまわく世界にさまざまな問題を見出し、その問題の表層的な解決ではなく本質的な理解を求めて、主体的・対話的・協働的に探求することに継続的関心をもつことのできる意欲的な資質。
- 「知恵を愛し求めること」としての哲学を通じて思考力、判断力、表現力を陶冶することによって、「他者とともに他者のために生きる」ことに強い関心と意欲を持つ。
- 人間の社会、文化、歴史に関する基礎的な知識・教養と、日本語の優れた理解力・表現力、および堅実な外国語の技能を持つ。

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 言語、文化、思想、歴史などの哲学を学ぶ前提となる高等学校卒業レベルの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自ら考え、他者とともに考えるために必要となる基本的な読解力、思考力、表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 自発的・主体的に考え、学ぶと同時に、他者との対話や共同作業を通じて学びあうことの意義を理解する力

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な哲学的反省や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 史学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学文学部史学科は、現代社会を現状固定的にではなく、歴史的に形成されてきたものとして批判的にとらえる能力を身につけたうえで、多文化共生の基盤となる多元的な歴史認識と国際的な視野をもって、持続可能な社会・文化の発展に貢献しうる人物を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(史学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

歴史(学)を探究することを通じて、人間・生命の尊厳を重んじ、さまざまな社会事象・現象について広い視野から洞察する能力を通じて、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

歴史研究を通じて、多様な人間のあり方とそれが織りなす社会・文化の多元性を理解した上で、問題発見・課題設定できる力

dDP2-2.

研究活動や学術的対話を通じて他者を理解し、他者と協働しながら、開かれた歴史像を構築する力

#### 3. 叡智を探究し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、歴史学分野での学びを通して学術へ誠実に向き合う倫理観

dDP3-2.

歴史学における基礎的知識および関連する分野の知識、各種の史料を正確に解読し、史実を調査・分析する力

dDP3-3.

既存の先行する歴史研究を深く学びつつ、自らの修得した歴史学の専門知を、社会における複雑な諸問題の解決に応用できる力

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部史学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が歴史学に関連した幅広い知識と技能を修得したうえで、専門性の高い研究の能力と国際性を伴った広い視野を身につけられるようにするため、学修の体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、歴史学の初歩的な理論や方法を修得するため、学科が開講する「研究入門」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 2 年次にかけて、歴史学の各分野の基礎知識を幅広く修得するため、「概説」を設置します【100 番台・200 番台】。
- 2 年次に、それぞれの分野の重要な諸研究や原史料に触れるため、「教養演習」「講読演習」を提供します【200 番台】。
- 2 年次以降、歴史学における最新の研究成果に関する知見を獲得し、専門的な知識・技法・考察能力を養うため、「特講」を設置します【300 番台】。
- 3 年次に、各自の専攻分野を決定します。3 年次・4 年次に、原語で書かれた専門書や原史料の正確な読解能力を培うとともに、プレゼンテーションや討論を通じて研究に関する他者との対話と協働の能力を高めるため、「演習」を提供します【300 番台】。
- 4 年次には、これまでの学修の集大成として卒業論文に取り組み、自ら問題を発見して追究し、それを論理的・客観的に表現・発信する力を養うため、「卒業論文」を設置します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次の「研究入門」【100 番台】のほか、2 年次・3 年次・4 年次の各種「演習」【200 番台】【300 番台】、さらに「卒業論文」を通じて指導します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1 に掲げる目標を達成するため、学生は初年次から歴史学の専門知識や方法に関わる科目を履修し、人間性や社会の多様性を理解する技法を修得し、演習科目を通じて、主体性をもって行動する態度を養います。また、研究倫理教育を徹底し、全学共通科目の履修を通じて、専門分野に限定されない知見を修得し、人間理解の幅を広げます。

dDP2 に掲げる目標を達成するため、学生は演習科目の中で実施される発表、質疑応答、討論、共同研究などを通じて、対話と協働の力を養成します。さらに、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3 に掲げる目標を達成するため、学生は初年次教育に履修する「研究入門」から1年次・2年次に履修する各種「概説」、2年次以降に履修する各種「特講」を順次性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。

また、2年次以降に履修する演習科目を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら主体的に探究して問題を解決する力を身に着けます。

なお、dDP3-1 に掲げる倫理観の目標を達成するために、1年次に履修する「研究入門」、2年次・3年次・4年次の各種「演習」、さらに4年次における卒業論文の指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では卒業論文を作成し、専門研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・個別指導等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、リアクションペーパー、授業内討論、発表、実習、共同研究、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学文学部史学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 歴史学分野に関連し、人間・生命の尊厳を尊重しながら物事を理解する姿勢
- 過去の人間と社会に関連する諸問題への関心を持ち、広い視野から専門的に学ぶ意欲
- 過去の国家や社会、史料、歴史の記述などに興味を持ち、自ら問題解決を思考し、主体的に実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 歴史学および人文学に関する素養と、国語・外国語・地理歴史に関する高等学校卒業レベルの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自分自身で考え、行動し、社会の多様性を理解するために必要な基本的な表現力、思考力、判断力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 過去と現在の社会・人間・文化に関心をもち、それを主体的に、多様な観点から、他者ととともに学び、考える意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章読解力・論理的思考力・表現力に加えて、歴史に関する基礎的な理解、実践的な外国語運用能力、ならびに歴史学への知的意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 国文学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学文学部国文学科は、幅広い教養と柔軟な思考力を有し、世界と未来に開かれた新しい知を創造するために、国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」の広く深い専門知識・技能を教授します。また、そのことを通じて、人間と世界を真に人間的な観点から考察し理解する知性と感性を備え、それを活用して社会・文化の発展に貢献しうる人格を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、全学共通教育・語学教育および学部・学科の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(文学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

上代から近現代に至るまでの様々な言語表現・言語事象を、精確かつ緻密に読み解き、そこに発現した人間性を理解するとともに、それを活用することに積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

上代から近現代に至るまでの様々な言語表現・言語事象を通じて、多様な人間のあり方を理解するとともに、多様性の中に共通の人間性を探究する力

dDP2-2.

自分の思考・意見を、論理的・実証的な、他者に開かれた形で表現し、対話を通じて他者を理解し、他者と協働する力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に関わる基礎的知識・技能と、その他の学問分野にわたる分野横断的知識・技能

dDP3-2.

自らの修得した専門的知識・技能の歴史的・社会的意義を自覚し、新たな課題を見出し、それを探求しようとする意欲・姿勢

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感の下、不正を憎み、これを行わず、「国文学」の分野における学修および研究に誠実に向き合う倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部国文学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に関わる幅広い専門的知識・技能を修得し、それをを用いて多様な問題に取り組む探求力を養成するために、以下のように教育課程を編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、国語学・古典文学・近代文学・漢文学の各分野について、基礎科目を設置します【100番台】。
- 基礎科目における学びを深化させ、より専門的な学びへと学生を導くために、国語学・古典文学・近代文学・漢文学の各分野について、概説科目を設置します【200番台】。
- 1年次から2年次にかけて、国語学・古典文学・近代文学・漢文学の各分野の歴史を学ぶための科目を設置します【100番台・200番台】。
- 文献読解の基礎的能力を涵養するために、国語学・古典文学・漢文学の各分野について、講読科目を設置します【200番台】。
- 2年次からは、専門的な知識の修得・深化のために、国語学・古典文学・近代文学・漢文学の各分野について、特講科目を設置します【300番台】。
- また、2年次からは、文献読解の能力を高めるとともに、自ら問題を設定し自ら解決してゆく力、自らの考えを論理的・実証的な他者に開かれた形で表現する力を養成するため、国語学・古典文学・近代文学・漢文学の各分野について、演習科目を設置します【400番台】。
- 3年次には、改めて研究・学術論文とは何かを学び、卒業論文作成のための知識・技能を養成するために、「研究法」を設置します【300番台】。
- 4年次には、自らが選び定めた分野・課題について、本格的な学術論文を完成させることを通じて、科学的・論理的な物の見方・考え方や、自分の思考・意見を、論理的・実証的な、他者に開かれた形で表現する力を実践的に身につけるために、「卒業論文」を設置します【400番台】。
- 学問に関わる者としての責任と倫理については、1年次の基礎科目【100番台】、3年次の「研究法」【300番台】、「卒業論文」【400番台】において指導します。
- 中学校・高等学校の国語科教員を養成するため、「国語科教育法」「書道」を設置します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1 に掲げる目標を達成するために、学生は初年次から、国語学・古典文学・近代文学・漢文学の各分野の専門知識・技能に関わる科目を偏りなく履修し、人間性を理解する技法を修得し、演習科目や「研究法」、「卒業論文」を通じて人間性を自ら探究する態度を養成します。

また、全学共通科目の履修を通じて、専門分野に限定されない知識・技能を修得し、人間性理解の幅を広げます。

dDP2 に掲げる目標を達成するために、学生は、国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」の専門知識・技能を用いて人間性の探究を行うとともに、学科科目の授業に豊富に設けられている発表、質疑、討論、共同研究などを通じて、対話と協働の力を養成します。さらに全学共通科目によって、他者理解、対話と協働の力の幅を広げます。

dDP3 に掲げる目標を達成するために、学生は初年次から、文学部の「初年次研修」や「文学部横断型人文学プログラム」、他学部・他学科科目、語学科目など、多種多様な科目を履修することによって、専門分野の知識・技能だけでなく、他の学問分野にわたる横断的知識・技能を身につけ、自らの専門分野の意義を理解し、自ら課題を見出し探究を続ける態度を養成します。

また、1年次の基礎科目【100番台】、3年次の「研究法」【300番台】、「卒業論文」【400番台】における指導に加え、4年間の学修活動を通じて、学問に携わる者としての責任と倫理について自覚を深め、身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では卒業論文を作成し主体的な探究に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実技・個別指導等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、リアクションペーパー、授業内討論、発表、実習、共同研究等の様々な方法を用います。

さらに授業外においても、予習・復習の要点・方法を示したり、具体的な課題を設定するなどして、学生が質量ともに十分な学修を行うことを勧奨します。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、レポート、授業における発表・討議等から総合的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学文学部国文学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」の広く深い専門知識・技能
- 上代から近現代にわたる言語表現・言語事象を通じて、人間と世界を真に人間的かつ多様に考察し理解する態度
- 言葉・文字・メディアといった「国文学」という学問の知見・観点を活かして、人間や社会をめぐる様々な問題を、他者との対話を通じて探求する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の 3 要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」を専門的に学ぶ際に必要な高等学校卒業レベルの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自ら考え、他者とともに考えるために必要な基本的な思考力、判断力、表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 国語学・古典文学・近代文学・漢文学を総合した「国文学」に関心を持ち、それを主体的に、多様な観点から、他者ととともに考える意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、古文・漢文を含む日本語の読解力・表現力および論理的思考力に加えて、基本的な英語力や、国語以外の科目についての知識・理解度を問う選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、古文・漢文を含む日本語の読解力・表現力とともに、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 英文学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学文学部英文学科は、イギリスとアメリカ合衆国を中心とする英語圏の言語、文化、芸術、思想、歴史、社会の研究を通じて、高度なコミュニケーション能力、人間性に関する深い理解、国際的な視野を身につけることにより、多角的な国際社会において相互理解や協力関係の構築に貢献しうる人物を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(文学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

国際社会への関わりにおいて、人間・生命の尊厳を重んじ、社会の一員としての自覚を持ち、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

dDP1-2

文学、思想、歴史、芸術、社会現象などに見られる人間性の表現を読み解くことを通じて人間性を理解するとともに、その理解を踏まえて国際社会に積極的に関与しようとする意欲・態度

dDP1-3

社会のさまざまな側面で遭遇する現実的な課題に対し、自らの置かれた立場を見失うことなく対処する能力

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

多様な人間のあり方を理解するとともに、多様性の中に共通の人間性を探求する力

dDP2-2.

発信・受信の双方向における言語表現の多様性への感受性をもち、自己の意見を理解可能な形で表現し、対話を通じて他者を理解し、他者と協働する力

dDP2-3

国際社会が抱える課題・視座・立場の違いを理解した上で、柔軟な思考力をもって問題発見・課題設定できる力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

日本ならびに海外の大学で通用する水準の日英両語の言語能力および英語圏の言語、文学、歴史、文化に関する系統的な専門知識を修得し、それを実社会での生活や仕事に活用する能力

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、社会における諸問題への高い見識と広い視野を持ち、新たな課題を見出しそれを探求しようとする姿勢

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育分野での学びを通して学術へ誠実に向き合う倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部英文学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生がイギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育に関連した幅広い知識と技能を体系的に修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 1年次から2年次にかけて、イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育分野における基礎的な知識・技能を修得するため、学科が開講する英語スキル系科目を設置します【100番台・200番台】。
- 2年次からは、専門的な知識の修得および複数分野の知識を深めるため History 系選択必修科目、専門の講義を行う Special Topics 系選択科目を設置します【200番台・300番台】。
- また、2年次から4年次にかけて、自ら考究して問題に取り組む能力を身につけるために Seminar 系科目を設置します【200番台～400番台】。
- 4年次には、深い学識と実践力を養うため Research Project を設置して卒業論文の指導を行います【400番台】。
- 中学校・高等学校の英語科教員免許状の取得を希望する学生のため、英語学・英語文学・英語コミュニケーション・異文化理解の4系列からなる教科に関する科目と、教科の指導法に関する科目を設置します。
- さらに、人間や異文化を理解する力、ならびにコミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次および2年次の英語スキル系科目【100番台・200番台】のほか、2年次から4年次にかけての Seminar 系科目【200番台～400番台】、4年次の Research Project を通じて指導します【400番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、多角的な視野や幅広い知見を獲得し、学科の枠を超えて新たな知識と出会い、創造的な学びを生み出すために、「文学部横断型人文学プログラム」が提供する共通基礎科目、個別選択科目、プロジェクト・ゼミの所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する英語スキル系科目や研究倫理教育のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に履修する英語スキル系科目を履修することにより、他者と協働するための表現・討議力を身につけます。

また、2年次から各コースの専門講義科目である Special Topics 系選択科目を履修することにより、イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育分野の知識のみならず、多様性の中に共通の人間性を探求する力、および国際社会が抱える課題・視座・立場の違いを理解した上で問題発見・課題設定できる力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する全学共通科目にはじまり、2年次以降に履修する History 系選択必修科目および Special Topics 系選択科目、3年次以降に履修する Seminar 系科目を順次性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。

また特に、dDP3-3に掲げる倫理観の目標を達成するために、1年次および2年次の英語スキル系科目、2年次から4年次にかけての Seminar 系科目、4年次の Research Project での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では Research Project において新たな課題を見出し、それを探求しようとする姿勢を身につけます。

以上に加え、教職課程履修者は、教科に関する科目で英語に関する専門的知識を修得し、教科の指導法に関する科目で英語を教えるための理論と技能を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、サービスラーニング、PBL(課題解決型学修)、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の、様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学文学部英文学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間に対する関心をもち、人間・生命の尊厳を尊重しながら物事を理解し探求する姿勢
- イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育に対する関心とそれらを専門的に学ぶ意欲
- イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育のみならず、国際社会の現在と未来に関心を持ち、社会に貢献する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 言語、文化、歴史などに関する高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自ら考え、他者とともに考えるために必要な基本的な思考力、判断力、表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- イギリス文学・アメリカ文学・英語学・英語教育に関心をもち、それを主体的に、多様な観点から、他者ととともに考える意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## ドイツ文学科の3つのポリシー

**I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)**

上智大学文学部ドイツ文学科は、総合的なドイツ語運用能力(読む・聞く・話す・書く)を修得し、中世から現代にいたるドイツ語圏の文学、芸術、思想などをその歴史的・文化的背景を踏まえて考察・理解することを通じて、グローバル化した現代の諸問題についても複眼的な視点、柔軟な判断力で考察し、自国と欧米諸国との相互理解、文化交流に貢献できる人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(文学)の学位を授与します。

**1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力**

dDP1-1.

文学および美術や音楽等、諸芸術における古今の多種多様なテキストの意味内容を、それぞれに固有の歴史的・文化的文脈から把握することを通じて、人間性についてのより普遍的な理解を追究するとともに、その理解を踏まえてよりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

**2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力**

dDP2-1.

総合的なドイツ語技能(読む・聞く・話す・書く)を修得することで、ドイツ語話者との共感に基づく高度なコミュニケーションを実現する能力

dDP2-2.

様々な時代や地域、文化現象における問題点、研究テーマを自ら発見し、そのテーマについて複数の視座・立場から批判的・総合的に考察する能力

dDP2-3.

研究を通して得た知識や見解をドイツ語ないし日本語で明晰に表現する能力。

dDP2-4.

他者との対話や協働を通して、問題の理解を深めようとする姿勢

**3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力**

dDP3-1.

ドイツ語圏文学・文化の専門分野における基礎的知識と分野横断的知識・技能の修得を通して身につけた人文学的教養を形成し続けようとする姿勢

dDP3-2.

自国とは異種の思想・文化を歴史的社会的背景とともに理解することで、他者に向かって開かれた精神性を身につけ、自国と欧米諸国との相互理解、文化交流に貢献しようとする姿勢

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、ドイツ語圏の文学・文化研究の分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部ドイツ文学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生がドイツ語の学修およびドイツ語圏を中心とする欧米の文学・文化に関する幅広く総合的な専門的知識を体系的に修得し、それをを用いて異文化間交流に寄与する資質と能力を養うため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 1・2年次では、総合的で実践的なドイツ語能力(会話・読解・作文)を短期間で確実に体得できるように、日本人教員とネイティブ教員が連携して実施する小人数の語学科目を設置します(「ドイツ語Ⅰ」【100番台】、「ドイツ語Ⅱ」【200番台】)。
- また、ドイツ語圏の言語・歴史・芸術に関する概括的な知識、文学・文化研究の方法論を修得する学科基礎科目、さらに人文学における問題意識を培うための選択科目を設置します【100番台・200番台】。
- 3・4年次では、ドイツ語圏の文学・諸芸術、日独比較文化を主題とする専門的な知識、ドイツ語による高度な実践的コミュニケーション能力を修得するための学科専門科目を設置します【300番台・400番台】。
- また、ドイツ語原典のテキストを読解し、日本語・ドイツ語でのプレゼンテーションや他者との議論や協働を通して、自らの見解を深め、批判的考察力を修得する演習科目を設置します【300番台・400番台】。
- 4年次には、在学中に修得した文学・文化研究の手法および知識の集大成として、また優れて学問的な論理構成力を身につけられるよう、教員の個別指導の下、日本語ないしドイツ語で論文を作成する卒業論文を設置します【400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、2年次の「ドイツ文学研究基礎1・2」【200番台】のほか、「卒業論文2」を通じて指導します【400番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、「文学部横断型人文学プログラム」、他学部・他学科の提供する科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次から履修する学科基礎科目や選択科目、3年次以降に履修する学科専門科目、演習科目により、人間性についてのより普遍的な理解を追究する態度を養います。また、全学共通科目の履修を通じて、人間の尊厳への理解を深め、人間性理解の幅を広げます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に履修する語学科目、3～4年次生を対象とした高度なドイツ語運用能力を身につけるための学科専門科目により、総合的なドイツ語技能を修得します。

また、3年次以降の学科専門科目、演習科目、4年次の卒業論文を通して、自ら課題やテーマを発見・設定し、それについて複数の観点から批判的・総合的に考察する能力、日本語・ドイツ語による表現力、他者と対話・協働する姿勢を身につけるほか、全学共通科目によって、他者理解、対話と協働の力の幅を広げます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、日独比較文化研究、他学部他学科開講の選択科目、「文学部横断型人文学プログラム」の諸科目、全学共通科目、語学科目の履修、またドイツ語圏大学への留学を通じて培った幅広い人文学的教養を基礎として、自他の歴史や社会、文化に対する俯瞰的な視野を獲得し、より深い相互理解、文化交流に貢献しようとする姿勢を養います。

また、2年次に履修する「ドイツ文学研究基礎1・2」や4年次の「卒業論文2」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業論文1・2」において研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・個別指導等の多様な授業形態を用います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、リアクションペーパー、プレゼンテーション、授業内討論、共同研究等、様々な方法による学修を行います。さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学文学部ドイツ文学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- ドイツ語圏の文学、芸術、思想、歴史等に対する関心と、それらについての知見
- 現代世界の諸問題に対する関心とそれらを多角的に捉えようとする姿勢
- 異文化に対する理解、寛容の精神、畏敬の念でもって、自国とドイツ語文化圏の相互理解と協力関係の深化に貢献しようとする姿勢

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 文学・文化を専門的に学ぶ際に必要となる、外国語や国語などの科目での高等学校卒業レベルの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自ら考え、他者とともに考えるために必要な基本的な思考力、判断力、表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- ドイツ語圏の文学・文化に関心を持ち、それを主体的かつ多様な観点から、他者とともに学ぶ意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## フランス文学科の3つのポリシー

**I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)**

上智大学文学部フランス文学科は、フランス語・フランス文学の学修を通して文学・文化・芸術作品研究の方法論を教授し、自主的な文献収集と読解によって独自の批判的な思考ができる人材を育成することを目的としています。AIが発展する時代にこそ貴重となる、自らの言葉で問題を表現し対話する技術と感性を、文献や画像・社会事象の分析とその成果を表現する学びを通じて養います。さらに、高度なフランス語力と、フランスおよびフランス語圏の文化・社会に関する知識を身につけることによって、異文化社会観の相互理解や協力関係の深まりに寄与できる能力を伸ばします。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(文学)の学位を授与します。

**1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力**

dDP1-1.

文学や芸術・文化に対する関心

dDP1-2.

文学や芸術・文化を専門的に読み解く能力

dDP1-3.

文学作品や芸術作品、文化的事象を、時代や社会的背景に照らして理解する力

**2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力**

dDP2-1.

仕事や研究や社会貢献に役立つフランス語運用能力

dDP2-2.

自分の意見や研究の成果を、口頭や文書で的確に構成し、日本語・フランス語でわかりやすく伝える表現力

dDP2-3.

国内外の文学・文化・芸術活動を結び、発展させるために、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

**3. 叡智を探究し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力**

dDP3-1.

文学・文化・芸術、それに関連する分野において情報や知識を能動的に獲得し、それを客観的かつ多角的に分析する思考力

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、社会における諸問題への高い見識と展望を持ち、自ら考究して問題を

解決する能力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、文学・文化・芸術分野での学びを通して学術へ誠実に向き合う倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部フランス文学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が文学・文化・芸術に関連した幅広い知識と技能を修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身に着けられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- フランス語とフランス文学・文化・芸術における基礎的な知識・技能を修得するため、学科が開講する専門基礎フランス語、フランス文学・文化・芸術に関する導入科目を設置します【100番台・200番台】。
- 3年次からは、自ら考究して問題を解決する能力を身につけ、各専門的な知識を修得しつつ複数分野の知識を深めるため、「学科専門科目」を設置します【200番台・300番台】。これらのうち、美術・舞台芸術に関する科目と語学に関する科目の一部は2年次より履修可能とします。
- 人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「フランス文学史」【100番台】、2年次の「フランス文学研究入門」【200番台】、3年次の「文献演習」【300番台】、「卒業論文・卒業論文演習」【400番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人文学とそれに関する幅広い知識を修得するため、学部が開講する「文学部横断型人文学プログラム」の「学部基礎科目」「個別選択科目」「プロジェクト・ゼミ」の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する専門基礎フランス語、フランス文学史や研究倫理教育のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人文学やさまざまな時代・社会の文化への理解、豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に履修する専門基礎フランス語、フランス文学・文化・芸術に関する導入科目や「文学部横断型人文学プログラム」、3年次から「学科専門科目」を履修することにより、フランス語・フランス文学・文化・芸術分野の専門的な分析力、学際的な視点と多様な視点からの課題発見力を身につけます。また文学研究に必要な知識や方法論と、口頭発表や論文作成に必要な技術とアカデミック・リテラシーを身につけます。3・4年次には、文学テキストの精読や文学研究に加え、高度な実践的なフランス語運用能力を修得します。さらに美術・舞台芸術・思想・社会などの領域にまたがる科目を各自の関心に応じて受講し、文化・社会事象を探究する能力を伸ばします。

また、2年次以降の「演習科目・研究科目」「選択科目」や4年次の「卒業論文・卒業論文演習」において、自らの意見を的確に発信し、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修するフランス文学史、1年次・2年次に履修する専門基礎フランス語およびフランス文学・文化・芸術・社会に関する導入科目、3年次以降に履修する「学科専門科目」を順次性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。

2年次以降に履修する「演習科目・研究科目」や「選択科目」を通じて得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。

また特に、dDP3-3に掲げる倫理観の目標を達成するために、1年次の「フランス文学史」【100番台】、2年次の「フランス文学研究入門」【200番台】、3年次の「文献演習」【300番台】や4年次の「卒業論文・卒業論文演習」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業論文・卒業論文演習」において研究課題に取り組みます。

## (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・論文執筆等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、サービスラーニング、PBL(課題解決型学修)等を実施する他、協働的な学修を行えるよう、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学文学部フランス文学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 柔軟かつ論理的な思考を養い、自己とは異質なものを理解することへの関心と意欲
- フランス語・フランス文学、フランス語圏に関連する文化的・社会的問題への関心
- 優れたフランス語運用能力をもとに文学・芸術作品や文化的事象を多角的に分析するための専門的な知識・技能
- 国内外において文学・文化・芸術を中心とした広範囲な分野で先導し、社会に貢献する力

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- フランス文学・文化・芸術に関する基礎的な知識と興味、およびフランス語を学ぶために必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力
- 自分の考察を口頭や文書で発表したりするための知識と言語能力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 人文学に関する書物・講義を的確に理解し、書物や論文を読んでその要点をまとめたり 発表したりする大学の学修を実践するために最低限必要な思考力と表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 自発的・主体的に考え、学ぶと同時に、他者との対話や共同作業を通じて学びあうことの意義を理解する力

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 新聞学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学文学部新聞学科は、社会人に必要なメディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化に関する教養を備え、高度なコミュニケーション能力とメディア・リテラシーを身につけた人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、文学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ論文指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(新聞学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

人間・生命の尊厳を重んじ、社会の一員としての自覚を持ち、よりよい世界の構築に向けて新聞学における学修を基盤とし、積極的に関与しようとする意欲・態度

dDP1-2.

ジャーナリズムやメディア、コミュニケーション、情報文化などを通じて、人々の営みに豊かさや信頼をもたらす姿勢

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

メディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化等の諸問題、それを取り巻く人々や社会が抱える課題について視座・立場の違いを理解した上で、問題発見・課題設定できる力

dDP2-2.

情報化が進む現代社会を、他者とともによりよく生きるための高度なコミュニケーション能力、表現力とメディア・リテラシー

#### 3. 叡智を探究し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

メディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化といった諸領域を対象とした学問的蓄積の「理論と実践」両面からの修得

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、社会における諸問題への高い見識と展望を持ち、自ら考究して問題を解決する態度

dDP3-3.

学問に携わる者としての自覚を持ち、学問の信頼性を守り、新聞学分野の知識と問題解決能力を備えた人材として責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学文学部新聞学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生がジャーナリズム、メディア、コミュニケーション、情報文化全般を対象に、その社会的役割や機能、影響過程など、報道やメディアに関わる諸問題を幅広く考察できるようにするため、ジャーナリズムコース、メディア・コミュニケーションコース、情報文化・情報社会コースの3コースを設置し、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、新聞学分野における基礎的な知識・実践的な技能を修得するため、学科が開講する1年次生向け必修科目および「コース共通科目」を設置します【100番台】。
- 2年次にかけて、新聞学に関連した領域の幅広い知識を修得するため、学科が開講する2年次生向け「コース共通科目」「コース指定科目」「選択必修科目」「選択科目」を設置します【200番台】。
- 3年次からは、専門的な知識の修得および複数分野の知識を深めるため、より高度な「コース共通科目」および「コース指定科目」「選択必修科目」「選択科目」を設置します【300番台・400番台】。
- また、自ら考究して問題を解決する能力を涵養するために「演習」【200番台～400番台】、メディア実践に関わる能力を身につけるために「メディア実践系科目」【200番台・300番台】を設置します。
- 4年次には課題研究に取り組み、深い専門知識と実践力を養うため卒業論文を執筆します【400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「演習Ⅰ」【100番台】のほか、「演習Ⅱ」【200番台】、「演習Ⅲ」【300番台】、「卒業研究・論文指導」を通じて指導します【400番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目、他学部・他学科が提供する科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する学科「必修科目」「コース共通科目」や研究倫理教育のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に学科の「必修科目」や「コース共通科目」、および、2年次からは各コースの指定科目や学科選択科目を履修することにより、新聞学分野のみならず、学際的かつ多様な視点からの課題発見力を身につけます。

また、2年次以降の「演習」「メディア実践系科目」「学科選択科目」や4年次の「卒業論文」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力を身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する学科「必修科目」「コース共通科目」から2年次に履修する「必修科目」「コース共通科目」、3年次以降に履修する「必修科目」および、より高度な「コース共通科目」を順次性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。

また、2年次以降に履修する「演習」「メディア実習系科目」やインターンシップ等の「選択科目」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。

加えて、dDP3-3に掲げる倫理観の目標を達成するために、1年次に履修する「演習Ⅰ」、2年次に履修する「演習Ⅱ」、3年次に履修する「演習Ⅲ」や4年次の「卒業研究・論文指導」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業論文」において課題研究に取り組みます。

## (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・メディア実践等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、サービスラーニング、PBL(課題解決型学修)等を実施する他、協働的な学修を行えるよう、様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて、授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学文学部新聞学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- メディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化の分野に関連し、人間・生命の尊厳を尊重しながら物事を理解する姿勢
- 情報化が進む現代社会においてメディア、ジャーナリズムに関連する社会の諸問題に積極的な関心を持ち、国内外においてメディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化を扱う分野を先導し、社会に貢献する意欲
- メディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化、時事問題などに興味を持ち、自ら問題解決を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- メディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化などの学問に関する素地としての高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 現代社会に関する問題関心を突き詰める姿勢と、それらの問題について批判的に検証しようとする論理的な思考力、判断力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 自らの問題関心や思考を表現する能力、他者に対して説明する対話力があり、メディア、ジャーナリズム、コミュニケーション、情報文化などの諸領域に関心を持ち、主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、英語等の外国語の実践的な能力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、ジャーナリズムに関する基礎的な学力試験・書類審査・面接試験等を通じて、志願者の資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## Three policies of the Department of Journalism SPSF

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Journalism SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Humanities, Sophia University prepares students with advanced communication skills and strong media literacy. These skills are grounded in a liberal arts foundation, including media, journalism, communication, and information culture, which are key knowledge areas for today's society.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of "Sustainable Futures," recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with Faculty of Humanity's Diploma Policy, students who complete the coursework requirements and pass the thesis review will be awarded a Bachelor of Arts in Journalism, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

The capacity to respect human dignity and life, recognize one's role as a member of society, and actively contribute to building a better world and sustainable future, guided by the principles and knowledge gained through the study of journalism.

dDP1-2.

The ability to work in fields related to journalism, media, communication, and information culture, supported by a well-balanced understanding of both theoretical concepts and practical applications.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

The ability to identify and define research questions by understanding diverse issues, perspectives, and positions related to media and journalism in society.

dDP2-2.

The skills to communicate effectively, demonstrate media literacy, and contribute to sustainable futures in today's information-driven world.

#### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative**

## **Contribution to Society**

dDP3-1.

The ability to conduct practical research, analyze data, critique ideas, compose content, and express insights in journalism, media, communication, and information culture, building on a solid academic foundation.

dDP3-2.

The ability to think independently, solve problems, and develop deep insights and foresight into societal issues, drawing from academic studies and diverse experiences.

dDP3-3.

An ethical commitment to conducting thoughtful and responsible intellectual work in the field of journalism and media communication studies, recognizing one's role as a student of higher learning and upholding academic integrity.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Journalism SPSF, Faculty of Humanities, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Journalism organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students systematically build their understanding of journalism and media.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- In the First Year, students take introductory courses to build foundational knowledge in sustainability, journalism and media communication studies. First-year students also take an interdisciplinary “SPSF Common Core” course taught by all SPSF departments, introducing basic concepts of “Sustainable Futures” [100-level courses].
- In the Second Year, the curriculum expands to include courses covering broader topics related to sustainability, journalism and media communication [200- level courses].
- From the Second Year, seminar courses [200-, 300-, and 400-level courses] and practical courses [200- and 300- level courses] are introduced to help students develop independent problem-solving skills and practical experience in media practices.
- From the Third Year, students engage in advanced coursework, focusing on specialized topics and deepening their understanding across multiple fields [300- and 400-level courses]. Third-year students also revisit the “SPSF Common Core” in an interdisciplinary course, where they apply learned perspectives and methods to practical sustainability challenges [300-level courses].
- In the Fourth Year, students undertake research projects and complete a graduation thesis under the course title “Bachelor’s Thesis”, building their academic expertise and practical skills. They also receive individualized guidance to support their research [400-level courses].
- From the First Year, students acquire ethical perspectives on academic engagement in seminar courses [100-, 200-, 300-, and 400-level courses] and

the “Bachelor’s Thesis” course [400-level course].

- In addition to the curriculum offered and organized by the Department, the prescribed courses offered as University-wide General Courses and Language Courses across the entire university will be allocated for the acquisition of human understanding, cross-cultural understanding, and communication skills.

## 2. Learning Content and Methods

### (1) Learning Content

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

In order to achieve the goals in dDP1, in their first year, students will learn about the dignity of human life and develop a deeper understanding of humanity through introductory courses and the university's general education program.

In order to achieve the goals in dDP2, students will learn to identify and address issues not only within journalism and media but also from different fields and perspectives, especially those related to sustainable futures, by taking SPSF Common Core courses. From the second year, students will take seminar and practical courses to develop skills for expressing ideas, discussing, and working with others. They will also build leadership skills and learn to solve problems by collaborating with people from different cultures and fields through university-wide courses and language programs.

In order to achieve the goals in dDP3, students will gain advanced knowledge in journalism, media, communication, and related areas through a structured and step-by-step curriculum.

Starting in their second year, seminar and practical courses will help students develop problem-solving skills and the ability to apply what they have learned to real-world situations. These experiences also prepare students to use their knowledge effectively in their future careers.

Moreover, starting with the first-year seminar courses through guidance in fourth-year "Bachelor's Thesis," students engage with ethical issues in scholarship throughout their four years of study and develop a strong sense of academic ethics.

In their final year, students will conduct research and write a graduation thesis, applying the academic knowledge and practical skills they have developed throughout their studies.

## **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, and media practices that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive activities like discussions, presentations, service learning, and PBL (problem-based learning).

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

## **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi. Graduation theses are carefully reviewed using established methods to ensure they meet clear evaluation standards.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Journalism SPSF, Faculty of Humanities, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others", and the goals outlined in the Diploma Policy.

- A commitment to understanding society through the study of media, journalism, communication, and information culture, while valuing human dignity and life.
- A strong interest in addressing social issues related to journalism and media in today's information-driven world, with a desire to lead in media-related fields both in Japan and internationally.
- A dedication to building specialized knowledge and skills for analyzing and solving problems in media, journalism, communication, information culture, and current events.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- Basic high school-level knowledge in areas, such as media, journalism, communication, information culture, and other studies.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- A curiosity about contemporary social issues and the ability to think critically, make logical decisions, and form reasoned judgments.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- The ability to express personal interests and ideas clearly, communicate effectively with others, show interest in diverse fields, and demonstrate a willingness to learn independently and as part of a team.

### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the “Desired Student Profile“, this department evaluates the “Expected Competencies Prior to Admission” from multiple perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, english proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing and letters of recommendation.

## 総合人間科学部の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合人間科学部は、急速なグローバル化、少子高齢化や格差の拡大等、より複雑化している社会の諸問題に対し、人間の尊厳が尊ばれる社会、持続可能な社会の実現に向けて、ヒューマン・サイエンス(科学の知)、ポリシー・マネジメント(政策・運営の知)、ヒューマン・ケア(臨床の知)の3つの知を育てながら専門知識・技能を教授します。それにより応用的能力の展開を含む優れた能力を有する、国際社会でも活躍できる人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学部の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、さらに卒業論文が必修の学科においては研究指導を受けた上で論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(教育学、心理学、社会学、社会福祉学、看護学のいずれか)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

fDP1-1.

人間の誕生から死にいたる、さまざまな集団や社会制度を対象とし、人間・生命の尊厳、持続可能な共生社会の実現に、積極的に関与・行動しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

fDP2-1.

人間科学の各分野の専門性を活かして、人々や社会の課題・立場の多様性を理解した上で、問題発見・課題設定する力

fDP2-2.

異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

fDP3-1.

それぞれの専門分野における理論や研究法の理解と、教育学・心理学・社会学・社会福祉学・看護学の分野横断的知識

fDP3-2.

社会の諸問題への高い見識と展望を持ち続け、それぞれの専門分野の知識に基づき自ら考究して問題を解決しようとする意欲・姿勢

fDP3-3.

学問を修める者としての自覚を持ち、学問の信頼性を守り、人間科学の各分野において責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合人間科学部では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学部では、学生が教育学・心理学・社会学・社会福祉学・看護学に関連した幅広い総合的な知識の獲得と、専門的知識・技能の段階的修得、課題への実践・応用力を身につけるため、各学科において「学部共通科目」「学科専門科目」の科目区分によりカリキュラムを編成します。

また、各学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、教育学・心理学・社会学・社会福祉学・看護学の幅広い知識を習得するための、学部共通科目として「総合人間科学入門」を設置します【100番台】。
- 1年次から4年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、他学科の学生による履修を可能とする各学科の学科科目(「学部共通科目」)を設置します【100番台～400番台】。
- 各学科のディプロマポリシーに沿って編成された、各カリキュラムに応じた学科専門科目を設置します【100番台～400番台】。
- 学術に向き合う倫理観を、各学科が定める4年間の学修活動を通じて指導します。
- 学部や各学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学部の学生は、諸問題の解決に貢献できる高度な専門的知識、論理的思考力および科学的な研究手法をもち、かつ各自の専門性を基軸としたヒューマン・サイエンス、ポリシー・マネジメント、ヒューマン・ケアの応用力を備えた人材として必要な資質・能力を身につけるために、学部共通科目と学科専門科目を各学科の学問特性に応じてバランスよく学修します。

fDP1に掲げる目標を達成するために、学生は1年次に履修する「総合人間科学入門」や研究倫理教育のほか、4年間を通じて全学共通科目の各科目を履修することで、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

fDP2に掲げる目標を達成するため、学生は各学科で実施する双方向型学修や能動的学修を取り入れた各学科授業において、対話・協働する力やリーダーシップを身につけます。また、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々との協働力を身につけます。

fDP3に掲げる目標を達成するために、学生は初年次教育の「総合人間科学入門」に加えて、1年次～4年次に各学科で開講される学部共通科目を履修することで、総合人間科学部5学科の学生がともに学び、ヒューマン・サイエンス(科学の知)、ポリシー・マネジメント(政策・運営管理の知)、ヒューマン・ケア(臨床の知)を得ることを促進します。

学部共通科目「総合人間科学入門」に加え、各学科での学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業研究」「論文指導」において研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学部では、学生が学部および各学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実験・実習・実技等の多様な授業形態を通じた学修を行います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、サービスラーニング、フィールドワーク、PBL(課題解決型学修)、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方授業)などの様々な方法による学修を行うとともに、授業外においては課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。さらに卒業論文が必修の学科においては、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学総合人間科学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学部では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学部のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、各学科で定める「求める学生像」に加えて、総合人間科学部共通として次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間の尊厳が尊ばれる社会の実現に向けて、困難な状況にある個人や地域社会を支援し、社会の発展に貢献したいという姿勢
- 社会の諸問題への関心を持ち、自己の専門分野のみならず、個人や社会、さらには諸外国で起きている人間の尊厳に関わるさまざまな事象に対して強い関心と学際的な視点を持ちながら国内外の社会に貢献する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 各学科の学問領域を学ぶのに必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- ヒューマン・サイエンス、ポリシー・マネジメント、ヒューマン・ケアの分野横断で思考するための、柔軟な思考力と豊かな表現力とコミュニケーション能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 社会問題を主体的、協働的に学び、異なる立場や文化を有する人々と対話をする意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

各学科が定める入試選抜の方法により、学部および各学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜します。

## 教育学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

上智大学総合人間科学部教育学科は、教育格差の拡大、不登校児童生徒の増加、教員の多忙化と不足、デジタル技術による教育環境の多様化、グローバル化の著しい進展と人間の安全保障等、現在社会が直面する人間と教育をめぐる諸問題に対し、総合的・多角的な視点から問題解決に挑み、人間尊重の教育の実現に資する研究と教育を大切にしています。そのため、基礎的・実践的・国際的領域の教育学に関する幅広い知識を学ぶ機会を提供するとともに、専門知識・技能について深める機会を組織的・計画的に準備し、国際社会でも活躍できる自立性と教育学的教養を備えた人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、総合人間科学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(教育学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

教育学と関連する諸学に関する幅広い知識

dDP1-2.

人間と教育を巡る国内外の諸問題を教育学的に考察する能力

dDP1-3.

人間尊重の教育に関する豊かな実践的イメージを持つ能力

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

教育に関わる問題解決や人間尊重の教育の実現に向け、絶えざる自己省察を繰り返しながら粘り強く取り組む能力

dDP2-2.

人間の尊厳を基底に置き、国際的な視野を携えて、多様な他者と主体的・友好的に協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

国内外の学校・社会・家庭・企業などで行われている教育的営みと、そこで生じる現象や問題について、哲学・歴史学・社会学・心理学などにおける多様な方法を駆使して教育学的に読み解く専門的知識

dDP3-2.

人間尊重の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現する意欲・姿勢・能力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、教育学分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合人間科学部教育学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が広範な教育学の諸領域を構造的に把握し、その独自の学問性を体系的に身につけられるよう、「基礎的領域」「実践的領域」「国際的領域」の3領域によりカリキュラムを編成します。なお、「国際的領域」では英語による科目も開講します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、人間の尊厳に関連した領域の幅広い知識を修得するため、学部共通科目として「総合人間科学入門」を設置します【100番台】。
- 1年次から4年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、他学科学生の履修を可能とする総合人間科学部各学科の学科科目(「学部共通科目」)を設置します【100番台～400番台】。
- 1年次春学期に、大学での学びを進める上で求められる基本的な事項やスキルを修得するための「教育学基礎演習」を必修科目として設置します【100番台】。
- 1・2年次では、基礎的な事項や視点、方法論を修得できるよう、各概論を必修および選択必修として設置します【100番台・200番台】。
- 3年次春学期には、1・2年次の学びを基盤にゼミ(演習)を選択し、各専門の立場から、人間と教育を巡る問題へのアプローチとそのために必要な思考力・判断力・表現力の基礎を修得できるよう「演習Ⅰ」を選択必修科目として設置します【300番台】。
- 3年次秋学期以降は、ゼミを中心的な場としてさらに専門性を深めるとともに、一人ひとりが独自に探究する課題を定め、取り組むことで、事象を教育的に読み解き問題解決の筋道を模索する能力、人間の尊厳を希求する態度、国際的な視野などを修得できるよう「演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を選択必修科目として設置します【300番台・400番台】。
- 4年次には、人間尊重の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現できるようになるとともに、絶えざる自己省察を繰り返しながら問題解決に粘り強く取り組む資質・能力を身につけられるよう「卒業論文」を必修科目として設置します【400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「教育学基礎演習」、3・4年次の「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」【300番台・400番台】のほか、「卒業論文」を通じて指導します【400番台】。
- 3領域で構成された立体的な学びを通して教育学を体系的に身につけるとともに、各自の問題関心や将来展望に即して、他学部・他学科科目を含めた関連する多様な科目群からの履修を可能としています。その際、国際的な視野を身につける基礎的能力の涵養に配慮し、英語による開講科目を数多く配当します。

- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、総合人間科学部の他学科と同様に全学共通科目、語学科目、学科科目(学部共通科目、学科専門科目)の所定科目を配当し、広い教養と深い専門性の調和的実現を目指します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、学部共通科目である「総合人間科学入門」、1・2年次で履修する各概論において、教育学と関連する諸学に関する幅広い知識を身につけ、国内外の人間と教育を巡る諸問題を教育学的に考察するとはどういうことかが理解できるようになるとともに、人間尊重の教育に関する豊かな実践的イメージを持てるようにします。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「教育学基礎演習」、3・4年次に履修する「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、4年次に取り組む「卒業論文」において、国際的な視野を携え、多様な他者と主体的・友好的に協働し、絶えざる自己省察を繰り返しながら粘り強く取り組む能力を身につけます。

dDP3-1、dDP3-2に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「教育学基礎演習」から1年次・2年次に履修する各概論、3・4年次に履修する「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を順次性を持って学ぶことで、多様な教育的営みと、そこで生じる現象や問題について、哲学・歴史学・社会学・心理学などにおける多様な方法を駆使して教育学的に読み解くとともに、人間尊重の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現する意欲・姿勢・能力を身につけます。

また、dDP3-3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「教育学基礎演習」、3・4年次に履修する「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、4年次の「卒業論文」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業論文」において、各自の問題関心に即した課題の探究に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義と演習を効果的に組み合わせた多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、講義ではリアクションペーパーを活用する等して双方向学修やディスカッションの機会を設け、ゼミでは国内外の他大学のゼミとの交流や海外も含めたフィールドワークを実施する等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合人間科学部教育学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 教育学に関する幅広い知識を身につけ、人間尊重の教育に関する豊かな実践的イメージを持つ能力
- 教育に関わる問題解決や人間尊重の教育の実現に向け、多様な他者と主体的・友好的に協働し、絶えざる自己省察を繰り返しながら粘り強く取り組む能力
- 多様な教育的営みと、そこで生じる現象や問題について教育学的に読み解くとともに、人間尊重の教育を実現する筋道について総合的・多角的に考究し、自らの考えを的確に表現する能力

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 教育学を学ぶのに必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 日本語を用いて論理的、複眼的に思考するとともに、自らの考えを率直に表現できる能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 広く寛容な姿勢で他者の考えを受け入れ、柔軟に発想できる能力

#### 3. 入学選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。その際、新聞等で報道される時事的問題の水準において、教育に関わる諸問題への関心や理解、それらに対して自分なりの考えを形成し表現する能力を特に評価対象とします。

## Three Policies of the Department of Education SPSF

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Education SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Human Sciences, Sophia University focuses on studying and addressing a wide range of issues related to education and human development. Using a comprehensive and well-rounded approach grounded in educational studies, the department strives to promote education that respects human dignity. The program prepares future educators and researchers who possess deep expertise, strong character, and a broad foundation in educational studies, preparing them to become globally-minded, independent citizens.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of "Sustainable Futures," recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with the Faculty of Human Sciences' Diploma Policy, students who complete the coursework requirements and pass the thesis review will be awarded a Bachelor of Arts in Education, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

The ability to critically analyze issues related to human growth and learning through educational studies. This includes identifying educational approaches that promote respect for human dignity and building a solid understanding of educational theories and related fields.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

The ability to collaborate respectfully with people from different backgrounds to address educational challenges, while reflecting on one's actions to build an education system that values human dignity and incorporates global perspectives.

#### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative**

### **Contribution to Society**

dDP3-1.

The ability to analyze educational activities and challenges in schools, families, businesses, and society using educational theory, while drawing on insights from philosophy, history, sociology, and psychology.

dDP3-2.

The ability to think critically and creatively about improving education to respect human dignity, paired with clear and effective communication skills.

dDP3-3.

A strong ethical commitment to responsible intellectual engagement in education studies by taking academic responsibility seriously and avoiding misconduct, including fabrication, falsification, and plagiarism.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Education SPSF, Faculty of Human Sciences, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Education organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum enables students to progressively build specialized knowledge and skills while honing their ability to apply their learning effectively to address educational challenges both domestically and internationally. The Department organizes its specialized curriculum in four course groups: SPSF Common Core, Major Compulsory, Major Elective, and Elective.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- As first year education, the Department of Education offers “Introduction to Educational Studies” for the acquisition of an overview of the interdisciplinary field of educational studies. The course introduces them to the main themes and approaches in the study of educational sciences according to the following sub-fields: philosophy of education, sociology of education, curriculum and instruction, history of education, comparative and international education, and international education development. These diverse areas will also be linked with sustainable futures [100-level courses].
- In the first and second years, students take foundational courses in educational studies to become familiar with basic concepts, perspectives, and methodologies in the field and develop comparative and international perspectives. The Department offers courses in various sub-disciplines of educational studies, including Comparative Education, International Education, and Education and International Development. To gain a broader understanding of education and its theoretical foundations, students can also study related areas like Philosophy of Education, Sociology of Education, and Curriculum and Instruction [200-level courses].
- In the third year, students build on their previous studies by selecting seminars that allow them to explore specific issues in education more deeply. Through small-group discussions and collaborative work, they enhance their critical

thinking and analytical skills, preparing them to conduct independent research in education [300-level courses].

- In the fourth year, students conduct graduation research or a project under the course title “Bachelor’s Thesis”, critically exploring education that upholds human dignity. They refine their ability to articulate ideas clearly while developing perseverance and a reflective mindset for problem-solving [400-level courses].
- Students explore sustainability issues from diverse perspectives through cross-listed courses offered by other SPSF departments, building their social and human science research skills. They can also cultivate a global mindset and practical skills by taking courses outside SPSF, participating in study abroad programs, internships, and overseas study tours.
- Students proficient in Japanese may choose Japanese-medium elective courses, within the set credit limits.
- Ethical engagement with scholarship is introduced in Introduction to Educational Studies [100-level course] and is further supported by Seminars and Research in Education [400-level course].
- In addition to the department’s curriculum, university-wide General Courses and Language Courses help students develop human understanding, cross-cultural awareness, and communication skills.

## 2. Learning Content and Methods

### (1) Learning Content

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

In order to achieve the goals set forth in dDP1, students will acquire an understanding of the dignity of human beings and life, and a rich sense of humanity through the Major Compulsory, Major Elective and Elective courses, as well as through each of the University-wide General Courses that are part of the university-wide liberal arts education.

To achieve the goals of dDP2, students will develop the ability to identify issues in education from interdisciplinary and diverse perspectives by taking Major Elective and Elective courses within and beyond the SPSF program. They will also enhance their communication, discussion, and collaboration skills through junior-year “Seminars” and senior-year “Research in Education”. Additionally, University-wide General and Language Courses will help them build leadership skills for solving problems with people from different fields and cultures.

In order to achieve the goals set forth in dDP3-1, students will systematically acquire a comprehensive understanding of educational issues from a global perspective and by taking various disciplinary and sub-disciplinary courses, while appreciating the distinctive characteristics of educational studies as a discipline.

To achieve dDP3-2 goals, students develop critical thinking, creativity, and communication skills while gaining a foundation in educational studies. In their junior year, they refine research and presentation skills through seminars and pursue individual research topics. In their senior year, they conduct thesis research or a project, exploring education that upholds human dignity while enhancing problem-solving and creative thinking.

To achieve dDP3-3 goals, students engage with academic ethics throughout their four years of study, beginning with first-year courses like “Introduction to Educational Studies” and continuing through third-year “Seminars” and the fourth-year “Research in Education”.

## **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, exercises, reaction papers and instructors' feedback, individual and group presentations, practical training, and skills training that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in discussions and presentations, field work in Japan and abroad and problem-based learning (PBL). Students also participate in COIL (Collaborative Online International Learning) to experience cross-cultural collaboration.

In their final year, students present their thesis research findings or project outcomes during a poster session, followed by open oral exams for students and faculty. These events offer students a chance to deliver creative and impactful presentations to a wider audience.

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

## **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi. Graduation theses are carefully reviewed using established methods to ensure they meet clear evaluation standards.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Education SPSF, Faculty of Human Sciences, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others," and the goals outlined in the Diploma Policy.

- A strong interest in the complex issues related to humans and education
- A deep curiosity about the global society and diverse cultures
- A passion for addressing human and educational issues and finding practical solutions
- Inquisitive mindset on global society and cultural diversity

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- An ability to think critically, and communicate effectively in English.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to express their own views openly, respect diverse perspectives and think creatively and from various angles.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A willingness to address educational challenges with flexibility and consider solutions from different viewpoints.

### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the “Desired Student Profile“, this department evaluates the “Expected Competencies Prior to Admission” from multiple perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining a statement of purpose, high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and letters of recommendation.

## 心理学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合人間科学部心理学科は、心理学を基礎と臨床の両方から幅広く学ぶなかで「心」を理解することを目指します。「心」を科学的に探求し、広い視野のなかで考えることができる人を育てることを目的としています。

そうした目的を達成するため、総合人間科学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(心理学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

心理学の学びを通じて、人間・生命の尊厳を重んじ、社会の一員としての自覚を持ち、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

心理学の専門性を活かして、人々や社会が抱える課題・視座・立場の違いを理解した上で問題発見・課題設定できる能力

dDP2-2.

心理学についての理解を深めるための協調的な学びを通じた、コミュニケーション・スキル

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

心理学の考えや理論、研究法を理解し、自分の言葉で説明する能力

dDP3-2.

心理学における学修や諸活動の経験に基づき、実践や研究を通して問題を解決する能力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、心理学の学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合人間科学部心理学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が心理学に関連した知識と技能を修得するとともに、その専門的知識・技能の段階的修得、課題への実践・応用力を身につけるため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、人間の尊厳に関連した領域の幅広い知識を習得するための、学部共通科目として「総合人間科学入門」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 4 年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、他学科学生の履修を可能とする総合人間科学部各学科の学科科目(学部共通科目)を設置します【100 番台～400 番台】。
- 心理学科には講義・研究法・演習の3つの柱があります。講義は1年次から知識を基礎から段階を追って深めていきます。研究法は1年次から4年次にかけて設置し、倫理教育も含めて、知識・技能を同時に修得できるように、基礎から段階を追って深めていきます。演習も1年次から設置し、少人数でのディスカッションを伴いながら、専門性を高めていきます。
- 1 年次から 2 年次にかけての講義・研究法・演習は、心理学分野における基礎的な知識・技能を修得するため、心理学科が開講する「学科基礎科目」と位置づけます【100 番台・200 番台】。
- 「学科基礎科目」に続けてさらに学びを進めるための講義・研究法を提供します。【300 番台・400 番台】。
- また、自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために、3年次以降対象の専門性の高い「演習科目・実習科目」を提供します【300 番台・400 番台】。
- 4 年次には研究課題に取り組み、深い専門知識と実践力を養うため「卒業研究」を実施し、「卒業論文」をまとめます【400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、心理学研究法【100 番台、200 番台、400 番台】のほか、「卒業研究」の中で指導します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「総合人間科学入門」や研究倫理教育のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に「学部共通科目」と「学科専門科目」の両方を履修することにより、さらに全学年を通して「全学共通科目」を履修することにより、心理学分野のみならず、学際的な視点と多様な視点からの課題発見力を身につけます。

また、3年次以降の「演習科目・実習科目」や4年次の「卒業研究」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「総合人間科学入門」から1年次・2年次・3年次以降と順序性を保ちながら「学科専門科目」を学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。さらに、1年次から4年次までの間に履修する心理学研究法や、4年次の「卒業研究」での指導に加え、4年間の学習活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

また、3年次以降に履修する「演習科目・実習科目」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業研究」において研究課題に取り組み、「卒業論文」をまとめます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実験・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、心理学演習での協働的な実践としての研究活動などの様々な方法による学修を実施するとともに、授業外においては課題設定などを通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合人間科学部心理学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 他者に対する温かな関心と人間の尊厳を尊重する姿勢
- さまざまな領域の人々と協働的に学ぶ姿勢
- 身の回りで起きていることに対して好奇心を持ち、自ら調べ、学んでいこうとする意欲
- 物事を多角的な視点から柔軟に眺め理解する能力
- 先行する多くの文献を臆することなく読み進める能力
- 物事を論理的かつ客観的に分析し、それを文章にまとめたり口頭で発表したりする能力

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 英語、国語、数学等、心理学を学ぶために必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 柔軟な思考力と豊かな表現力、周囲と直接的・積極的な言語・非言語を含むコミュニケーションをとれる力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 社会問題を主体的、協働的に学ぶ意欲
- 専門的な設備・装置・器具を使った心理学実験や心理測定を主体的にかつ協働的に行うことのできる素養と意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、筆記試験・面接試験等を通じて、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・課題文に関する論述試験・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 社会学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合人間科学部社会学科は、多様化・複雑化する現代社会に関する問題関心を高め、そこでの社会現象に社会学的な視点と実証的な方法を用いて接近し、深く理解する能力を養うとともに、社会学的な分析と理解を展開することによって、国際的な視野と人道的な立場から現代社会の諸問題の解決について実践的に提言できる人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、総合人間科学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(社会学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

多様化する社会における人間の尊厳を重んじ、社会に関する深い問題関心と社会の一員としての自覚を持ち、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

現代社会の諸領域の特徴を社会構造と社会変動との関連の中で把握し、集団や社会が抱える課題・視座・立場の違いを理解した上で問題発見・課題設定できる力

dDP2-2.

多様な人々と共存する社会の形成と現代社会の諸問題の解決に向けて、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

社会現象の理解と分析に必要な基礎的な理論と実証的な方法に関する知識と理解力

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、社会における諸問題への高い見識と展望を持ち、自ら考究して問題を解決する能力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任を自覚し、学問の信頼性を守り、社会学分野での学びを通して学術へ誠実に向き合う倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合人間科学部社会学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が社会学に関連した幅広い知識と技能を修得するとともに、国際的な視野から現代社会の諸問題を理解できるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、人間の尊厳に関連した領域の幅広い知識を習得するための、学部共通科目として「総合人間科学入門」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 4 年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、他学科学生の履修を可能とする総合人間科学部各学科の学科科目(「学部共通科目」)を設置します【100 番台～400 番台】。
- 1 年次には、社会学における基礎的な視点・理論・方法論を修得するため、学科が開講する「学科科目 A 群」を設置します【100 番台】。
- 2 年次には、社会学の専門的な理論・方法論を修得するため、学科が開講する「学科科目 A 群」を設置します【200 番台】。
- 2 年次から 4 年次にかけて、専門的な知識の修得および複数分野の知識を深めるため「学科科目 B 群」・「学科科目 D 群」を設置します【200 番台・300 番台】。
- 3 年次から 4 年次にかけて、専門的な理論・方法論の知識を応用するとともに、自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために演習・実習科目(学科科目 C 群)を設置します【300 番台・400 番台】。
- 4 年次には個別の課題研究に取り組み、深い専門知識と実践力を養うため卒業研究・論文指導を実施します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次から 2 年次にかけての「学科科目 A 群」【100 番台・200 番台】のほか、3 年次から 4 年次にかけての「学科科目 C 群」【300 番台・400 番台】ならびに卒業研究・論文指導【400 番台】を通じて指導します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「学部共通科目」や「学科科目A群」のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～4年次に履修する「学部共通科目」および「学科科目A群」「学科科目B群」「学科科目D群」を履修することにより、社会学分野のみならず、学際的な視点と多様な視点からの課題発見力を身につけます。

また、3年次以降の「学科科目C群」や4年次の卒業研究・論文指導において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3-1 および dDP3-2 に掲げる目標を達成するために、1～4年次に履修する「学部共通科目」、1年次・2年次に履修する「学科科目A群」、2年次以降に履修する「学科科目B群」「学科科目D群」を順序性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。

また、3年次以降に履修する「学科科目C群」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力や、知識を応用・実践する力を身につけます。

dDP3-3 に掲げる倫理観の目標を達成するために、1年次から2年次に履修する「学科科目A群」「学科科目B群」および3年次から4年次に履修する「学科科目C群」において研究倫理と調査倫理を体系的に修得し、それに基づき4年次の「卒業研究・論文指導」に取り組みます。4年間の学修活動を通じて、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では卒業研究・論文指導において課題研究に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修を実施する他、協働的な学修を行えるよう、フィールドワーク形式の学修を実施する等、様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合人間科学部社会学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 社会学分野に関連し、人間の尊厳を尊重しながら物事を理解する姿勢
- 現代社会の諸問題への関心を持ち、国内外において広範囲な分野で先導し、社会に貢献する意欲
- 現代社会の諸現象、社会構造、社会変動、社会的多様性に興味を持ち、自ら問題解決を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の 3 要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 社会学を学ぶために必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 多様な他者と共存する社会の実現に向けて、国際的な視野を持ち他者と対話・協働しながら社会の多方面で活躍するための、柔軟かつ論理的な思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 他者や社会に対する豊かな想像力を育みたいという強い意欲と、現代社会の諸問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学受入れの方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学受入れ者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や社会学分野への適性を評価した選抜を実施します。

特別選抜では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## Three policies of the Department of Sociology SPSF

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Sociology SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Human Sciences, Sophia University helps students learn to analyze and understand complex social issues from a global and humanitarian perspective. By studying sociological methods and ideas, students gain the skills to understand diverse social phenomena and propose practical solutions.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of "Sustainable Futures," recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with the Department of Sociology SPSF's Diploma Policy, students who complete the coursework requirements will be awarded a Bachelor of Arts in Sociology, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

An understanding of human dignity, an awareness of social issues, a sense of responsibility, and a commitment to building a sustainable and just world.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

An understanding of how different parts of modern society are connected to social structures and changes, along with an appreciation of the diverse perspectives shaped by the challenges faced by various groups.

dDP2-2.

The ability to work with people from different backgrounds and cultures, take the lead in addressing societal issues, and contribute to creating a society where diversity is valued, and people coexist peacefully.

#### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative Contribution to Society**

dDP3-1.

A strong understanding of sociological theories and methods needed to analyze

and interpret social phenomena.

dDP3-2.

The ability to critically examine societal issues, draw on diverse learning experiences, and develop independent solutions to problems.

dDP3-3.

An understanding of the importance of building a sustainable future and the ability to address related challenges using knowledge from sociology and other disciplines studied in the SPSF course.

dDP3-4.

The ability to apply interdisciplinary approaches and methods from sociology and other SPSF disciplines to analyze issues and present effective solutions.

dDP3-5.

A sense of responsibility as an academic based on a deep understanding of academic integrity and research ethics, developed through studying sociology.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Sociology SPSF, Faculty of Human Sciences, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Sociology organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students gain a deep understanding of sociology and develop a broad range of skills. The program is structured to help students analyze the challenges of modern society from a global perspective.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way .

- First-year students take an interdisciplinary “SPSF Common Core” course taught by all SPSF departments, introducing basic concepts of “Sustainable Futures” [100-level courses]. Sociology majors also begin with “Major Core Category 1” courses, providing foundational knowledge of societal issues and theoretical and methodological approaches” [100- and 200-level courses].
- Second-year courses [200-level courses] build on this foundation, offering deeper insights into sociological theories and methods. Third-year students revisit the “SPSF Common Core” in an interdisciplinary course [300-level courses], where they apply learned perspectives and methods to practical sustainability challenges.
- In addition to required courses, students can take electives from “Major Core Category 2” and “Specialized Education Elective” offerings, allowing for a broader and more specialized understanding of multiple fields [100–300 level courses].
- Advanced Seminars [300–400 level courses] in the third and fourth years provide opportunities for students to apply their knowledge to real-world problems and develop independent solutions. Fourth-year students complete individual research projects, receiving guidance on graduation theses under the course title “Bachelor’s Thesis” to develop specialized expertise and practical skills [400-level courses].
- Regarding academic and research integrity, the “Major Core Category 1” and “Major Core Category 2” courses (100-300 level), along with the Advanced

Seminars (300-400 level), ensure that students acquire a thorough understanding of ethical principles in sociological research and academic conduct.

- Beyond departmental courses, University-wide General Courses and Language Courses promote human and cross-cultural understanding, as well as communication skills, enriching the overall learning experience.

## **2. Learning Content and Methods**

### **(1) Learning Content**

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To meet dDP1 goals, students develop an understanding of human dignity, life, and ethical principles through the “SPSF Common Core,” “Major Core Category 1” courses, and foundational courses, including research ethics and university-wide liberal arts offerings in their first year.

To achieve dDP2 goals, students learn to analyze issues from sociological, interdisciplinary, and diverse perspectives through courses like the “SPSF Common Core,” “Major Core Category 1” and “Major Core Category 2” courses starting in their first year. Advanced Seminars in their third and fourth years, along with graduation thesis guidance in their final year, help students improve their communication skills and discuss issues effectively in interdisciplinary settings. Additionally, university-wide general and language courses build leadership and collaboration skills for working across cultures.

To address dDP3 goals, students gain specialized and related knowledge progressively through “Major Core Category 1” courses in their first and second years and “Major Core Category 2” and elective courses throughout their studies. Advanced Seminars in their final years further develop problem-solving abilities and practical skills for applying their knowledge in real-world contexts. During their fourth year, students undertake research and write a graduation thesis, integrating their studies into a comprehensive project.

To achieve the dDP3-5 goals, students receive systematic instruction in academic integrity and research ethics in sociology through the “Major Core Category 1” and “Major Core Category 2” courses in their first and second years. This foundational knowledge is further developed in the Advanced Seminars during their third and fourth years. In their fourth year, students apply the principles of academic integrity and research ethics to their own research projects as they conduct independent research and write a graduation thesis.

### **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, and skills training that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive learning such as discussions and presentations, problem-based learning (PBL), group projects, fieldwork, etc.

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

### **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Sociology SPSF, Faculty of Human Sciences, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others," and the goals outlined in the Diploma Policy.

- Are eager to explore complex social issues through the lens of sociology, with a commitment to respecting human dignity.
- Wish to contribute to society by taking initiative in diverse fields, both in Japan and internationally.
- Have a strong interest in social phenomena, structures, and diversity, and are motivated to develop the knowledge and skills needed to address social problems.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- A basic understanding of high school-level subjects necessary for studying sociology, such as civics, ethics, politics and economics, history, and geography.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to think critically and express ideas clearly, essential for addressing complex social issues and contributing to sustainable futures.
- The ability to think logically and adaptively, communicate effectively, and collaborate with others, with an international perspective on building inclusive societies.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A proactive and collaborative approach to studying social phenomena.
- A curiosity about modern societal challenges and a desire to learn independently while engaging with diverse perspectives.

### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the “Desired Student Profile“, this department evaluates the “Expected Competencies Prior to Admission” from multiple perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing, and letters of recommendation.

## 社会福祉学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合人間科学部社会福祉学科は、人間の尊厳を重んじる社会福祉学の理論を構築するとともに、社会福祉やその背景にある社会経済的問題等の学理を追求することを通して、持続可能な福祉社会の構築に貢献できる人材を養成することを目的としています。

そうした目標を達成するため、総合人間科学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(社会福祉学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

人間・生命の尊厳を重んじ、持続可能な福祉社会の実現に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

人々や社会が抱える課題・立場の違いを理解し、社会福祉学のさまざまな分野についての構想を持つ能力

dDP2-2.

異なる立場や文化を有する人々と福祉社会構築のために対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

社会福祉やその関連分野の発展に必要な科学・臨床・政策分野に関する知識と技能を修得し、駆使する能力

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、社会福祉における諸問題に対する専門的知識とコミュニケーション能力を持ち、社会福祉の現場などで活用できる意欲・姿勢

dDP3-3

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、社会福祉学やその関連分野での学びを通して学術へ誠実に向き合う倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合人間科学部社会福祉学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が社会福祉学に関連した幅広い知識と技能を修得し、新しい福祉社会を構想し、それを実現するための政策・運営管理能力を身につけ、福祉の実践現場、地域社会、行政等で指導的役割を担うことができるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、人間の尊厳に関連した領域の幅広い知識を習得するための、学部共通科目として「総合人間科学入門」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 4 年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、他学科学生の履修を可能とする総合人間科学部各学科の学科科目(「学部共通科目」)を設置します【100 番台～400 番台】
- 1 年次から 2 年次にかけて、社会福祉学における基礎的な知識・技能を修得するため、学科が開講する「学科専門科目(必修科目)」、「学科専門科目(選択必修科目)」、「学科専門科目(選択科目)」を設置します【100 番台・200 番台】。
- 3 年次からは、専門的な知識の修得および複数分野の知識を深めるため「学科専門科目(選択必修)」と「学科専門科目(選択科目)」を設置します【300 番台・400 番台】。
- また、自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために「演習科目・実習科目」を設置します【200 番台～400 番台】。
- 4 年次には研究課題に取り組み、深い専門知識と実践力を養うため「社会福祉実践・理論総合演習・論文演習・論文指導」を設置します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次の「基礎演習」【100 番台】のほか、2 年次以降の以降の「演習」【200 番台】のほか、「社会福祉実践・理論総合演習」「論文演習」【400 番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「総合人間科学入門」「学部共通科目(選択必修科目)」や研究倫理教育のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1年次から4年次にかけて「学部共通科目(選択必修科目)」や「学科専門科目(必修科目)」および「学科専門科目(選択必修科目)」を順次性をもって履修することにより、社会福祉学の基礎知識と理論・実践力を身につけます。

また、2年次以降の「演習科目・実習科目」「学科専門科目(選択科目)」や4年次の「社会福祉実践・理論総合演習」「論文演習」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、多様な人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「学部共通科目」から1年次から4年次にかけて「学科専門科目(必修科目)」、「学科専門科目(選択必修科目)」を順次性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。加えて、1年次に履修する「基礎演習」や2年次以降の「演習」、4年次の「社会福祉実践・理論総合演習」「論文演習」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

また、2年次以降に履修する「演習科目・実習科目」や「学科専門科目(選択科目)」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力や、実践力を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では自身の希望に応じて「社会福祉実践・理論総合演習」「論文演習」にて卒業論文作成に取り組むこともできます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)等を実施する他、協働的な学修を行えるよう、社会福祉施設等の見学・実習を実施する等の様々な方法を用います。さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合人間科学部社会福祉学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間・生命の尊厳を尊重し、これからの福祉社会のあり方を立案・構築できる能力
- 社会福祉学とそれに関連する社会の諸問題に強い関心を持ち、人間の尊厳を実現するために積極的に社会に貢献し、先導する意欲
- 社会福祉や社会問題に強い興味・関心を持ち、国際社会や地域社会の発展に貢献するために主体的・自主的に学び、考え、活動に参加できる資質

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 社会福祉学を学ぶために必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 社会福祉分野のみならず社会で活躍するための柔軟な思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 社会福祉や関連する社会問題などを主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力に加えて、実践的な英語力や社会福祉およびその関連分野への知識・意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・社会および社会福祉に関する理解力と思考力を問う試験・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 看護学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合人間科学部看護学科は、豊かな知識・教養を涵養するための教養教育としなやかな感性を育む看護学教育を通して、人間の尊厳を重視し、幅広い教養を身につけ、ヒューマンケアリング(ケアする者とケアされる者の相互関係に目を向けた良質なケアの提供)を実践する能力、自己学修推進力を備えた人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、本学科では、総合人間科学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(看護学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

人間の尊厳について広い視野をもち、幅広い教養によって看護学を俯瞰的にとらえ、社会に期待される責務と役割を考える能力

dDP1-2.

看護の対象となる人々に寄り添い、最善のケアの提供を追求していくための倫理観

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

どのような状況にある人々であっても、その人の価値観を尊重し、共感的理解をもって接する能力

dDP2-2.

看護専門職としての必要な知識と技術を修得し、人々と対話・協働しながらヒューマンケアリングを実践する能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

クリティカル・シンキングに基づく思考力と態度

dDP3-2.

変化する社会と人々の健康問題を的確にとらえ、対象にとって最善のケアを検討し、創造する能力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、看護学分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

dDP3-4.

常に目的意識と目標をもち、それに向けて看護専門職としての成長をめざし自己学修を推進する能力

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合人間科学部看護学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生がヒューマンケアリングに関する知識と倫理的判断に基づいた実践力を修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、看護学とそれに関連した領域の幅広い知識を修得するため、学部共通科目として「総合人間科学入門」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 4 年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、他学科学生の履修を可能とする総合人間科学部各学科の学科科目(「学部共通科目」)を設置します【100 番台～400 番台】。
- 1 年次には、看護の対象となる人間理解につながる基礎的能力を修得するため、「基礎科目」(人間と社会/環境)を設置します【100 番台、200 番台】。
- 2 年次には、健康と環境への看護的視点を養い、看護の基本となる知識と技術を修得するため、「看護専門科目」のうち、人間の発達と健康に関する科目を設置します【200 番台】。また、疾病の病因や症状、診断、治療法などに関する知識を修得するため、人間の健康障害と看護に関する科目を設置します【200 番台】。
- 3 年次には、専門職としての知識と技術を修得するため、「看護専門科目」のうち、人間の健康障害と看護に関する科目を設置します【300 番台】。
- 4 年次には、看護の専門性を深めると同時に、自律的な学修姿勢を養うため、「看護専門科目」のうち、場に応じた看護に関する科目を設置します【400 番台】。
- 倫理観については、1 年次から 4 年次にかけて、さまざまな科目を通じて指導します。特に臨地実習では、既習の知識を実践的・具体的に体験し、倫理的な感受性を高められるように指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1 に掲げる目標を達成するために、1 年次に履修する「総合人間科学入門」のほか、全学共通科目や「基礎科目(人間と社会/環境)」の履修を通じて、人間の尊厳について広い視野と幅広い教養を身につけます。また、社会が看護職に求める倫理性について学びます。

dDP2 に掲げる目標を達成するために、1～3 年次に設置する「基礎科目(人間と社会/環境)」や「看護専門科目」を履修することにより、その人の価値観を尊重し、共感的理解をもって接する能力を身につけます。また、2 年次以降の演習科目・実習科目を履修することによりコミュニケーション能力を身につけるとともに、人々対話・協働しながらヒューマンケアリングを実践する能力を身につけます。

dDP3 に掲げる目標を達成するために、初年次教育、1 年次に設置する「基礎科目(人間と社会/環境)」、2 年次以降に設置する「看護専門科目」を順次性を持って学ぶことで、クリティカル・シンキング力を身につけるとともに、看護職を目指す者としての倫理観を醸成し、対象にとって最善のケアを考える能力を身につけます。また、4 年間の学修を通じて得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力や、看護専門職としての成長をめざし学び続ける力を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4 年次では「卒業研究」において研究課題に取り組み、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)等を実施する他、協働的な学修を行えるよう、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合人間科学部看護学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間の尊厳について広い視野をもち、人々の健康と福祉に多様な形で貢献しようとする姿勢
- ヒューマンケアリングを実践するために必要な看護の知識と技術を積極的に修得しようとする姿勢
- 看護の対象にとって最善のケアを提供し、看護専門職としての成長を図るために、自己学修を推進する力

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 看護学を学ぶために必要な高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 健康に関する諸問題をさまざまな視点から考えることができる柔軟な思考力と豊かな表現力
- 人への関心と基本的なコミュニケーション能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 科学の知、臨床の知、政策・運営の知を主体的・協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力、実践的な英語力に加え、面接においては看護学を学ぶ意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 法学部の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学法学部は、法学およびその関連分野の基本知識や思考枠組みを修得したうえで、広い視野と柔軟な思考をもって、主体的に問題の分析や解決にあたる能力を身につけた人材の育成を目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学部の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部の専門教育を通じて、学科ごとに定められた科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(法学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

fDP1-1.

法学および関連社会科学の根本にある人間の尊厳や平等・公平、人権の尊重などの理念を学ぶことを通じて、社会の一員としての自覚をもち、すべての構成員が尊重される社会に貢献しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

fDP2-1.

法学等の学修を通して、社会的課題の背景と関係者の立場の多様性を理解しつつ、柔軟な思考力により、真の問題を発見できる能力

fDP2-2.

自ら設定した課題の解決のために、様々な社会的立場、文化および利害関係を超越して他者と協働できる力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

fDP3-1.

法学等の専門的知識に基づいて具体的問題やその背景を、正確かつ総合的に理解する能力

fDP3-2.

社会の諸問題への高い見識と展望をもち続け、自ら考究して問題を解決しようとする意欲・姿勢

fDP3-3.

学問を修める者としての自覚を持ち、学問の信頼性を守り、法学分野の学修を通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学法学部では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学部では、学生が法学およびその関連分野の基本知識や思考枠組みを修得し、広い視野と柔軟な思考をもって問題の分析や解決にあたることができるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、各学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、「法学入門」、「法解釈基礎」など法学の学修の基礎を固める科目の他、必修科目として「導入演習」を設けます。現代社会における法律家の役割を理解し、将来のキャリアを意識する機会を提供するため、弁護士等の実務家が担当する「現代社会と法律実務」も設けます【100番台】。
- 2年次以降は、憲法、民法および政治学などの基本科目のほか、「国際法総論」や「環境法総論」など、専門に関わる科目を設置します。学生は学科の垣根を越えて科目履修が可能であり、幅広い知識を修得することができます【100番台・200番台】。
- 自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために、各学科においては、学生の学修の進捗状況および学問的興味に対応した科目として、「基礎演習 A・B」、「選択演習 A・B」、「必修演習 A・B」、「高度専門演習」等を設置します【200番台～400番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「導入演習」、「法学入門」【100番台】、3～4年次の「選択演習」、「必修演習」【400番台】を通じて指導します。
- 学部や各学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学部の学生は、様々な社会問題の解決に貢献できる高度な専門的知識、論理的思考力をもち、かつ各自の専門性を基軸として幅広い専門分野の中で応用力を備えた人材として必要な資質・能力を身につけるため、学部共通/学科横断的科目と学科専門科目を各学科の学問特性に応じてバランスよく学修します。

fDP1に掲げる目標を達成するために、学生は初年次に履修する「法学入門」「導入演習」等で法学およびその関連分野の基礎を学び、その後、段階的に各分野の科目を学修するほか、4年間を通じて全学共通科目の各科目を履修することで、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

fDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に基礎科目、および3年次から多様な専門科目を履修し、また、法学のみならず、人文・社会分野など様々な分野の学びを進めることにより、多様な社会へのアプローチの仕方を修得し、学際的な視点に立った問題発見力を身につけます。また、2年次以降の各種「演習科目」において、専門知識を基礎としたプレゼンテーション、コミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか全学共通科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

fDP3に掲げる目標を達成するために、1～2年次に履修する基礎科目から、3年次以降に履修する専門科目を順次性をもって学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。また、2年次以降に履修する「演習科目」、「英語法律科目」等を通じて、自ら探求し問題解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。1年次の「導入演習」、「法学入門」や3～4年次の「選択演習」、「必修演習」に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「必修演習」や「高度専門演習」において高度の研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学部では、学生が学部および各学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、法学およびその関連分野の基本的知識を修得するための講義、より主体的に、かつ、掘り下げた議論をするための演習、さらには積極的な国際的交流を促すための学部独自の交換留学および海外短期研修など、多様な授業形態を通じた学修を行います。

能動的・主体的・協働的な学修を促すため、「Negotiation Workshop」等の科目も設けており、演習科目や特殊講義等においては、ディスカッションやプレゼンテーションなど、様々な方法による双方向学修を行います。さらに、授業外においては課題設定等を通じて、授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学法学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学部では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学部のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、各学科で定める「求める学生像」に加えて、法学部共通として次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 法学の基礎にある人間の尊厳、公正・公平等の意味を尊重しながら社会問題を捉え、解決しようとする姿勢
- 社会の諸問題への関心をもち、法学およびその関連分野のみならず、幅広い学際的視点をもちつつ、社会に貢献する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 国語、外国語に関する基本的な能力および歴史や政治・経済などについての高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 国内外を問わず、現代社会に生起する問題や紛争、地球規模の環境問題などを客観的かつ柔軟に考察できる思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 様々な社会問題について、主体的に学び、他者の意見に耳を傾けながら他者と協働して問題解決を図ることができる力

#### 3. 入学者選抜の方法

各学科が定める入試選抜の方法により、学部および各学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜します。

## 法律学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学法学部法律学科は、法的思考を土台とした問題解決能力を身につけ、現代社会の多様な課題に向き合うことのできる人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため法学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(法学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

法の根底にある人間の尊厳を重んじ、社会の一員としての自覚をもち、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

グローバル化や情報化が著しく進展し、人々の価値観が多様化する現代社会の中で、人々の文化的、宗教的背景などの違いや多様な個性のあり方を本質的に捉えつつ、法的観点から総合的・多角的に問題を発見し、課題を設定できる力

dDP2-2.

力による解決に訴えるのではなく、対立する利益や主張を十分に理解したうえで、法的思考に基づく理による解決に向けて、対話・協働を引き出し、全体を調整する能力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

現代の多様な問題の法的な解決を通じ、法の支配と公正な社会の更なる実現を追求するため、法的な専門的知識に基づき、問題の内容やその背景を、経済環境や社会意識にも踏み込みつつ正確かつ総合的に理解する能力

dDP3-2.

学修で得た法的な思考枠組に基づき、現代社会における諸問題への高い見識と展望をもち続け、自ら考究して問題を解決する能力

dDP3-3.

現代社会における諸問題に誠実に向き合い、キリスト教的価値観にもとづく教養を備えた地球市民として責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学法学部法律学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が法学や法務に関連した幅広い知識と技能を修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、「法学入門」、「法解釈基礎」など法学の学修の基礎を固める科目の他、必修科目として「導入演習」を設置します。現代社会における法律家の役割を理解し、将来のキャリアを意識する機会を提供するため、弁護士等実務家の担当による「現代社会と法律実務」も設置します【100番台】。
- 1年次から2年次にかけて、法学分野における基礎的な知識・技能を修得するため「憲法(基本的人権)」「民法総則Ⅰ」「刑法総論」等を設置します【200番台】。
- 3年次からは、専門的な知識を修得し複数分野の知識を深めるため商法、民事訴訟法、刑事訴訟法に関わる科目や、労働法、知的財産法、社会保障法、経済法、租税法そして外国法等に関わる科目を設置します【300番台・400番台】。
- 自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために、学生の学修の進捗状況および学問的興味に対応した科目として、「基礎演習 A・B」、「選択演習 A・B」、「必修演習 A・B」、「高度専門演習」等を設置します【200番台～400番台】。
- これらの科目や演習科目の中から、五年一貫型で法科大学院に進学し、法曹となるための能力を養う法曹コースの指定科目、推奨科目を設けるとともに、上智大学法科大学院で開講されている科目を法学部の単位として修得できる共同開講科目を提供し、法曹志望者が法科大学院2年次以降の学修と結びつけるかたちで体系的、段階的に学修することを可能とします。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「導入演習」、「法学入門」【100番台】、3～4年次の「選択演習」、「必修演習」【400番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、学生は1年次に履修する「導入演習」「法学入門」等で法学およびその関連分野の基礎を学び、その後、段階的に各分野の科目を学修します。このほか、法学部他学科の各種科目、法律学科の学科科目に隣接する他学部他学科科目や全学共通科目等を組み合わせることで学修するとともに、全学共通科目である「キリスト教人間学」等を履修することを通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1年次から基礎科目とともに多様な専門科目を履修することで、法学のみならず、人文・社会分野など様々な分野の学びを進めることにより、多様な社会へのアプローチの仕方を学び、学際的な視点に立った問題発見力を身につけます。また、1年次の「導入演習」、2年次以降の各種「演習科目」において、専門知識を基礎としたプレゼンテーション、コミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する基礎科目から、1年次以降に専門科目を順次性をもって学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。高度な専門性が要求される3年次・4年次に展開される「選択演習」「必修演習」を通じて、自ら探求し問題を解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。1年次の「導入演習」「法学入門」や3～4年次の「選択演習」「必修演習」に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、法学およびその関連分野の基本的知識を修得するための講義、より主体的に、かつ掘り下げた議論をするための演習、さらには積極的な国際的交流を促すための学部独自の交換留学および海外短期研修など、多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的に学修できるようにするため、演習授業を中心に、ディスカッションやプレゼンテーションを実践的に行うなど、様々な方法による双方向学修を行います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学法学部法律学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 法の根底にある人間の尊厳、公正・公平等の理念を尊重しながら、現代社会が抱える諸問題を捉え、解決しようとする姿勢
- 現代社会の諸問題への関心をもち、良き社会を作り上げるべく、国内外において法が関わる広い領域において諸問題を解決すること等を通じて社会に貢献する意欲
- 法の性質や多様な領域における法の内容、法的思考方法などに興味をもち、自ら問題解決を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の 3 要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 国語、外国語に関する基本的な能力とともに歴史や政治・経済などに関する高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 国内外を問わず、法曹をはじめとする法律専門職や法が関わるすべてのビジネスおよび NPO で活躍する土台となる、柔軟な思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 現代社会の様々な問題について、主体的に学び、他者の意見に耳を傾けながら協働して問題解決を図ろうとする意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 国際関係法学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学法学部国際関係法学科は、高いスキルの語学力、世界に存在する多様な法的、政治的問題群に対しての深い分析力と国際舞台で不可欠な幅広い知識を有する人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、法学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(法学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

人権の普遍性、各国主権の平等、独立性さらには地域多様性を尊重する国際社会の構築へ向けて、必要な知識を自力で探索、獲得する姿勢・能力

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

世界各地域の特殊性を理解し、文化的、宗教的背景の違いを本質的に捉えつつ、国境を超えた相互理解と真の融和をめざすべく、背景を異にする「他者の視点」を常に重視した問題を発見し、課題を設定できる力

dDP2-2.

紛争、戦争という破壊的解決に訴えるのではなく、対立する利害の相互改善的な解決、調和をめざすための対話・協働を引き出し、コーディネートする能力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

持続可能な社会の発展を追求するために、国際法、国際政治等の専門的知識に基づいて具体的問題やその背景を、正確かつ総合的に理解する能力

dDP3-2.

国際社会の諸問題への高い見識と展望をもち続け、自ら考究して問題を解決しようとする意欲・姿勢

dDP3-3.

国際社会の現実に正面から向き合い、キリスト教的価値観にもとづく教養を備えた地球市民として責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学法学部国際関係法学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が国際問題についての幅広い法的、政治的な知識と技能を修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、法学、政治学とそれに関連した領域の幅広い知識を修得するため、学部の入門的演習科目である「導入演習」および英語を使用言語とする入門演習科目である「英語導入演習」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 2 年次にかけて、法学、政治学分野における基礎的な知識・技能を修得するため「国際法総論」等を設置します【100 番台・200 番台】。
- 3 年次からは、専門的な知識および複数分野の知識を修得するため、多様な国際法、国際政治関連科目、(英語を使用言語とする科目群によって構成される)コース AQUILA の各種科目を設置します【300 番台・400 番台】。
- 自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために、3・4 年時に履修する「選択演習」「必修演習」、さらにはコース AQUILA の中でも少人数の双方向授業である「AQUILA Specialized Seminar III および IV」等の演習科目を提供します【400 番台】。
- 国際社会の課題に取り組むために必要となる倫理観については、1 年次の「導入演習」、「英語導入演習」、「法学入門」【100 番台】、3～4 年次の「選択演習」、「必修演習」【400 番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、学生は1年次に履修する「英語導入演習」等で法学・政治学および関連分野の基礎を学び、その後、段階的に各分野の科目を学修するほか、法学部他学科の各種科目、あるいは国際関係法学科の展開科目にリンクする他学部科目等を履修することで、バラエティー豊かな組み合わせを通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に基礎科目、および3年次から多様な専門科目を履修することに加え、国際法、国際政治のみならず、法や政治に密接にリンクする経済、宗教、言語等人文・社会分野など様々な分野の学びを進めることにより、多様な社会へのアプローチの仕方を学び、学際的な視点に立った問題発見力を身につけます。2年次以降において展開される各種「演習科目」において、専門知識を基礎としたコミュニケーション能力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次・2年次に履修する基礎科目から、3年次以降に履修する専門科目を順次性をもって学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。高度な専門性が要求される3年次・4年次に展開される「選択演習」「必修演習」を通じて、自ら探求し問題を解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生が学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、国際法、国際政治およびその関連分野の基本的知識を修得するための講義、より主体的に、かつ、掘り下げた議論をするための演習を展開します。さらには積極的な国際的交流を促すための学部独自の交換留学および海外短期研修など、多様な授業形態を通じた学修を行います。

英語による能動的・主体的・協働的な学びを促すため、「AQUILA Specialized Seminar III および IV」等の科目を通じて、外国語でのディスカッションやプレゼンテーションを実践的に行い、様々な方法による双方向学修を行います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学法学部国際関係法学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を踏まえ、各種国際問題への有効な解決策を導き出す資質・能力を高めたいと望む学生を求めています。

- 国際法、国際政治の基礎にある人間の尊厳、公正・公平等の理念を尊重しながら、各種国際問題を捉え、解決しようとする姿勢
- 持続可能な世界の発展に関心を持ち、法や政治およびその関連分野のみならず、幅広い学際的視点を持ちつつ、社会に貢献する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 国語、外国語に関する基本的な能力、さらには歴史や政治・経済などについての高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 国内外を問わず、現代社会に生起する問題や紛争、地球規模の環境問題などを客観的かつ柔軟に考察できる思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 様々な社会問題について、主体的に学び、他者の意見に耳を傾けながら他者と協働して問題解決を図ることができる力

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、他学科よりも出願資格・要件となる語学検定において高いハードルを課しつつ、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 地球環境法学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学法学部地球環境法学科は、環境法分野を中心に、国内外の法制度に関する基本的知識を学び、法学を含む多様な視点からの問題分析能力・問題解決能力を身につけたうえで、現代社会における多様な環境問題に取り組み、活躍できる人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、法学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(法学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

地球環境に生きる人間の尊厳を重んじ、地球と社会の一員としての自覚をもち、より良い世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

環境問題に関係する人々の視座・立場の違いを理解し、社会の直面する環境課題について広い視野から問題発見・課題設定をできる力

dDP2-2.

環境問題を解決するために、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

環境問題に関する法、政策等の専門的知識に基づき、具体的な環境問題やその背景を、正確かつ総合的に理解する能力

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、個別の環境問題とその特性への高い見識と展望をもち、自ら考究して問題を解決する能力

dDP3-3.

学術に誠実に向き合い、キリスト教的価値観にもとづく教養および環境法分野の知識と問題解決能力を備えた地球市民として責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学法学部地球環境法学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が環境問題に関する法、政策等について幅広い知識と技能を修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、「法学入門」「法解釈基礎」など法学の学修の基礎を固める科目の他、必修演習として「導入演習」を設置します。また、現代社会における法律家の役割を理解し、将来のキャリアを意識する機会を提供するため、弁護士等の実務家が担当する「現代社会と法律実務」も設置しています【100番台】。
- 1年次から2年次にかけて、環境法の土台となる法学等の基礎的な知識・技能を修得するため、「憲法(基本的人権)」等の科目を設置します【100番台・200番台】。
- 2年次においては、自ら考究して問題を解決する基礎的な能力を身につけ、また異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップを涵養するために、「基礎演習」を提供します【200番台】。
- 3年次からは、専門的な知識の修得および複数分野の知識を深めるため、環境法分野をはじめとする多様な分野の法、政策等に関連する科目を設置します【300番台・400番台】。
- 自ら考究して問題を解決する能力を身につけ、発展させるために「必修演習 A・B」等の演習科目【400番台】を設置します。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「導入演習」、「法学入門」【100番台】、3～4年次の「選択演習」、「必修演習」【400番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「導入演習」「法学入門」等で社会を規律する法と関連分野の基礎を学び、2年次以後、段階的に人権や環境の保護に関する各種科目等を学修するとともに、全学共通科目である「キリスト教人間学」等を履修することを通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1～2年次に基礎科目、および3年次から多様な専門科目を学び、また国内法のみならず、外国法、さらには人文・社会分野など様々な分野に触れることにより、多様な社会へのアプローチの仕方を学び、学際的な視点に立った問題発見力を身につけます。また、1年次に履修する「導入演習」や、2年次以降の各種「演習科目」において、プレゼンテーション、コミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と対話・協働する力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1～2年次に履修する基礎的な科目から、3年次以降に履修する専門的な科目を順次性をもって学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。高度な専門性が要求される3年次・4年次に展開される「選択演習」「必修演習」を通じて、自ら探求し問題を解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。1年次の「導入演習」「法学入門」や3～4年次の「選択演習」「必修演習」に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、法学およびその関連分野の基本的知識を修得するための講義、より主体的に掘り下げた議論をするための演習、積極的な国際的交流を促すための学部独自の交換留学および海外短期研修など、多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、演習授業を中心に、ディスカッションやプレゼンテーションを行うなど、様々な方法による双方向学修を行います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学法学部地球環境法学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間の尊厳、公正・公平等の理念を尊重しながら環境問題を捉え、解決しようとする姿勢
- 環境に関する諸問題への関心を持ち、多様な幅広い学際的視点を持ちつつ、国内外において広範な分野で先駆者となり、社会に貢献する意欲
- 環境に関する法や政策などに興味を持ち、自ら問題解決方法を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 国語、外国語に関する基本的な能力、歴史や政治・経済などに関する高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 国内外を問わず、現代社会に生起する問題や紛争、地球規模の環境問題などを客観的かつ柔軟に考察できる思考力と豊かな表現力。

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 様々な社会問題について、主体的に学び、他者の意見に耳を傾けながら他者と協働して問題解決を図ろうとする意欲。

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 経済学部の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学経済学部は、広い視野と先見性をもち、国際的なリーダーとなる人材を育成するという教育理念のもと、21世紀の高度な知識基盤型の社会においてリーダーとして活躍し、国際社会に貢献できる人材の養成を目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学部の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得することで、次の能力を身につけたと認められる者に学士(経済学)または学士(経営学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

fDP1-1.

知識基盤型の社会において、持続可能な経済社会の実現に積極的に関与しようとする意欲と態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

fDP2-1.

社会における多岐にわたる経済的課題や多様な利害関係者の立場を理解したうえで、問題を発見し、それにかかわる情報を処理し、解決する能力

fDP2-2.

経済社会における多様かつグローバルな利害関係者と対話・協働するためのコミュニケーション能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

fDP3-1.

経済学・経営学における基礎および専門的知識

fDP3-2.

学術に携わる者としての自覚を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、経済学・経営学分野での学びを通して学術へ誠実に向き合う倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学経済学部では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学部では、学生が経済学、経営学に関連する基礎的な知識を獲得したうえで、より高度な専門的知識・スキルと課題の発見・分析能力を身につけるため、クラスを単位とした導入教育、専門科目の基礎と関連づけた少人数教育、専門性を養う教育、および教員と学生が相互に顔の見える関係での演習を核とする基幹教育や外部機関と連携した多彩な実践的教育の考え方を軸とした教育課程を編成しています。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、経済学・経営学に関する基礎的知識を修得します。そのために、各学科において、クラスを単位とした科目として、「学科科目 A 群」を設置します【100 番台】。
- 2 年次以降において、専門科目の基礎的能力を深く掘り下げて修得するために、専門科目の基礎と関連づけた少人数講義である「学科科目 B 群」や「学科科目 C 群」を設置します【200 番台】。
- 学生の知的な関心に沿って専門性の到達度を向上させ、理論と現実のバランスのとれた知識と問題解決能力を高めるために、専門性を養う「学科科目 B 群」や「学科科目 C 群」【200・300 番台】と演習を核とする基幹教育としての「学科科目 B 群」【300・400 番台】を設置します。
- 現実に即した多様な実践的知識を修得させるために、外部機関と連携した実践的な科目として、「学科科目 C 群」を設置します【200・300 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次のクラスを単位とした導入教育【100 番台】のほか、演習を核とする基幹教育を通じて指導します【300 番台・400 番台】。
- 学部や各学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間や社会に対する理解やコミュニケーション力を身につけるために、全学共通科目や語学科目の所定科目、ならびに英語による「学科科目 B 群」や「学科科目 C 群」を配当します【200・300 番台】。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学部の学生は、諸問題の解決において、経済学・経営学における必要な専門的知識・スキルをもち、かつ専門性を基礎としながら幅広い応用力を備えた人材として必要な資質・能力を身につけるため、学部共通/学科横断的科目や学科専門科目を各学科の学問特性に応じてバランスよく学修します。

fDP1 に掲げる目標を達成するために、学生は1年次に各学科において基礎を学ぶための「学科科目 A 群」を修得し、4年をかけて全学共通科目の各科目の履修することで、知識基盤社会の中で、持続可能な社会の実現へ積極的に関与しようとする意欲と態度を身につけます。

fDP2 に掲げる目標を達成するために、学生は各学科における双方向型学修や能動的学修を取り入れた授業において、対話・協働するためのコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけます。2年次以降においては経済学科では「経済英語」や「アクティブ・ラーニング・セミナー」、経営学科では「経営英語」や「経営基礎研究セミナー」、さらには3・4年次においては両学科における「演習」を通じて、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけます。また、全学共通科目や語学科目を履修することで、多様な分野・文化の人々と協働する能力を身につけます。

fDP3 に掲げる目標を達成するために、学生は初年次教育において必修科目として概論科目や基礎科目を履修することで、経済学や経営学の基礎的知識を身につけます。さらに、経済学科では、数理分析の知識を修得や、ミクロ経済学やマクロ経済学の応用を学ぶ「学科科目 B 群」「学科科目 C 群」を履修することで、経済学の基礎知識を身につけます。また経営学科では、経営学分野の諸理論や分析技術を学ぶ「学科科目 B 群」「学科科目 C 群」を履修することで、経営学の専門知識を身につけます。加えて、1年次～4年次に経済学科・経営学科を超えて相互に履修可能な「学科科目 B 群」「学科科目 C 群」を履修することで所属学科分野の知識だけでなく、経済学・経営学の両分野における応用的知識を身につけます。また、1年次においては経済学科では「ミクロ経済学A・B」と「マクロ経済学A・B」、経営学科では「経営学概論」、3・4年次においては演習での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学部では、学生が学部および各学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義(外部との連携や英語による教授)や演習等の授業形態を通じて学修を行います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方授業)などの様々な方法による学修を行うとともに、授業外においては課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3.学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学経済学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学部では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学部のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、各学科で定める「求める学生像」に加えて、経済学部共通として次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- グローバル化する社会において、多様な諸問題に関心を持ち、その解決のために高い意欲をもって主体的に行動しようとする姿勢
- 多様な利害関係者の立場を理解するために、自己の専門分野だけではなく、経済学、経営学の両分野にまたがる知識を得ようとする意欲
- 経済学と経営学の知識をもとにし、営利・非営利組織を問わず、多方面で社会に貢献しようとする意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 高等学校の教育課程を通じて修得する基礎的学力。特に、論理的思考能力(数学)、および社会科系の基礎的学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 経済学、経営学の両分野において学ぶための、柔軟な思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 経済活動、経営活動をめぐる問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学者の選抜方法

各学科が定める入試選抜の方法により、学部および各学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜します。

## 経済学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学経済学部経済学科は、経済学部の教育理念のもと、現代の経済課題を含む社会問題や現象を経済学的な視点から理論的・実証的に分析し、自前の概念装置により社会を評価する能力を国際的な場で活かせる人材の養成を目的としています。

そうした目的を達成するため、経済学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、全学共通教育・語学教育および学科の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得することで、次の能力を身につけたと認められる者に学士(経済学)を授与します。

#### 1. 人間の尊重を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

知識基盤型の社会において、持続可能な社会の実現に積極的に関与しようとする意欲と態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

国内または国際的な課題解決のための協働の場において、経済学に基づいた解析的思考や実際に行った分析から得られた自らの考えを他者に分かりやすく伝えながら議論をし、リーダーシップを発揮する能力

dDP2-2.

知識、能力、興味といった学生の個性に応じて、高い専門性を用いて現在社会で活躍する能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

経済学的な視点の根幹を成すミクロ経済学・マクロ経済学の考え方や概念について理解し、自分の言葉で説明する能力

dDP3-2.

経済学の知識に基づいた解析的思考を持ち、現代社会における現実的課題の中に潜むメカニズムや事象間の因果を明らかにするための、自らのモデルを意識の中で構築し、課題解決の方法を考える能力

dDP3-3.

多様な社会経済現象について、情報処理の知識と技能を駆使して、データに基づく統計的分析を遂行する能力

dDP3-4.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、経済学分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学経済学部経済学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が経済学に関連する基礎的な知識を獲得したうえで、より高度な専門的知識・スキルと課題の発見・分析能力を身につけることができるよう、学修の順序と体系を考慮したカリキュラムを編成します。

- 初年次教育として、経済学に関する基礎知識を修得します。そのために「学科科目 A 群」として、クラスを単位とした導入教育による科目を設置します【100 番台】。
- 2年次以降において、専門科目の基礎的能力を深く掘り下げて修得する目的で、「学科科目 B 群」に専門科目の基礎と関連づけた少人数教育による科目を設置します【200 番台】。
- 学生の知的な関心に沿って専門性の到達度を向上させ、理論と現実のバランスのとれた知識と問題解決能力を高めるために、「学科科目 B 群」に専門性を養うための講義科目【200 番台】と演習を核とする科目【300・400 番台】を設置します。
- 現実に即した多様な実践的知識を修得させるために、「学科科目 B・C 群」に外部機関と連携した多彩な実践的教育を行う科目を設置します【200・300 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次の科目【100 番台】のほか、「演習」を通じて指導します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序や体系を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1 に掲げる目標を達成するために、1 年次に履修する「学科科目 A 群」や研究倫理教育のほか、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2 に掲げる目標を達成するために、学生は各学科における双方向型学修や能動的学修を取り入れた授業において、対話・協働するためのコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけます。

また全学共通科目や語学科目を履修することで、多様な分野・文化の人々と協働する能力を身につけます。2 年次以降の、「アクティブラーニング・セミナー」や 3 年次・4 年次の「演習」を通し、学生は他者と協力して課題を解決するためのコミュニケーション能力を修得します。さらに、学生が国際的な場で活躍できる英語でのコミュニケーション能力を身につけられるように、選択必修科目に設置された英語で提供される専門科目を学びます。

さらに、ディプロマ・ポリシー全体を通して目標としている基礎的な知識と能力を基盤として、学生は自らの特性や興味にあった専門性を獲得するために、より専門性の高い経済学の科目に加え、経営学や他学部他学科科目を含む多様な専門科目を選択できます。

dDP3-1 に掲げる目標を達成するために、複数の専任教員が担当する、経済学への入門となる科目を通して、学生は経済理論の基礎的知識を深く掘り下げながら修得します。

dDP3-2 に掲げる目標を達成するために、経済数学科目において学生はモデル構築の基礎となる数理分析の知識を学び、ミクロ経済学、マクロ経済学、およびその応用科目において社会経済現象を「モデル」として記述して分析する方法を学び、論理的思考能力を修得します。

dDP3-3 に掲げる目標を達成するために、学生は統計学や計量経済学、およびデータサイエンスに関する科目を通して、データに基づく統計的分析能力を修得します。

dDP3-4 に掲げる目標を達成するために、1 年次の「アカデミックスキルズ」、3・4年次の「演習」での指導に加え、4 年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・外部との連携講義・英語による講義等の多様な授業形態を用います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)、これに加えて必要に応じて COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

## Ⅱ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学経済学部経済学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 現代社会の諸問題に対して高い関心を持ち、社会に貢献できるようになりたいという高い意欲
- 論理的思考の基礎となる言語能力(自らの考えを整理して言葉で表現する力や他者の考えを理解する力)、および数学的な思考能力
- 経済学科において、自ら主体的に行動し、対話を通じて他者を理解し、他者と協働できるようになりたいという意欲

### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の 3 要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

#### (1) 知識・技能

- 高等学校の教育課程を通じて修得する基礎的学力を身につけている。特に、論理的思考能力(数学)の基礎的学力

#### (2) 思考力・判断力・表現力

- 経済学を学ぶための、柔軟な思考力と豊かな表現力

#### (3) 主体性・多様性・協働性

- 経済活動をめぐる問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、論理的思考能力と数理的処理能力を含んだ数学能力を評価する選抜を実施します。

特別入学試験では、理解力、論理的思考能力、表現力を評価する試問と、論理的思考能力と数理的処理能力を含む数学能力を評価する試問によって選抜を行います。これらに加え、面接を通じ、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## Three Policies of the Department of Economics SPSF

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Economics SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Economics, Sophia University aims to prepare students to analyze social and economic issues using economic theories and frameworks. The program focuses on developing individuals who can contribute to solving global challenges through logical and empirical approaches.

Students receive foundational training in microeconomics and macroeconomics and participate in small-group seminars and English-taught courses to build the skills needed to address contemporary economic issues.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of “Sustainable Futures,” recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with Faculty of Economics’ Diploma Policy, students who complete the coursework requirements will be awarded a Bachelor of Arts in Economics, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

A proactive mindset and commitment to contributing to the creation of a sustainable society in an increasingly knowledge-driven world by drawing upon specialized knowledge in economics, as well as insights from the other five disciplines including management, sociology, education, global studies, and journalism covered in the SPSF course.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

Abilities to demonstrate leadership and actively contribute to discussions by clearly articulating ideas grounded in economic analysis and critical thinking, within collaborative settings focused on addressing domestic or global challenges.

dDP2-2.

Abilities to acquire a sufficiently high level of expertise to thrive in modern society, tailored to each student’s individual knowledge, abilities, and interests.

### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative Contribution to Society**

dDP3-1.

A solid understanding of key economic concepts and theories, such as microeconomics and macroeconomics, and the ability to articulate these in one's own words.

dDP3-2.

The ability to develop and apply economic models to understand and address real-world social and economic issues.

dDP3-3.

Proficiency in data-driven statistical analysis to interpret various socio-economic phenomena.

dDP3-4.

An ethical commitment to engaging in responsible intellectual work through learning in the field of Economics, by taking academic responsibility seriously and avoiding misconduct, such as fabrication, falsification, and plagiarism.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Economics SPSF, Faculty of Economics, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Economics organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students acquire a wide range of knowledge and skills related to economic theoretical, statistical, and computational analyses as well as a rich culture, broad perspectives, and an international mindset.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- As first-year students' education, foundational education in economics will be offered in the first year through introductory courses including "Compulsory Courses" and "Compulsory Elective Courses" [100-level courses].
- From the second-year students, the department will offer small-group courses as "Compulsory Elective Courses" for the acquisition of basic knowledge and skills in the field of economics [200-level courses].
- Advanced courses, including lectures on specialization and seminar-based core education, balance theoretical and practical knowledge [200-, 300-, and 400-level courses].
- Practical learning opportunities, in collaboration with external organizations, are provided through diverse courses in "Compulsory Elective Courses" [200-, 300-, and 400-level courses].
- Ethical engagement with scholarship is introduced in first-year courses [100-level course] and is further supported by "Research Seminar" [400-level course].
- To enable the students during the first year to acquire a basic knowledge on "Sustainable Futures" and the relating issues through the SPSF General Studies Courses, drawing on the perspectives of six disciplines. Based on the acquired knowledge, the students will be able to deepen their understanding in various challenges related to the sustainable futures through "Elective Courses" in the University-wide General Courses, and they will be also able to learn about the approaches, contents, and methodologies of the different

disciplines through “Elective Courses” offered by each department [200- and 300- level courses].

- In addition to the abovementioned curriculum offered and developed by the department, the prescribed courses offered as University-wide General Courses and Language Courses across the entire university will be allocated for the acquisition of human understanding, cross-cultural understanding, and communication skills.

## **2. Learning Content and Methods**

### **(1) Learning Content**

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To meet dDP1 goals, students study Sustainable Futures, human dignity, and life through foundational courses, ethics in research, and liberal arts education. Students take SPSF Common Core Courses and Elective Courses from participating departments. These courses provide diverse perspectives and methodologies, preparing students to address complex issues related to Sustainable Futures.

To achieve dDP2 goals, students build communication and leadership skills through interactive learning and collaboration in university-wide General Courses and language courses. Advanced communication skills for global engagement are developed through English-taught specialized courses.

The department allows students to tailor their learning to their interests and goals by offering a wide range of specialized courses in economics, management, and interdisciplinary subjects.

To address dDP3 goals, students undergo rigorous training in economic theories, mathematical economics, and statistical analysis.

To achieve dDP3-4, along with first-year “Academic Skills,” second- and third-year “Research Seminars,” and advanced coursework or research experiences, students engage with ethical issues in scholarship throughout their four years of study.

### **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, collaborative lectures with external institutions, and Japanese track lectures that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy. To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive learning such as discussions and presentations, PBL (problem-based learning) and COIL (Collaborative Online International Learning)-based learning as needed. Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

### **3. Methods of evaluation of learning outcomes**

Student progress toward the Diploma Policy's objectives is assessed through comprehensive evaluations of coursework, including written exams, presentations, reports, and other methods, in accordance with clear criteria outlined in course syllabi.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Economics SPSF, Faculty of Economics, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others," and the goals outlined in the Diploma Policy.

- A strong interest in addressing contemporary societal issues and a desire to contribute to society.
- Foundational skills in logical reasoning and mathematical thinking.
- Motivation to act independently, engage in dialogue, and collaborate with others.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- Sufficient proficiency in high school level mathematical operations including differentiation, integration, and linear algebra to conduct thorough economic analyses.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to think critically and express ideas effectively in English.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A proactive and cooperative mindset for exploring economic issues.

#### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the "Desired Student Profile", this department evaluates the "Expected Competencies Prior to Admission" from multiple perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS,

aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing, and letters of recommendation. This process evaluates comprehension, logical reasoning, written communication, and quantitative problem-solving skills, including mathematical analysis and practical applications.

## 経営学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学経済学部経営学科は、高度な専門知識及び幅広い教養を身につけ、社会とのかかわりにおいて多様な視角から経営を理解し、実践していく能力を養うことを目的としています。

そうした目的を達成するために、経済学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、全学共通教育・語学教育および学科の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、次の能力を身につけたと認められる者に学士(経営学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

グローバル化・複雑化が進展していく経営環境を持続可能性に配慮して的確に分析するための知識や意欲

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

厳しい制約条件のもとで適切な意思決定をおこなうために、異質性や多様性を尊重する態度を持ち、多様な観点から公正に配慮して議論し、情報発信する能力

dDP2-2.

国際的な場においてリーダーシップ発揮を目指すための高いレベルのコミュニケーション力と分析技術

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

経営学の考え方や概念および専門的知識を理解し、説明する能力

dDP3-2.

現代社会における複雑で多様な情報を効率的に収集・処理し、問題解決を導く能力

dDP3-3

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、経営学分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学経済学部経営学科では、ディプロマ・ポリシーに示す能力等の目標を学生が達成できるよう、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、経営学に関連する基礎的な知識の獲得と、より高度な専門的知識・スキル、課題の発見・分析能力の修得に向けて、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として経営学ならびに経済学の基礎的知識を修得します。そのために、「学科科目 A 群」として設置する必修や概論の科目において、クラスを単位とした導入教育を実施します【100 番台】。
- 2 年次以降において、専門科目を学ぶための基礎的能力を築くために、「学科科目 B 群」に、専門科目の基礎と関連づけた少人数教育を行う科目を設置します【200 番台】。なお、これらの科目は、他学科の学生による履修も可能とします。
- 学生の自らの関心に沿って専門分野の理論に対する理解を深め、問題解決に用いるより高度な技術を獲得するために、「学科科目 B 群」に専門性を養う講義【200 番台】と演習を核とする基幹教育【300・400 番台】を設置します。
- 現実に即した多用な実践的知識を修得するために、「学科科目 B 群」・「学科科目 C 群」に外部機関と連携した実践的科目を設置します【200・300 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次の「経営学概論」【100 番台】のほか、「演習 1・2・3・4」を通じて指導します【400 番台】。
- 上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目、ならびに英語による「学科科目 B 群」や「学科科目 C 群」を配当します【200・300 番台】。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する学科科目A群や研究倫理教育のほか、4年をかけて履修する全学教養教育である全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、学生は双方向型学修や能動的学修を取り入れた授業において、対話・協働するためのコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけます。2年次以降の「経営英語」、「経営基礎研究セミナー」や3・4年次の「演習」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と対話・協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3-1に掲げる目標を達成するために、学生は初年次における必修科目や概論科目の履修に加えて、1年次～4年次に他学科からも履修可能な「学科科目B群」「学科科目C群」を履修します。これらを通じて、経営学分野の知識と分析技術だけでなく、経済学をはじめとする関連領域にかかわる応用的知識を学び、経営学理論のより深く現実に即した理解と説明能力を身につけます。

dDP3-2に掲げる目標を達成するために、データサイエンスに関する科目を通じて情報収集・処理の知識・能力を涵養し、3年次以降に履修する「演習」や外部機関連携の選択科目などで得た知識・能力を統合することで、自ら探求し問題解決する力や、キャリアとして智を実践する力を身につけます。

dDP3-3に掲げる目標を達成するために、1年次の「経営学概論」、2年次の「経営学研究法入門」、3、4年次の「演習」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生が学部および各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・外部との連携講義・英語による講義等の多様な授業形態を用います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)、これに加えて必要に応じて協働的な学修を行えるよう、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学経済学部経営学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 多様な現実社会の問題に関心を持ち、主体的に関わりあう意欲
- 多面的な視点から社会現象を論理的に分析し、理解するために必要とされる日本語および外国語の能力、数学の知識・論理能力、歴史などの社会科の素養
- 営利組織、非営利組織を問わず、国内外の組織やプロジェクトにおいて活躍する意欲

#### 2. 入学前に身に付けていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 高等学校の教育課程を通じて修得する社会科や数学の基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 柔軟な思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 経済活動、経営活動をめぐる問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学選抜にあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や数学の基礎学力を評価する選抜を実施します。

特別入学試験では、理解力・論理的思考力・表現力を総合的に判断する試問と面接試験等を通じて、学力試験では評価が難しい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## Three Policies of the Department of Management SPSF

### **I . Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Management SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Economics, Sophia University aims to impart high-level expertise and broad general knowledge and cultivate a capacity to understand and practice management using a diversity of approaches in actual social engagement.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of “Sustainable Futures,” recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with Faculty of Economics’ Diploma Policy, students who complete the coursework requirements will be awarded a Bachelor of Arts in Management, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

Understanding and responding to the challenges businesses face in a world where markets are increasingly interconnected and social and technological changes happen quickly by drawing upon specialized knowledge on management studies as well as perspectives from the other five disciplines in the SPSF course students learn.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

Respecting differences and diversity, communicating openly and fairly, working with others to solve problems, and making thoughtful decisions even in challenging situations.

dDP2-2.

Taking initiative in international settings by communicating ideas clearly, solving problems collaboratively, and guiding teams toward shared goals.

### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative Contribution to Society**

dDP3-1.

Understanding the principles and methods of management studies, along with developing specialized expertise in the field.

dDP3-2.

Gathering and processing complex information efficiently and leading efforts to address pressing societal issues.

dDP3-3.

An ethical commitment to conducting thoughtful and responsible intellectual work in the field of Management, recognizing one's role as a student of higher learning and upholding academic integrity.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Management SPSF, Faculty of Economics, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Management organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students acquire a wide range of knowledge and skills related to management and economics, as well as a rich culture, broad perspectives, and an international mindset.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- As first-year students' education, "Introduction to Management 1" and "Introduction to Management 2" in the Compulsory will be offered to acquire the learning skills, fundamental understanding of specialized knowledge, communication skills, logical thinking, and social ethics required in promoting specialized learning [100-level courses].
- From the second-year students, the department will offer small-group courses in the Compulsory Electives for the acquisition of basic knowledge and skills in the field of management [200-level courses].
- "Lectures to Cultivate Specialization" [200-level courses] and "Research Seminars" [300- and 400-level courses] will be offered in the Compulsory Electives, in order to deepen students' understanding of theories in line with their own interests and acquire more advanced skills for solving problems.
- The department will offer courses taught by experienced business managers and practitioners that foster a realistic and practical sense of management and/or teach business in practice [200- and 300-level courses].
- Ethical engagement with scholarship is introduced in first-year courses [100-level course] including "Introduction to Management 1" and "Introduction to Management 2" and is further supported by "Research Seminar 1/ 2/3/4" and "Bachelor's Thesis" [400-level course].
- To enable the students during the first year to acquire a basic knowledge on "Sustainable Futures" and the relating issues through the SPSF General Studies Courses, drawing on the perspectives of six disciplines. Based on the acquired knowledge, the students will be able to deepen their understanding

in various challenges related to the sustainable futures through “Elective Courses” in the University-wide General Courses, and they will be also able to learn about the approaches, contents, and methodologies of the different disciplines through “Elective Courses” offered by each department [200- and 300- level courses].

- In addition to the abovementioned curriculum offered and developed by the Department, the prescribed courses offered as University-wide General Courses and Language Courses across the entire university will be allocated for the acquisition of human understanding, cross-cultural understanding, and communication skills.

## 2. Learning Content and Methods

### (1) Learning Content

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To meet the goals of dDP1, students will learn about Sustainable Futures and the value of human dignity and life through Basic Faculty-wide Courses, a research ethics course in their first year, and University-wide General Courses as part of the liberal arts curriculum.

To achieve the goals of dDP2, students will strengthen their communication skills and their ability to work collaboratively through active and interactive learning approaches, including small-group courses offered throughout all four years. These methods emphasize dialogue, teamwork, and the development of self-directed learning. Students will also improve their English proficiency through intensive English Courses and have opportunities to learn additional languages in Foreign Language Courses.

To achieve the goals of dDP3-1, students will take compulsory introductory courses in their first year and Compulsory Electives available throughout their four years, including options from other departments. These courses will provide foundational and applied knowledge in Management and related fields like Economics. Students will also gain a deeper understanding of Management theory and learn how to apply and communicate this knowledge effectively in academic and professional contexts. Specialized courses offered by each SPSF department will teach the perspectives, content, and methods of specific fields, helping students address issues related to Sustainable Futures.

To meet the goals of dDP3-2, students will develop skills in information gathering and analysis through data science courses. These skills will be applied in seminars beginning in their junior year and in elective courses, some offered in collaboration with external institutions, where students will learn to solve problems independently and apply knowledge in their careers.

To meet the goals of dDP3-3, students engage with ethical issues in scholarship throughout their four years of study, along with first-year

“Introduction to Management,” second to fourth year “Research Seminar 1/2/3/4”, fourth year “Bachelor’s Thesis” and advanced coursework or research experiences.

## **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, and skills training that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive activities like discussions, presentations, PBL (problem-based learning), and COIL(Collaborative Online International Learning)-based learning as needed.

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

## **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students’ progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Management SPSF, Faculty of Economics, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others," and the goals outlined in the Diploma Policy.

- Are eager to address significant social challenges and contribute actively to solving them. Possess Japanese and foreign language skills sufficient for academic study, analyzing social issues from multiple perspectives, and engaging in discussions. They should also have a solid foundation in social studies (including history) and strong logical thinking abilities including mathematical knowledge.
- Are motivated to become leaders in both commercial and non-profit organizations, in Japan and internationally.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- A clear understanding of essential topics in high school-level social studies, such as history and economics, and mathematics, including algebra and statistics.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to think critically and express ideas effectively.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A motivation and interest in studying economic and managerial issues, along with a willingness to work collaboratively with others.

### **3.Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the “Desired Student Profile“, this department evaluates the “Expected Competencies Prior to Admission” from multiple perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing, , and letters of recommendation.

## 外国語学部の3つのポリシー

外国語学部での新たな3つのポリシーの適用は2028年度以降を予定しており、新たな3つのポリシーは2027年度以降に公開することを予定しています。新たな3つのポリシーを適用開始するまでは、現在の3つのポリシーをご参照ください。

## 総合グローバル学部総合グローバル学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科は、グローバル化の進行する現代にあって、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向け、紛争、経済格差、貧困、差別、環境破壊など様々な問題群を多面的に考察し、解決する意欲を持ち、行動できる人材を育成することを目的としています。

そのために、「地域立脚型グローバル・スタディーズ」を理念に掲げ、国際関係論と地域研究を両輪として学んでいきます。国際関係論は、国家を中心として分析を行う国際政治論領域と、グローバル化の担い手としての市民社会や経済を扱う市民・国際協力論領域から構成されています。一方、地域研究は、研究対象地域を基準に、アジア研究領域と中東・アフリカ研究領域で構成されています。2年次以降に国際関係論か地域研究のどちらに主軸を置くかを定め、さらに、その中での領域を選択し、専門性を高めていきます。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文・卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(国際関係論)または学士(地域研究)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

##### fDP1-1.

人間の尊厳を重視し、グローバル社会の問題群から課題を発見し、積極的に解決に取り組もうとする力

##### fDP1-2.

グローバル・スタディーズを支える国際関係論と地域研究の考え方や理論の全体像を理解し、現状を客観的に分析し、議論する能力

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

##### fDP2-1.

世界各地で顕在化する問題群を総体として俯瞰し、なおかつ地域社会の固有の論理や価値観を踏まえながら理解する力

##### fDP2-2.

複数言語(英語と地域言語)の運用能力を高め、多様な文化、背景の人々と対話する能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

##### fDP3-1.

国際関係論と地域研究の基礎的な知識を身につけた上で、理論、分析方法を学び、さまざまな事象を多面的に検討する能力

##### fDP3-2.

グローバル化の正負の側面について、具体的な事例に即し、基礎的な理論と実証的な方法を用いて分析を行い、問題解決の方法を構想し、議論を精緻化して、発信する能力

fDP3-3.

学問を修める者としての自覚を持ち、学問の信頼性を守り、国際関係論分野および地域研究分野の学修を通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が国際関係分野と地域研究分野に関連した広い知見を修得し、その上で、実践力や応用力を伴う専門性を修得できるように段階的なカリキュラムを編成しています。

また、各領域で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、グローバル・スタディーズと、これを支える国際関係論および地域研究の基礎について講義を通じて学び、基幹となる理論と方法を修得するとともに、研究の基礎的な技能と姿勢を身につけます【100 番台】。
- 1 年次から 2 年次にかけて、専門性を意識し、国際関係論あるいは地域研究の理論や分析方法についての科目を集中的に学びます【200 番台】。
- 2 年次は、国際政治論、市民社会・国際協力論、アジア研究、中東・アフリカ研究から 1 領域をメジャー領域(専門)とし、演習【400 番台】の選択を行います。選択しなかった分野の国際関係論、あるいは地域研究からマイナー領域として 1 領域を選択します。国際関係論領域を選択しても地域研究の視点を維持し、逆に地域研究を選択しても、国際関係論領域の視点を維持していきます。
- 3 年次より、選択した領域、演習に応じ、講義等を通じてグローバルな問題の解決策を構想し、実践する力を養います【300 番台・400 番台】。
- 4 年次には「卒業論文・卒業研究」に取り組み、研究成果を明確な形にして示します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1 年次の「グローバル・スタディーズ基礎演習」【100 番台】のほか、3 年次以降に履修する「演習」「卒業論文・卒業研究」を通じて指導します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、グローバル社会の正負の側面を多面的に理解し、世界の人々がともに歩むことができる共生社会の構築に貢献できる人材となることをめざし、十分な基礎知識の上に、高度な専門性、実践力と応用力をもてるように学修していきます。国際関係論と地域研究の科目を横断的に学修した後、領域選択を行い、専門性を磨くための科目を積み上げて学修します。

fDP1に掲げる目標を達成するために、学生は1年次に履修する100番台の学部基礎科目とともに、4年間を通じて全学共通科目の各科目を履修することで、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

fDP2に掲げる目標を達成するため、学生は演習などで実施する双方向型学修や能動的学修を取り入れた授業において、多様な視点を学びます。地域に対する関心を高めるため、語学科目によりアジア・アフリカ諸語など、英語以外の外国語の修得を心がけ、複数の言語を運用する能力を獲得します。また、主体的に課題を設定し、論文などの具体的な成果として発表する自主研究を選択することができます。

fDP3に掲げる目標を達成するために、学生は初年次教育の基礎演習から主体的に課題を設定し、議論し、発信することを学びます。3年次以降では、演習を通して、具体的課題に主体的に取り組み、議論を交わし、分析手法の違いや問題解決までの複雑で多様な道筋を考察します。また、1年次に履修する「グローバル・スタディーズ基礎演習」や3年次以降に履修する「演習」、「卒業論文・卒業研究」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて責任ある知的創造活動を実践するための倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。その集大成として4年次では「卒業論文・卒業研究」において1年をかけて研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習など多様な授業形態を用います。

とくに、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、主に演習で実施されるディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)型学修、自主研究などの様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文・卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、国際関係論、地域研究領域を通じ、総合グローバル学科共通として、グローバルな共生社会の形成に貢献できるよう、次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- グローバル社会が世界にもたらす正負の諸側面に対し、絶えざる問題意識と関心
- 世界を構成する様々な地域や人々の多様性を理解する意欲
- 物事に対して根拠に基づいた論理的な思考、かつ主体的に取り組む姿勢と努力を積み重ねていく力
- グローバル化する世界の動きを理解するのに必要とされる英語力、さらにアジア・アフリカ諸語など諸言語を学修する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 世界史、地理、現代社会に関する高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- グローバル社会を多面的に考察し、さまざまな意見を咀嚼できる思考力、問題点を整理できる判断力、他者の意見をふまえてつづ自らの考えを構築、発信できる表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- グローバル社会のさまざまな問題を意識し、何が出来るかを主体的に考えられる積極性、多様な見方を受け入れ、協働して学び、解決しようとする意欲

#### 3. 入学選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学選抜にあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、世界史や社会問題の基礎的な学力、実践的な英語力を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 総合グローバル学科国際関係論分野の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科の国際関係論分野では、国家間の安全保障や外交交渉、地域紛争、民族問題、平和構築、民主化、人権、ナショナリズムなどに関わる問題、現象を扱う国際政治論領域、あるいは、グローバル化の担い手としての市民社会および経済を扱い、社会学、経済学、国際協力学、国際教育学等からアプローチする市民社会・国際協力論領域のいずれかを専門とします。両領域ともに、グローバル化の正負の側面への多様なアプローチと視点を学び、高度な知識や分析能力を身につけ、自ら課題を設定し、その解決に貢献することができる人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、総合グローバル学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、国際関係論分野では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文・卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(国際関係論)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

##### dDP1-1.

グローバル社会が抱えるさまざまな課題(紛争、貧困、開発、移民、難民、環境問題、安全保障など)に強い関心を持ち、それらを学問的に分析する能力・意欲

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

##### dDP2-1.

グローバル・スタディーズを支える国際関係論と地域研究の考え方や理論の全体像を理解するとともに、双方の視点を組み合わせて考察を行い、課題を俯瞰し、多面的に理解できる力

##### dDP2-2.

複数言語(英語と地域言語)の運用能力を高め、世界の諸地域に生活する多様な他者と対話し、共存する社会の形成に向けて、協力して問題解決に当たる能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

##### dDP3-1.

具体的な事例について、国際関係論の基礎的な理論と実証的な方法を用いて分析を行い、問題解決の方法を構想する能力

##### dDP3-2.

グローバルな課題について積極的に発信し、共生社会を構想する能力、またそのための行動力

##### dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、国際関係分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科の国際関係論分野では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本分野では、学生が国際関係に関連した幅広い知識と技能を修得するとともに、グローバル社会を生き抜く豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、グローバル・スタディーズと、これを支える国際関係論および地域研究の基幹となる理論と方法を修得します【100 番台】。
- 1年次から2年次にかけて、「国際政治論科目群」、「市民社会・国際協力論科目群」、「アジア研究科目群」、「中東・アフリカ研究科目群」からなる講義科目を履修し、グローバル・スタディーズとその学際性を学びます【200 番台】。その際、高学年での専門性を意識し、国際政治や経済の動態を把握し、国際協力や市民社会のメカニズムについて講義を通じて学びます。
- 3年次では、国際政治論、市民社会・国際協力論領域のいずれかをメジャー(専門)として選択し、領域が提供する演習(「学部応用科目」)に所属しながら、実践的に課題解決に取り組みます【400 番台】。さらに専門性を極めるため高度な講義科目を履修し、グローバルな問題の解決策を構想し、実践する力を養います【300 番台・400 番台】。また、地域研究からもマイナーとして1領域を選び、講義等を通じて地域への眼差しも学びます【300 番台・400 番台】。
- 4年次は研究課題を設定し、「卒業論文・卒業研究」に取り組みます【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「グローバル・スタディーズ基礎演習」【100 番台】のほか、3年次以降に履修する「演習」「卒業論文・卒業研究」を通じて指導します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本分野の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する「学部入門科目」とともに、基礎演習で研究ツールやメディアリテラシー、課題設定の方法などについて学びます。また、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、国際関係論の基本的な概念や政治学、経済学、社会学、教育学などの分析方法を学ぶための講義科目を履修します。マクロな分析視角を学びつつ、地域社会が抱える諸課題についても考えます。

また、英語で講義される科目の受講などを通じて、国際共通語である英語の力を高めます。さらに地域の視点も高めるため、複言語の履修も推奨されます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、初年次教育の基礎演習から主体的に課題を設定し、議論し、発信することを学びます。3年次以降では、演習を通して、具体的課題に主体的に取り組み、分析手法の違いや問題解決までの道筋を考察します。また、1年次に履修する「グローバル・スタディーズ基礎演習」や3年次以降に履修する「演習」、「卒業論文・卒業研究」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて責任ある知的創造活動を実践するための倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。その集大成として4年次では「卒業研究・卒業研究」において、1年かけて研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本分野では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・自主研究等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修を実施する他、協働的な学修を行えるよう、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文・卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、国際関係論、地域研究領域を通じ、総合グローバル学部共通として、グローバルな共生社会の形成に貢献できるよう、次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- グローバル社会が世界にもたらす正負の諸側面に対し、絶えざる問題意識と関心
- 世界を構成する様々な地域や人々の多様性を理解する意欲
- 物事に対して根拠に基づいた論理的な思考、かつ主体的に取り組む姿勢と努力を積み重ねていく力
- グローバル化する世界の動きを理解するのに必要とされる英語力、さらにアジア・アフリカ諸語など諸言語を学修する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の 3 要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 世界史、地理、現代社会に関する高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- グローバル社会を多面的に考察し、さまざまな意見を咀嚼できる思考力、問題点を整理できる判断力、他者の意見をふまえてつづ自らの考えを構築、発信できる表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- グローバル社会のさまざまな問題を意識し、何が出来るかを主体的に考えられる積極性、多様な見方を受け入れ、協働して学び、解決しようとする意欲

#### 3. 入学受入れの方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学受入れを実施するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、世界史や社会問題の基礎的な学力、実践的な英語力を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 総合グローバル学科地域研究分野の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科の地域研究分野は、研究対象とする地域を基準としてアジア研究領域と中東・アフリカ研究領域に分かれています。両領域ともに、国際社会のなかの特定の地域に焦点を当て、当該地域のもつ文化的・歴史的固有性に留意しながら、地域の抱える課題を何らかの研究手法(政治学、経済学、社会学、人類学、考古学、歴史学など)を用いて解明し、その解決に貢献することができる人材を養成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、総合グローバル学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、地域研究分野では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文・卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(地域研究)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

グローバル社会が抱えるさまざまな課題(紛争、貧困、開発、移民、難民、環境問題、安全保障など)に強い関心を持ち、それらを学問的に分析する能力・意欲

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

グローバル・スタディーズを支える地域研究と国際関係論の考え方や理論の全体像を理解し双方の視点を組み合わせて考察し、地域社会が抱える課題を地域固有の論理や価値観を踏まえながら理解する力

dDP2-2.

複数言語(英語と地域言語)の運用能力を高め、世界の諸地域に生活する多様な他者と対話し、共生社会の形成に向けて協力して問題解決に当たる能力

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

特定の地域社会の抱える諸問題を理解するための基盤となる、当該地域の言語、文化、歴史などに関する基本的な知識と理解力

dDP3-2.

グローバルな課題について積極的に発信し、共生社会を構想する能力、またそのための行動力

dDP3-3.

学問に携わる者としての責任感を持ち、捏造、改ざん、盗用などの不正を行わず、地域研究分野での学びを通して責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科の地域研究分野では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本分野では、学生がグローバル・スタディーズ、とりわけ地域研究に関連した幅広い知識と技能を修得するとともに、豊かな教養と広い視野、国際性を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、グローバル・スタディーズと、これを支える地域研究および国際関係論の基幹となる理論と方法を修得します【100 番台】。
- 1年次から2年次にかけて、「国際政治論科目群」、「市民社会・国際協力論科目群」、「アジア研究科目群」、「中東・アフリカ研究科目群」からなる専門的な講義科目を履修し、グローバル・スタディーズとその学際性を学びます【200 番台】。その際、高学年での専門性を意識し、アジア、中東、アフリカなどについて、歴史、文化、政治、経済他の諸側面から学びます。
- 3年次では、アジア研究領域と中東・アフリカ研究領域のいずれかをメジャー(専門)として選択し、領域が提供する演習(「学部応用科目」)に所属しながら特定の地域に関わる研究課題を設定し、実践的に課題解決に取り組みます【400 番台】。さらに専門性を極めるため高度な講義科目を履修し、地域社会の抱える問題の解決策を構想し、実践する力を養います【300 番台・400 番台】。また、国際関係論からもマイナーとして1領域を選び、講義等を通じてマクロの視点も養います【300 番台・400 番台】。
- 4年次は研究課題を設定し、「卒業論文・卒業研究」に取り組みます【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、1年次の「グローバル・スタディーズ基礎演習」【100 番台】のほか、3年次以降に履修する「演習」「卒業論文・卒業研究」を通じて指導します【400 番台】。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーション学科の力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本分野の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する「学部入門科目」とともに、基礎演習で研究ツールやメディアリテラシー、課題設定の方法などについて学びます。また、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、地域社会が抱える諸課題に関して文化的歴史的背景を踏まえながら理解するための講義科目を履修します。地域固有の論理を分析する視角を学びつつ、グローバルな文脈で分析するための能力を身につけます。

また、国際共通語である英語の力を高めつつ、アジア・アフリカ諸語をはじめとする地域諸語の修得を進めることで地域固有の文化や価値観への深い理解を目指します。

dDP3に掲げる目標を達成するために、初年次教育の基礎演習から主体的に課題を設定し、議論し、発信することを学びます。3年次以降では、演習を通して、具体的課題に主体的に取り組み、分析手法の違いや問題解決までの道筋を考察します。また、1年次に履修する「グローバル・スタディーズ基礎演習」や3年次以降に履修する「演習」、「卒業論文・卒業研究」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて責任ある知的創造活動を実践するための倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。その集大成として4年次では「卒業論文・卒業研究」において、1年かけて研究課題に取り組みます。

### (2) 学修方法

本分野では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習等・自主研究の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修を実施する他、協働的な学修を行えるよう、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業論文・卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学総合グローバル学部総合グローバル学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者とともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、国際関係論、地域研究領域を通じ、総合グローバル学科共通として、グローバルな共生社会の形成に貢献できるよう、次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- グローバル社会が世界にもたらす正負の諸側面に対し絶えざる問題意識と関心
- 世界を構成する様々な地域や人々の多様性を理解する意欲
- 物事に対して根拠に基づいた論理的な思考ができ、かつ主体的に取り組む姿勢と努力を積み重ねていく力
- グローバル化する世界の動きを理解するのに必要とされる英語力、さらにアジア・アフリカ諸語など諸言語を学修する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 世界史、地理、現代社会に関する高等学校卒業レベルでの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- グローバル社会を考察し、さまざまな意見を咀嚼できる思考力、問題点を整理できる判断力、他者の意見をふまえつつ自らの考えを構築、発信できる表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- グローバル社会のさまざまな問題を意識し、何が出来るかを主体的に考えられる積極性、多様な見方を受け入れ、協働して学び、解決しようとする意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、世界史や社会問題の基礎的な学力、実践的な英語力を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## Three policies of the Department of Global Studies SPSF

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Global Studies SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Global Studies, Sophia University, prepares graduates to address the challenges and opportunities of globalization and to contribute to creating a more inclusive global society. Globalization is a complex process that affects countries and regions differently. This program trains individuals to tackle global issues—such as conflicts, economic inequality, poverty, discrimination, and environmental degradation—through a multidisciplinary approach.

The program emphasizes:

1. A broad, comprehensive understanding of global dynamics.
2. Flexible thinking that respects the diversity and logic of local communities.
3. Proficiency in multiple languages, including English and others.
4. Ethical negotiation skills.

Students study both International Relations and Area Studies under the philosophy of “area-focused global studies.” International Relations examines globalization from a macro perspective, using approaches from political science, economics, sociology, and education. Area Studies focuses on specific regions, such as Asia, the Middle East, and Africa, from a micro perspective. Starting in their third year, students choose one of these two fields as their major and deepen their expertise.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of “Sustainable Futures,” recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with Faculty of Global Studies’ Diploma Policy, students who complete the coursework requirements and pass the thesis review will be awarded a Bachelor of Arts degree in either International Relations or Area Studies, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

fDP1-1.

The ability to emphasize human dignity, identify issues from the problems of global society, and actively work to solve them.

fDP1-2.

The ability to understand the overall concepts and theories of International Relations theory and Area Studies that support global studies, objectively analyze the current situation, and engage in discussion.

## **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

fDP2-1.

The ability to understand global issues from a broad perspective while respecting the unique values and logic of local communities.

fDP2-2.

Proficiency in multiple languages, including English, and the ability to communicate and collaborate effectively with people from diverse cultures and backgrounds.

## **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative Contribution to Society**

fDP3-1.

The ability to study theories and analytical methods while examining global events from multiple perspectives, rooted in International Relations and Area Studies.

fDP3-2.

The ability to analyze the complexities of globalization using theoretical and empirical methods and to develop and communicate effective strategies for creating a sustainable future.

fDP3-3.

An ethical commitment to conducting thoughtful and responsible intellectual work in the field of International Relations and Area Studies, recognizing one's role as a student of higher learning and upholding academic integrity.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Global Studies SPSF, Faculty of Global Studies, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Global Studies organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students acquire a wide range of knowledge and skills related to International Relations and Area Studies.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- In their first year, students take introductory courses in global studies and the fundamentals of International Relations and Area Studies, learning core theories, methods, and research skills [100-level courses]. First-year students take an interdisciplinary “SPSF Common Core” course taught by all SPSF departments, introducing basic concepts of “Sustainable Futures” [100-level courses].
- In their first and second years, students deepen their knowledge of theories and analytical methods in their chosen field [200-level courses].
- By the fall of their second year, students select a major specialization—such as International Politics, Civil Society and International Cooperation, Asian Studies, or Middle Eastern and African Studies—and a seminar to join in their third year. They also choose a minor in the opposite field (e.g., International Relations students select an Area Studies minor).
- Third-year students revisit the “SPSF Common Core” in an interdisciplinary course, where they apply learned perspectives and methods to practical sustainability challenges [300-level courses].
- In their third and fourth years, students focus on applying their knowledge to global challenges through advanced lectures and seminars [300- and 400-level courses]. In their fourth year, students complete their studies by conducting research and writing a thesis under the course title “Bachelor’s Thesis” [400-level courses].
- Ethical engagement with scholarship is introduced in the second-year course

“Academic Skills for Global Studies” [200-level course], and is further supported by “Bachelor’s Thesis” [400-level course].

- In addition to the abovementioned curriculum offered and developed the Department, the prescribed courses offered as University-wide General Courses and Language Courses across the entire university will be allocated for the acquisition of human understanding, cross-cultural understanding, and communication skills.

## **2. Learning Content and Methods**

### **(1) Learning Content**

In this department, students explore the opportunities and challenges of globalization from multiple perspectives, focusing on building a sustainable future. After completing foundational courses in International Relations and Area Studies, students choose a specialization and take advanced courses to deepen their expertise.

To achieve FDP1 goals, students develop an understanding of human dignity and a broad sense of humanity through 100-level foundational courses in their first year and University-wide General Courses throughout their studies.

To meet FDP2 goals, students engage in interactive and group-based learning activities that incorporate diverse perspectives. To expand their knowledge of specific regions, students are encouraged to study languages beyond English, such as Asian or African languages, through dedicated Language Courses. They may also pursue independent studies, presenting their findings in a thesis or similar format.

To address FDP3 goals, students begin developing analytical and communication skills in foundational seminars during their first year. Starting with the second-year “Academic Skills for Global Studies” through guidance in fourth-year “Bachelor’s Thesis,” students engage with ethical issues in scholarship throughout their four years of study and develop a strong sense of academic ethics. From their third year, advanced seminars focus on independent research and problem-solving, culminating in their fourth year with a dedicated research project and thesis under the course title “Bachelor’s Thesis”.

### **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive activities like discussions, presentations, service learning, PBL (problem-based learning), and COIL(Collaborative Online International Learning)-based learning.

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

### **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi. Graduation theses are carefully reviewed using established methods to ensure they meet clear evaluation standards.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Global Studies SPSF, Faculty of Global Studies, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others," and the goals outlined in the Diploma Policy.

- A strong interest in the opportunities and challenges of globalization and a commitment to understanding the diversity of regions and cultures around the world.
- Logical thinking skills and the ability to work independently.
- Proficiency in English for engaging with global issues and a willingness to study additional languages, such as Asian or African languages.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- An understanding of basic concepts in high school-level world history, geography, and contemporary society.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to analyze global society from multiple perspectives, think critically about diverse opinions, organize issues clearly, and communicate ideas effectively while considering other viewpoints.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A willingness to address global challenges, appreciate diverse perspectives, and work collaboratively to find solutions.

#### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the "Desired Student Profile", this department evaluates the "Expected Competencies Prior to Admission" from multiple

perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing, and letters of recommendation.

## Three Policies of the Department of Global Studies SPSF Field of Studies: International Relations

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

International Relations within the Department of Global Studies SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Global Studies, Sophia University prepares students to address global challenges by developing advanced knowledge and analytical skills. The program takes an interdisciplinary approach, drawing on political science, sociology, economics, and international education to explore the complexities of globalization, including topics like international security, diplomatic negotiations, regional conflicts, ethnic issues, peacebuilding, democratization, human rights, and nationalism.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of “Sustainable Futures,” recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with the Department of Global Studies’ Diploma Policy, students who complete the coursework requirements and pass the thesis review will be awarded a Bachelor of Arts degree in International Relations, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

A strong interest in global challenges such as conflict, poverty, migration, and environmental issues, paired with the ability to analyze these topics through interdisciplinary methods.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

An understanding of the key concepts and theories in International Relations and Area Studies, enabling a comprehensive view of global issues.

dDP2-2.

Proficiency in multiple languages, including English, to communicate effectively with people from diverse backgrounds and collaborate on solutions for an inclusive society.

#### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative**

### **Contribution to Society**

dDP3-1.

The ability to analyze specific cases using foundational theories and interdisciplinary methods, and to propose practical solutions.

dDP3-2.

The ability to communicate effectively about global issues and contribute to building a sustainable, inclusive society.

dDP3-3.

An ethical commitment to engaging in responsible intellectual work through learning in the field of International Relations, by taking academic responsibility seriously and avoiding misconduct, such as fabrication, falsification, and plagiarism.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Global Studies, SPSF, Faculty of Global Studies, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The International Relations curriculum in the Department of Global Studies organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students acquire a wide range of knowledge and skills related to international relations, as well as the rich culture, broad perspective, and international mindset needed to build a sustainable future.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- In their first year, students study core theories and methods in global studies and foundational concepts in International Relations and Area Studies [100-level courses]. First-year students take an interdisciplinary “SPSF Common Core” course taught by all SPSF departments, introducing basic concepts of “Sustainable Futures” [100-level courses].
- In their first and second years, students take interdisciplinary courses in topics such as International Politics, Civil Society and International Cooperation, Asian Studies, and Middle East and Africa Studies [200-level courses]. These courses build a foundation in global dynamics, economics, and the principles of international cooperation.
- In their third year, students specialize in International Relations Theory, select research topics related to specific regions, and participate in applied seminars [400-level courses]. Advanced courses and seminars focus on solving local and global issues [300-and 400 level courses]. Students also minor in Area Studies to gain a broader perspective through lectures and activities.
- In their fourth year, students complete their studies by conducting research and writing a thesis under the course title “Bachelor’s Thesis” [400-level courses].
- Ethical engagement with scholarship is introduced in the second-year course “Academic Skills for Global Studies” [200-level course], and is further supported by “Bachelor’s Thesis” [400-level course].

- In addition to the abovementioned curriculum offered and developed the Department, the prescribed courses offered as University-wide General Courses and Language Courses across the entire university will be allocated for the acquisition of human understanding, cross-cultural understanding, and communication skills.

## **2. Learning Content and Methods**

### **(1) Learning Content**

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To achieve dDP1 goals, first-year students develop research skills, media literacy, and problem-solving techniques through basic seminars and introductory courses. They also learn to collaborate with people from diverse fields and cultures by participating in University-wide General Courses and Language Courses.

To meet dDP2 goals, students take lecture courses on International Relations and analytical methods in politics, economics, sociology, and education. These courses provide a macro perspective on global issues while encouraging consideration of challenges faced by local communities. Students improve their English proficiency through English-taught courses and are encouraged to study additional languages to enhance regional perspectives.

To address dDP3 goals, students begin presenting their ideas on specific issues in first-year seminars. Starting with the second-year “Academic Skills for Global Studies” through guidance in fourth-year “Bachelor’s Thesis,” students engage with ethical issues in scholarship throughout their four years of study and develop a strong sense of academic ethics. From their third year, they work on specific topics in advanced seminars, applying different analytical methods and problem-solving approaches. In their senior year, students conduct independent research and complete their theses under the course title “Bachelor’s Thesis.”

### **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, and independent studies that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive methods like discussions and presentations, and COIL(Collaborative Online International Learning)-based learning.

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

### **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi. Graduation theses are carefully reviewed using established methods to ensure they meet clear evaluation standards.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Global Studies SPSF, Faculty of Global Studies, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

The department welcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university's educational spirit "For Others, With Others," and the goals outlined in the Diploma Policy.

- A strong interest in the opportunities and challenges of globalization and a commitment to understanding the diversity of regions and cultures around the world.
- Logical thinking skills and the ability to work independently.
- Proficiency in English for engaging with global issues and a willingness to study additional languages, such as Asian or African languages.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- An understanding of basic concepts in high school-level world history, geography, and contemporary society.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to analyze global society from multiple perspectives, think critically about diverse opinions, organize issues clearly, and communicate ideas effectively while considering other viewpoints.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A willingness to address global challenges, appreciate diverse perspectives, and work collaboratively to find solutions.

#### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the "Desired Student Profile", this department evaluates the "Expected Competencies Prior to Admission" from multiple

perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing, and letters of recommendation.

## Three Policies of the Department of Global Studies SPSF Field of Studies: Area Studies

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

Area Studies within the Department of Global Studies SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Global Studies, Sophia University focuses on regions like Asia, the Middle East, and Africa, emphasizing their unique cultural and historical characteristics. The program combines disciplines such as political science, economics, sociology, anthropology, archaeology, and history to analyze challenges in these regions and prepare students to address them.

In addition, students are expected to acquire foundational knowledge of “Sustainable Futures,” recognize its significance, and take action to address sustainability challenges by applying interdisciplinary perspectives and methodologies from a wide range of academic disciplines.

In accordance with the Department of Global Studies’ Diploma Policy, students who complete the coursework requirements and pass the thesis review will be awarded a Bachelor of Arts degree in Area Studies, recognizing that they have acquired the following skills and competencies.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1. A strong interest in global challenges like conflict, poverty, development, migration, refugees, environmental issues, and security, along with the skills to analyze these topics through interdisciplinary methods.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

An understanding of the key concepts and theories in Area Studies and International Relations, integrating both perspectives to analyze local communities and their unique values.

dDP2-2.

Proficiency in multiple languages, including English, to communicate effectively with people from diverse backgrounds and collaborate on creating an inclusive society.

#### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative**

### **Contribution to Society**

dDP3-1.

A solid understanding of the language, culture, history, and other aspects of a specific region, providing a foundation for analyzing local challenges.

dDP3-2.

The ability to communicate about global issues, envision an inclusive society, and contribute to building a sustainable future.

dDP3-3.

An ethical commitment to engaging in responsible intellectual work through learning in the field of Area Studies, by taking academic responsibility seriously and avoiding misconduct, such as fabrication, falsification, and plagiarism.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Global Studies SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures), Faculty of Global Studies, Sophia University has established the following Curriculum Policy to guide curriculum development, learning content, learning methods, and evaluation of learning outcomes, ensuring students achieve the qualities and abilities described in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Area Studies curriculum in the Department of Global Studies at Sophia University organizes its curriculum to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students acquire a wide range of knowledge and skills related to Area Studies, as well as the rich culture, broad perspective, and international mindset needed to build a sustainable future.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- In the first year, students study core theories and methods in global studies, along with foundational concepts in Area Studies and International Relations [100-level courses]. First-year students take an interdisciplinary “SPSF Common Core” course taught by all SPSF departments, introducing basic concepts of “Sustainable Futures” [100-level courses].
- In their first and second years, students take interdisciplinary courses exploring the history, culture, politics, and economics of various regions, preparing for future specialization [200-level courses].
- In the third year, students majoring in Area Studies join seminars (“Undergraduate Applied Courses”) and advanced lecture courses to deepen their expertise and problem-solving skills [300- and 400-level courses]. They also take courses in International Relations to broaden their perspective.
- Third-year students revisit the “SPSF Common Core” in an interdisciplinary course, where they apply learned perspectives and methods to practical sustainability challenges [300-level courses].
- In their fourth year, students complete their studies by conducting research and writing a thesis under the course title “Bachelor’s Thesis” [400-level courses].
- Ethical engagement with scholarship is introduced in the second-year course “Academic Skills for Global Studies” [200-level course], and is further supported by “Bachelor’s Thesis” [400-level course].

- In addition to the abovementioned curriculum offered and developed the Department, the prescribed courses offered as University-wide General Courses and Language Courses across the entire university will be allocated for the acquisition of human understanding, cross-cultural understanding, and communication skills.

## **2. Learning Content and Methods**

### **(1) Learning Content**

Students in this department build their knowledge and skills through a structured curriculum designed to help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To achieve dDP1 goals, students develop research tools, media literacy, and problem-solving skills through basic seminars and introductory courses in their first year. They also build collaborative abilities by engaging in University-wide General Studies and Language Courses.

To meet dDP2 goals, students take lecture courses to analyze the challenges faced by local communities within cultural and historical contexts. They learn to understand regional perspectives and place these issues in a global framework. Language courses, including Asian and African languages, enhance their understanding of diverse cultures, while English-taught courses improve their proficiency in English as a Lingua Franca.

To address dDP3 goals, students start presenting ideas on specific issues in first-year seminars. Starting with the second-year “Academic Skills for Global Studies” through guidance in fourth-year “Bachelor’s Thesis,” students engage with ethical issues in scholarship throughout their four years of study and develop a strong sense of academic ethics. From the third year, they participate in advanced seminars, focusing on detailed analysis and problem-solving for chosen topics. In their senior year, students apply their academic knowledge and practical skills to complete research projects under the course title “Bachelor’s Thesis.”.

### **(2) Learning Methods**

In this department, students engage in lectures, seminars, and independent studies that help them achieve the goals set forth in the Diploma Policy.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive methods like discussions and presentations, –and COIL(Collaborative Online International Learning)-based learning.

Through assignments and other activities, students are expected to engage in learning outside of class hours, ensuring sufficient study time and reinforcing their learning outcomes.

### **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi. Graduation theses are carefully reviewed using established methods to ensure they meet clear evaluation standards.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Global Studies SPSF, Faculty of Global Studies, Sophia University has established the following Admission Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1.Desired Student Profile**

The departmentwelcomes students who want to develop the following qualities and abilities, guided by the university’s educational spirit”For Others, With Others,” and the goals outlined in the Diploma Policy.

- A strong interest in the opportunities and challenges of globalization and a commitment to understanding the diversity of regions and cultures around the world.
- Logical thinking skills and the ability to work independently.
- Proficiency in English for engaging with global issues and a willingness to study additional languages, such as Asian or African languages.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The departmentwill admit students who possess abilities aligned with the “three elements of academic skills” before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- An understanding of basic concepts in high school-level world history, geography, and contemporary society.

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- The ability to analyze global society from multiple perspectives, think critically about diverse opinions, organize issues clearly, and communicate ideas effectively while considering other viewpoints.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- A willingness to address global challenges, appreciate diverse perspectives, and work collaboratively to find solutions.

#### **3. Admissions Screening Methods**

To admit applicants who satisfy the “Desired Student Profile“, this department evaluates the “Expected Competencies Prior to Admission” from multiple

perspectives.

The qualification of the applicants will be assessed in a comprehensive manner by combining high school GPA, English proficiency tests such as TOEFL and IELTS, aptitude tests such as SAT, ACT, IB scores, and GCE A-level, and/or other modes of assessment including essay writing, and letters of recommendation.

## 国際教養学部国際教養学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学国際教養学部国際教養学科は、学際的な研究を通じてグローバル社会の理解と問題解決に寄与することを目指し、英語で行われる教養教育により、高度な語学力、柔軟な思考力、多文化対応発信能力、および比較文化・国際経営経済学・社会科学に分かれた各専攻分野の知識を兼ね備え、グローバル化した現代世界において生じる社会・文化・経済上の諸課題の解決に貢献しうる人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、全学共通教育・語学教育および学科の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(国際教養)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

学際的な教養教育を通じて養われる人間や社会に対する理解と洞察力、多面的思考力、および社会的公正と共通善に対する関心

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

広範かつ専門的な内容について、自由に読み書き聞き話すのに十分な高度な英語力

dDP2-2.

文化や価値観の多様性をもつ人々との対話・協働の必要性についての理解と実践

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

生涯にわたり新たな知識や技能を修得し続ける基盤となる確かな教養

dDP3-2.

比較文化・国際経営経済学・社会科学の各専攻分野に関する基本的知識、および学際的教養を基盤としてそれを検討し、深めていく力

dDP3-3.

学び得た教養や専攻分野の知識・技能を自らの生活や職業に活かしていく応用力・実践力

dDP3-4.

勉学や研究にあたって真摯な態度を失わず、知的誠実性をもって現実の諸問題について判断し対処していく倫理観

## Ⅱ. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学国際教養学部国際教養学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科は、学生が高度な英語力に加えて、確かな教養と、各専攻分野の知識を段階的に修得し、課題への実践・応用力を身につけられるよう、「学科基礎科目(FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry)」、「学科一般科目 (FLA General Studies Courses)」、および「学科専攻科目(FLA Major Courses)」の3つの科目区分により、学修の順序性・体系性を考慮した教育課程を編成します。

また、各学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次から2年次の学生を対象に、文章や言語表現の在り方が意味の形成にどのように関わるかを考察することを通じて、批判的思考力および高度な学術英語リテラシーを育成することを目的とした必修科目として「学科基礎科目」を設置します【100 番台】。
- 数理・統計情報の重要性が増す時代に対応した裾野の広い教養を身につけるため、学科独自の必修データサイエンス科目を含む、「学科一般科目」を設置します【100 番台・200 番台】。
- 確かな教養の基礎を築くため、「学科専攻科目」のうち導入的な科目【200 番台】を「社会と文化」、「文化的伝統」、「政治と経済」という3つのカテゴリーに分かれた「FLA Distribution 科目」に整理し、2 つ以上のカテゴリーから 3 つの科目を履修することを求めます。
- 専攻分野の知識を段階的に修得し、課題への実践・応用力を身につけられるよう、「学科専攻科目」を講義科目【200 番台、300 番台】と演習科目【400 番台】で編成します。
- 専攻分野の知識を隣接領域と有機的に関連させつつ学ぶことで応用力を身につけ、教養をより確かなものにするために、専攻分野の枠を超えた多様な科目を選択科目として提供します【200 番台～400 番台】。
- 学問に真摯に取り組む倫理観・誠実性の意義については、学科基礎科目で指導するほか、カリキュラム全体を通じて深めていきます。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間性の理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科では、高度な英語力に加え、グローバル化した現代世界において生じる諸問題の解決に貢献できるよう、柔軟で論理的な思考力および公正や共通善への関心をもったうえで、各分野の知識を深め、応用していく力を身につけられるように、学科の開講する科目群をバランスよく学修します。

dDP1に掲げる目標を達成するために、学生は主に初年次から2年次に履修する「学科一般科目」および「FLA Distribution 科目」を通じて、人間や社会に対する理解と洞察力、倫理的問題に関する多面的思考力、および社会的公正と共通善に対する関心を深めます。

dDP2-1に掲げる目標を達成するために、学生は初年次から2年次に履修する「学科基礎科目」で、高度な英文を読み解き、論文を書き、また批判的に思考し、議論し、発表する学術英語リテラシーを身につけます。2年次後半以降も専攻科目の履修を通じてこれらの力をさらに高めていきます。

dDP2-2に掲げる目標を達成するために、学生は「FLA Distribution 科目」の履修を通じて、異なる文化的背景や価値観を持つ人々との対話と協働の必要性についての理解を深めます。また、国内外から集まった多様な背景をもつ学生とともに学ぶことで、そうした対話と協働のための力を実践的に身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、学生は「学科基礎科目」で批判的思考能力を、「学科一般科目」で数理・統計データの基礎的理解を身につけるとともに、「FLA Distribution 科目」の履修を通じて、広い教養を身につけます。その基盤のうえに各分野の「学科専攻科目」を、隣接分野と関連させつつ学ぶことで、学生は将来にわたって各分野の知識を深め、検討していく力を身につけ、またその教養を確かなものにしていきます。さらに、「学科基礎科目」で勉学・研究における不正行為について学ぶほか、カリキュラム全体を通して学問に誠実に向き合う姿勢に触れることで、知的活動に必要とされる倫理観を身につけます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義のほか、少人数の演習を含む多様な授業形態を用います。

特に、dDP2-2に掲げる目標を達成するために、学生は多様な文化的・社会的背景を持つ学生が集う環境で学修を行います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、フィールド実践型学習、サービ斯拉ーニング、PBL(課題解決型学修)、COIL(オンラインによる国内外の大学との双方向授業)などの様々な方法による学修を行うとともに、授業外においては課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。

### Ⅲ. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学国際教養学部国際教養学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- グローバル化する地球社会の責任ある構成員となる意欲を持ち、その維持と改善に欠かせない社会的・経済的・人文的な価値の保全と創出にすすんで参画する姿勢
- 多様な文化や価値観をもつ他者と建設的に交流するために欠かせない知的好奇心と、他者とのコミュニケーション能力
- 地球社会の複合的に結びついた諸問題の解決に貢献するために必要な、確かな教養と柔軟な思考力に支えられ、応用性のある専門知識

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 大学教育を受けるに十分な英語能力、高等学校卒業レベルの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 比較文化・国際経営経済学・社会科学の分野を学んでいくための柔軟な思考能力と自らの考えを正確に伝える表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- グローバル化し、多様な価値観や文化が共存する現代世界において生じる諸問題に関心を持ち、他の人々と協働してその解決に貢献していく意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

国内外から多様な背景を持つ学生を選抜するため、一般選抜は実施せず、複数の形式の特別入学試験で入学者を選抜します。

特別入学試験では、高等学校の成績に加え、TOEFL やIELTS等の英語能力試験、SAT、ACT、IB、もしくはGCE A-Level のような能力適性試験、さらには小論文、面接試験、推薦書等を組み合わせて志願者の資質を多面的に評価します。加えて海外を含めた指定校推薦や難民特別枠等の選抜を実施することで、多様な文化的・社会的背景を持つ学生を選抜します。

## Three Policies of the Department of Liberal Arts

### **I. Diploma Policy (Degree Awarding Policy)**

The Department of Liberal Arts, Faculty of Liberal Arts, Sophia University aims to address cultural, economic, and social challenges in today's globalized world through education and interdisciplinary research. Its English-based program in Comparative Culture, International Business and Economics, and Social Studies helps students develop advanced English proficiency, critical thinking, expertise in their chosen fields, and the ability to succeed in multicultural settings. These skills prepare students to play an active role in solving the challenges mentioned above.

In accordance with Sophia University's Diploma Policy, the Department awards the degree of Bachelor of Arts in Liberal Arts to those who, by completing the prescribed courses under the categories of University-wide General Education, Language Education, and Specialized Education, are recognized to have acquired the qualities and abilities listed below.

#### **1. Competencies for Respecting Human Dignity and Pursuing a Better Society**

dDP1-1.

Insight into human beings and society, developed through multidisciplinary liberal arts education; the ability to analyze issues from multiple perspectives; and a commitment to social justice and the common good.

#### **2. Competencies for Dialogue and Collaboration with Diverse People**

dDP2-1.

Proficiency in English that allows for fluency in spoken and written communication across a wide range of subjects, including specialized topics.

dDP2-2.

An understanding of the importance of dialogue and collaboration with people from diverse cultures and backgrounds, supported by practical experience in such interactions.

#### **3. Competencies for Lifelong Pursuit of Knowledge, Wisdom and Creative Contribution to Society**

dDP3-1.

A well-rounded liberal arts education that provides a foundation for continuous learning and skill development.

dDP3-2.

A basic knowledge of the student's chosen field of study (Comparative Culture, International Business and Economics, or Social Studies) and the ability to expand and refine this knowledge through the lens of liberal arts education.

dDP3-3.

The ability to apply knowledge and skills from their studies to professional and personal contexts.

dDP3-4.

An ethical commitment to sincerity in academic activities, and to exercising intellectual integrity in judging and responding to practical issues.

## **II. Curriculum Policy (Curriculum Design and Implementation Policy)**

The Department of Liberal Arts, Faculty of Liberal Arts, Sophia University has established the following Curriculum Policy regarding curriculum development, learning content and methods, and evaluation of learning outcomes in order to enable students to acquire the target qualities and abilities listed in the Diploma Policy.

### **1. Curriculum Design and Organization**

The Department of Liberal Arts organizes its curriculum in three categories of courses (FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry, FLA General Studies Courses, and FLA Major Courses), to help students learn through a guided and organized approach. The curriculum helps students develop advanced English proficiency, a broad liberal arts foundation, and expertise in their major fields. Courses are structured to support steady progress and the application of knowledge and skills to real-world problems.

Course numbering is used to show the order of courses, while curriculum maps and curriculum trees show the overall structure in a clear and organized way.

- The Department offers the FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry as a set of required courses for first- and second-year students. These courses focus on developing critical thinking and advanced academic English literacy by examining how rhetoric and discourse shape meaning. This is achieved through analyzing complex texts, engaging in writing, discussion, debate, and preparing formal academic reports and presentations [100-level courses].
- The FLA General Studies Courses include a required Data Science course specific to the department, providing students with a broad liberal arts education relevant to the digital age [100- and 200-level courses].
- Within the FLA Major Courses, the Department organizes introductory 200-level courses into three categories of “Society and Culture,” “Cultural Traditions,” and “Politics and Economy,” collectively referred to as “FLA Distribution Courses.” Students must complete three courses from at least two different categories to build a strong liberal arts foundation.
- FLA Major Courses are divided into lecture courses [200-level and 300-level] and seminar courses [400-level], allowing students to gradually develop knowledge and apply it to real-world challenges.
- Students can also choose from a wide range of elective courses within and outside their area of concentration, allowing them to connect their major

subjects with related fields. This flexibility deepens their expertise and strengthens their liberal arts foundation [200-, 300-, and 400-level courses].

- The significance of intellectual integrity and of ethical engagement with scholarship is introduced in the FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry and is emphasized throughout the curriculum.
- In addition to the above mentioned course offerings and curriculum developed by the Department, University-wide General Courses and Language Courses will be allocated for the acquisition of insight into humanity, cross-cultural understanding, and of communication skills.

## 2. Learning Content and Methods

### (1) Learning Content

The Department of Liberal Arts offers a well-balanced curriculum designed to help students develop advanced English-language proficiency, broad-based critical thinking, concern for social justice and the common good, expertise in their fields, and the ability to deepen such knowledge and apply it to real-world challenges.

To achieve the goals in dDP1, first- and second-year students take FLA General Studies Courses and FLA Distribution Courses. Through these, they gain an understanding of human beings and society, learn to approach ethical issues from multiple perspectives, and strengthen their commitment to social justice and the common good.

To achieve the goals in dDP2-1, students complete courses in the FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry during their first three or four semesters. These courses develop academic literacy through reading complex English texts, writing academic papers, engaging in critical thinking, debating, and giving presentations in English. Students continue to enhance these proficiencies in later semesters through FLA Major Courses.

To achieve the goals in dDP2-2, students take FLA Distribution Courses, which deepen their understanding of the importance of working across cultural boundaries. Studying alongside peers from diverse backgrounds, both within Japan and internationally, provides practical experience in intercultural communication and collaboration.

To achieve the goals in dDP3, students take FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry courses to develop critical thinking and FLA General Studies Courses to build foundational skills in quantitative data analysis. FLA Distribution Courses further strengthen their liberal arts foundation, which is expanded through FLA Major Courses in their specialized fields and related areas. This approach enables students to deepen and reexamine their knowledge in their specialized fields while maintaining a broad liberal arts perspective. Furthermore, students develop a strong sense of academic ethics by learning about academic misconduct in the FLA Core Program in Rhetoric & Inquiry, and through exposure to examples of intellectual integrity throughout the curriculum.

## **(2) Learning Methods**

In the Department, diverse types of classes are offered including lectures and small-group seminars that help the students achieve the goals set forth in the Diploma Policy effectively.

To achieve the goals in dDP2-2, students study alongside peers from diverse socio-cultural backgrounds.

To encourage active, independent, and collaborative learning, students participate in interactive activities like discussions, field-based learning, service learning, PBL (problem-based learning), and COIL (Collaborative Online International Learning)-based learning. Outside of class, students are expected to complete extracurricular tasks to ensure sufficient study time and to solidify learning outcomes.

## **3. Methods for Assessing Learning Outcomes**

Students' progress toward the goals in the Diploma Policy is evaluated through various methods, including written exams, presentations, and reports, as specified in course syllabi.

### **III. Admission Policy (Student Admissions Policy)**

The Department of Liberal Arts, Faculty of Liberal Arts, Sophia University has established the following Admissions Policy to admit students capable of completing the curriculum described in the Curriculum Policy and of meeting the educational goals outlined in the Diploma Policy.

#### **1. Desired Student Profile**

Based on Sophia's educational spirit: "For Others, With Others," and on the educational goals set forth in the Diploma Policy, the Department of Liberal Arts seeks students who wish to enhance the following qualities and abilities:

- A commitment to become responsible members of the global community and to participate in the preservation and creation of cultural, economic, and social values.
- The ability to communicate and work constructively with people with diverse values and cultures. Students should be eager to improve their communication and analytical skills while developing intellectual curiosity for engaging with people from diverse backgrounds.
- The willingness to seek solutions to complex and dynamic global issues. Students should be committed to gaining and expanding knowledge in their field of study, grounded in a strong and broad liberal arts education.

#### **2. Expected Competencies Prior to Admission**

The Department will admit students who possess abilities aligned with the "three elements of academic skills" before enrollment, ensuring they can successfully follow the curriculum outlined in the Curriculum Policy.

##### **(1) Knowledge and Skills**

- English proficiency sufficient for college education and basic academic skills expected of high-school graduates

##### **(2) Thinking, Decision-Making and Communication Skills**

- Flexible thinking skills for studying Comparative Culture, International Business and Economics, or Social Studies, along with strong expressive abilities necessary for clearly conveying one's ideas.

##### **(3) Autonomy, Diversity, and Collaboration**

- An interest in global issues developing from the coexistence of diverse values and cultures, and a willingness to contribute to solutions through collaboration with others.

### 3. Admissions Screening Methods

To admit applicants who satisfy the “Desired Student Profile“, this department evaluates the “Expected Competencies Prior to Admission” from multiple perspectives.

To admit applicants with diverse backgrounds from inside and outside of Japan, this department does not use standard entrance exams typical of Japanese universities. Instead, it conducts a variety of “special entrance examinations.”

These examinations assess applicants comprehensively, using a combination of high school GPA, English proficiency tests (e.g. TOEFL or IELTS), aptitude tests (e.g. SAT, ACT, IB scores, or GCE A-level), and/or other evaluations such as essays, interviews, and recommendation letters. In addition, applicants with diverse social and cultural backgrounds may be admitted through schemes like recommendation from designated schools or special admissions for refugees.

## 理工学部の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学理工学部は、多様化した現代社会の抱える諸問題を科学・技術の知見と地球環境レベルの視点に立って解決する能力を備えるとともに、高い倫理と創造性に根差した独創的な研究を推進し、科学・技術のさらなる発展へ貢献できる人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、上智大学のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学部の学位プログラムでは、全学共通教育・語学教育および学部の専門教育を通じて、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(理工学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

fDP1-1.

科学・技術を学び応用していく中で人間・生命の尊厳を重視し、人間と自然の持続可能な共生社会の実現に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

fDP2-1.

人々や社会の課題・立場の多様性を理解した上で、科学・技術の知見を通じて問題発見・課題設定する力

fDP2-2.

現代社会の諸問題の解決に向けた科学・技術の活用に際し、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探究し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

fDP3-1.

専門分野における基礎的知識と理学・工学の分野横断的知識

fDP3-2.

社会の諸問題への高い見識と展望を持ち続け、地球環境レベルの視点に立って自ら考究して問題を解決しようとする意欲・姿勢

fDP3-3

学問を修めた者として、その重要性や信頼性を理解し、理工学分野において責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学理工学部では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学部では、学生が理学・工学に関連した幅広い総合的な知識(複合知)を獲得したうえで、専門的知識・技能を段階的に修得し、課題への実践・応用力を身につけるため、各学科において「理工共通科目 I 群」「理工共通科目 II 群」「学科コア科目」「学科専門科目」の4つの科目区分により教育課程を編成します。

また、各学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、理学・工学の幅広い基礎知識を修得するための、学部共通科目として「理工共通科目 I 群」を設置します【100 番台】。
- 専門に限らない幅広い知識を修得するために、学部共通科目として「理工共通 II 群」【100 番台・200 番台】を設置するとともに、個々の学生の興味や進路に合わせて専門性を深めるために、幅広い選択が可能な各学科の学科科目(「学科コア科目」【100番台～400番台】および「学科専門科目」【300 番台】)を設置します。
- 自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために、各学科においては「卒業研究」を設置します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、理工共通科目 I 群や理工共通科目 II 群、学科コア科目、学科専門科目として配された「実験科目」・「演習科目」【100 番台～300 番台】のほか、「卒業研究 I・II」【400 番台】を通じて指導します。
- 学部や各学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定の科目を学べるようカリキュラムを編成します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学部では、諸問題の解決に貢献できる高度な専門的知識、論理的思考力および科学的な研究手法をもち、かつ各自の専門性を基軸として幅広い理工学分野の中で応用力をもつ人材を養成するために、学科横断的な「理工共通科目 I 群」・「理工共通科目 II 群」と高度な専門性を育む「学科コア科目」・「学科専門科目」を各学科の学問特性に応じてバランスよく学修します。

fDP1に掲げる目標を達成するために、学生は初年次に履修する「理工共通科目 I 群」や「学科コア科目」のほか、4年間を通じて、全学共通科目の各科目を履修することで、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

fDP2に掲げる目標を達成するため、学生は各学科で実施する双方向型学修や能動的学修を取り入れた各授業において、対話・協働する力やリーダーシップを身につけます。また、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々との協働力を身につけます。

fDP3に掲げる目標を達成するために、学生は初年次教育の「理工共通科目 I 群」に加えて、1年次から4年次に「理工共通科目 II 群」や当該学科以外に所属する学生も履修可能な「学科専門科目」を履修することで所属学科分野の知識だけでなく、理工学の横断的知識を身につけます。また、1年次から3年次に履修する「実験科目・演習科目」や4年次の「卒業研究」での指導に加え、4年間の学修活動を通じて学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業研究」において研究に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学部では、学生が学部および各学科のディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実験・実習などの多様な授業形態を通じた学修を行います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、授業内においてはディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)、国際的な協働学修などの様々な方法による学修を行うとともに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

## 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

上智大学理工学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定める学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学部では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学部のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、各学科で定める「求める学生像」に加えて、理工学部共通として次のような資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 自然との持続可能な共生の実現に向け、人間・生命の尊厳を尊重しながら物事を理解する姿勢
- 科学・技術の諸問題への関心を持ち、自己の専門分野のみならず、理学・工学の学際的な視点を持ちながら国内外の社会に貢献する意欲

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学部では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の 3 要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 科学・技術に関する専門科目を学ぶにあたり、数学・理科・英語に関する高等学校卒業レベルの知識と技能

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 科学・技術に関する諸問題について分野横断的に思考するための、論理的な思考力、幅広い視野、およびコミュニケーション能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 科学・技術の諸問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

各学科が定める入試選抜の方法により、学部および各学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜します。

## 物質生命理工学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学理工学部物質生命理工学科は、物理学、化学、生物学を基礎とする科学・技術の知見をもって、地球環境の様々な現象の理解と、諸問題の解決能力を備えるとともに、科学・技術のさらなる発展と社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、理工学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(理工学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

自然科学分野の基礎を理解した上で、人間・生命の尊厳を重視し、社会の一員としての自覚を持ち、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

物理・化学・生命現象に関わる諸問題について、社会や人々が抱える課題・視座・立場の違いを理解した上で、問題発見・課題設定をする力

dDP2-2.

国内外の様々な学術分野や社会の諸問題を解決するための、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

物理学・化学・生物学における基礎的知識を土台とし、物質科学・生命科学を体系的かつ俯瞰的にとらえる理学・工学分野の横断的知識

dDP3-2.

学修や諸活動の経験に基づき、原子・分子・材料・植物・動物などの多様な研究対象に対する高い見識と社会の諸問題に関する展望を持ち、物質とナノテクノロジー、環境と生命の調和、高機能材料の創製などの理工学における課題を解決する能力

dDP3-3.

学問を修めた者として、その重要性や信頼性を理解し、物理・化学・生物学分野において責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学理工学部物質生命理工学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が物理学・化学・生物学に関連した幅広い総合的な知識を基礎として、これらの学問体系と「物質とナノテクノロジー」、「生命の環境と調和」、「高機能材料の創成」というキーテーマを融合した知識(複合知)を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、理学・工学全般の幅広い領域の基礎知識を修得するため、学部共通科目である「理工共通科目 I 群」を設置します【100 番台】。
- 英語で理工学の基礎を理解するため、科学技術英語、海外短期研修を設置します【200 番台】。
- 1 年次から4年次にかけて、理学・工学における基礎的な知識・技能を修得するため、理工学部が開講する「理工共通科目 II 群」を設置するとともに、本学科の学生が重点的に学ぶ科目である「学科コア科目」を設置します【100番台～400番台】。
- 3 年次からは、物理学・化学・生物学における専門的な知識の修得および学際的分野の知識を深めるため、「学科専門科目」を設置します【300 番台】。
- 「学科コア科目」には 1 年次から 3 年次にかけて、自ら考究して問題を解決する能力を身につけるために「実験科目」を設置します【100 番台から 300 番台】。
- 4 年次には研究課題に取り組み、深い学識と実践力を養うため、「卒業研究」と「ゼミナール」を実施します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、学部共通科目や学科コア科目、学科専門科目として配された「実験科目」・「演習科目」【100 番台～300 番台】のほか、「卒業研究 I・II」【400 番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する「理工共通科目 I 群」、1 年次から4年次にかけて履修する「理工共通科目 II 群」、1 年次から学科の基礎を広く学ぶ「学科コア科目」、3 年次からの専門科目である「学科専門科目」のほか、全学共通科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2 に掲げる目標を達成するために「理工共通科目 II 群」を履修することにより、物理学・化学・生物学の分野のみならず、学際的な視点と多様な視点からの課題発見力を身につけます。

また4 年次の「卒業研究」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3 に掲げる目標を達成するために、「理工共通科目 I 群および II 群」、「学科専門科目」を順次性をもって学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。「学科専門科目」では、物質とナノテクノロジー、環境と生命の調和、高機能材料の創製に関する高度な内容を学び、応用・展開する分野、学際的な分野、および実社会に繋がる課題解決方法を修得します。

また、1 年次から履修する「実験科目」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し、問題解決する力を身につけます。

さらに4 年間の学修活動、とりわけ1 年次から3 年次に履修する「実験科目」・「演習科目」や4 年次の「卒業研究」における先行研究や対象分野の学術動向調査などを通じ、オリジナリティの尊重など学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4 年次では「卒業研究」において研究課題研究に取り組みます。少人数教育体制のもと、卒業研究およびゼミナールを通して先端分野を理解するとともに、成果発表を行い、研究者としての素養を身につけ、学修した内容を理論・技術的に応用展開する能力を修得します。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実験・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)等の学修を実施する他、協働的な学修を行えるような実験科目や国際的な協働学修等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート、論文等を用いて多角的に評価します。卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学理工学部物質生命理工学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 人間・生命の尊厳を尊重しながら、自然と調和した物質観・生命観を構築する姿勢
- 科学・技術と地球環境の融和に関心を持ち、国内外において物理学・化学・生物学を中心とした広範囲な分野での技術革新を先導し、多様性を持った国内外の社会に貢献する意欲
- 自然科学における諸現象の解明や新たな物質の創成と技術開発などに興味を持ち、自ら問題解決を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 数学・物理学・化学・生物学と英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 自然現象の解明、新たな物質の創成や技術開発を行うための、柔軟な思考力と豊かな表現力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- エネルギー問題や環境問題など、科学技術に関する諸問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学者選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜では、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 機能創造理工学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学理工学部機能創造理工学科は、科学・技術に関する確固たる基礎知識を持ち、新たな物理的価値観の獲得や機能の創造に繋がる独創的技術の開発に貢献できる人材の養成を目的としています。

そうした目的を達成するため、理工学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業研究の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(理工学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

科学・技術を学び応用していく中で人間・生命の尊厳を重んじ、社会の一員としての自覚を持ち、よりよい世界の構築に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

科学・技術はもとより、環境問題等の関連分野における諸問題について、人々や社会が抱える課題・視座・立場の違いを理解した上で問題発見・課題設定できる力

dDP2-2.

国内外の科学・技術や関連分野における諸問題を解決するための、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

物理学、機械工学、電気・電子工学を体系的に学ぶことによって得られる、新たな物理的価値観の獲得や機能の創造に貢献する能力

dDP3-2.

「エネルギーの創出と利用」、「物質の理解と材料・デバイスの創成」、「ものづくりとシステムの創造」という視点から物理学、機械工学、電気・電子工学を学ぶことによって得られる、独創的技術の開発に貢献する能力

dDP3-3.

学修した内容を理論・技術的に応用展開することにより、科学・技術の諸問題を解決する力を身につけ、独創的な研究を推進し、科学・技術のさらなる発展へ貢献する能力

dDP3-4.

学問を修めた者として、その重要性や信頼性を理解し、科学・技術において責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学理工学部機能創造理工学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が物理学や数学への深い理解を基礎に、「機械工学」、「電気・電子工学」、「物理学」の学問体系と「エネルギーの創出と利用」、「物質の理解と材料・デバイスの創成」、「ものづくりとシステムの創造」というキーテーマを融合した知識(複合知)を身につけられるようにするため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、物理学、化学、生物学など自然科学全般、および数学、情報学など理学・工学の幅広い基礎知識を修得するための、学部共通科目として「理工共通科目 I 群」を設置します【100 番台】。
- 英語で理工学の基礎を理解するために、「理工共通科目 I 群」に科学技術英語、また、「理工共通科目 I 群」「理工共通科目 II 群」に海外短期研修を設置します【200 番台】。
- 1 年次から 3 年次にかけて、専門に限らない幅広い知識を修得するために、学部共通科目として「理工共通科目 II 群」を設置します【100 番台・200 番台】。
- 物理学、機械工学、電気・電子工学などに関する理工学の基礎を幅広く学ぶために、「学科コア科目」の必修科目として講義・実験・演習科目を設置します【100 番台・200 番台】。
- 物理学、機械工学、電気・電子工学分野の中から希望の分野を選択し、それぞれの分野をより体系的に修得することで、新たな物理的価値観の獲得や機能の創造に貢献できる能力を養成するために、「学科コア科目」の選択必修科目および「学科専門科目」などの講義・実験・演習科目を設置します。これらは、「エネルギーの創出と利用」、「物質の理解と材料・デバイスの創成」、「ものづくりとシステムの創造」という視点からも学ぶことが可能で、実社会において物理学、機械工学、電気・電子工学を駆使して応用・展開する学際的な力を修得できます【200 番台・300 番台】。
- 先端分野を理解するとともに、成果発表を行い、研究者としての素養を修得し、学修した内容を理論・技術的に応用展開する能力を養うため「卒業研究」を実施します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、学部共通科目や学科コア科目、学科専門科目として配された「実験科目」・「演習科目」【100 番台～300 番台】のほか、「卒業研究 I・II」【400 番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、全学共通科目や語学科目の所定科目を配当します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する「理工共通科目Ⅰ群」や、全学共通科目の各科目の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1年次から3年次に履修する「理工共通科目Ⅰ群」や「理工共通科目Ⅱ群」および、1年次から学科の基礎を広く学ぶ「学科コア科目」と3年次からの専門科目である「学科専門科目」を履修することにより、科学・技術分野のみならず、学際的な視点と多様な視点からの課題発見力を身につけます。

また、4年次の「卒業研究」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題解決を導く力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、初年次教育の「理工共通科目Ⅰ群」から、1年次から2年次に履修する「理工共通科目Ⅱ群」、1年次から学科の基礎を広く学ぶ「学科コア科目」と3年次以降に履修する「学科専門科目」を順次性を持って学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を体系的に修得します。

また、1年次以降に履修する「実験・演習科目」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題解決する力を身につけます。

さらに4年間の学修活動、とりわけ1年次から3年次に履修する「実験科目」・「演習科目」や4年次の「卒業研究」における先行研究や対象分野の学術動向調査などを通じ、オリジナリティの尊重など学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次では「卒業研究」において研究に取り組みます。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するための効果的な学修に向けて、講義・演習・実験・実習等の多様な授業形態を用います。

また、学生が能動的・主体的な学修を実践できるようにするため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)等の学修を実施する他、協働的な学修を行えるよう、国際的な協働学修等の様々な方法を用います。

さらに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート等を用いて多角的に評価します。卒業研究については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学理工学部機能創造理工学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 科学・技術分野に関連し、人間・生命の尊厳を尊重しながら物事を理解する姿勢
- 科学・技術分野とそれに関連する社会の諸問題への関心を持ち、国内外において科学・技術を中心とした広範囲な分野で先導し、社会に貢献する意欲
- 本学科が対象とする物理学、機械工学、電気・電子工学などに興味を持ち、自ら問題解決を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- 科学・技術に関する専門科目を学ぶにあたり、数学・理科・英語に関する高等学校卒業レベルの知識と技能

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 科学・技術に関する諸問題について分野横断的に思考するための、論理的な思考力、幅広い視野、およびコミュニケーション能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 科学・技術の諸問題を主体的、協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜は、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力や各分野への意欲・適性を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。

## 情報理工学科の3つのポリシー

### I. ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

上智大学理工学部情報理工学科は、情報を基盤とする科学・技術の知見を持って、多様化した現代社会の抱える諸問題を解決する技術を創造するとともに、情報に関する学理を追究することのできる人材を育成することを目的としています。

そうした目的を達成するため、理工学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本学科では、所定の科目の単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で卒業論文の審査に合格することで、次の資質・能力を身につけたと認められる者に学士(理工学)の学位を授与します。

#### 1. 人間の尊厳を重んじ、より良き社会を追究していくために必要な力

dDP1-1.

学び得た情報技術を活用し、人間・生命の尊厳を重んじ、持続可能な人間と自然の共生社会の実現に積極的に関与しようとする意欲・態度

#### 2. 多様な人々と向き合い、対話・協働していくために必要な力

dDP2-1.

情報技術および関連研究分野において、様々な人々の社会状況・視座・立場の違いを理解した上で問題発見・課題設定できる力

dDP2-2.

情報技術および関連研究分野における諸課題を解決するために、異なる立場や文化を有する人々と対話・協働する力およびリーダーシップ

#### 3. 叡智を探求し続け、創造的役割を果たしていくために必要な力

dDP3-1.

基礎科学・基礎技術に関する知識と理解力、および人間情報・情報通信・社会情報・数理情報からなる幅広い専門的な知識を有し、それらを融合して新たな研究分野を開拓する能力

dDP3-2.

社会における諸問題への高い見識と展望を持ち続け、学修した情報技術に関する知見を活用し、自ら考究して問題を解決する能力

dDP3-3.

学問を修めた者として、その重要性や信頼性を理解し、情報分野において責任ある知的創造活動を実践するための倫理観

## II. カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

上智大学理工学部情報理工学科では、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力等の目標を学生が達成できるようにするため、教育課程編成、学修内容・学修方法、学修成果評価について、以下の通りカリキュラム・ポリシーを定めます。

### 1. 教育課程の編成方法

本学科では、学生が情報科学、情報工学、通信工学、電子工学、数学、生物学を基礎とし、人間情報・情報通信・社会情報・数理情報から構成される幅広い情報分野に関する総合的な知識(複合知)と、文理融合的視野を持って社会問題を解決する能力を身につけるため、学修の順序性・体系性を考慮したカリキュラムを編成します。

また、本学科で編成しているカリキュラムは、科目ナンバリングにより履修科目の順序性を示し、カリキュラムマップとカリキュラムツリーを用いて体系性を明示します。

- 初年次教育として、理学・工学全般の幅広い領域の基礎学力を修得するため、理工学部が開講する「理工共通科目 I 群」を設置します【100 番台】。
- 1 年次から 3 年次にかけて、情報を学ぶために必要な基礎的な知識・技能を修得するため、理工学部が開講する「理工共通科目 II 群」を設置します【100 番台・200 番台】。
- 1 年次から 3 年次にかけて、情報に関する専門的な知識・技能を修得するため、本学科が開講する「学科コア科目」を設置します【100 番台～300 番台】。
- 3 年次からは、専門的な知識の修得及び関連分野の知識を深めるため、「学科専門科目」を設置します【300 番台科目】。
- 3 年次には自ら考究して課題に取り組む姿勢、論点を整理して他者と議論する能力を身につけるために「ゼミナール」を設置します【300 番台】。
- 4 年次には研究課題に取り組み、深い学識と実践力を養うため、「卒業研究」を実施します【400 番台】。
- 学術に向き合う倫理観については、学部共通科目や学科コア科目、学科専門科目として配された「実験科目」・「演習科目」【100 番台～300 番台】のほか、「卒業研究 I・II」【400 番台】を通じて指導します。
- 学科が提供し編成している上記のカリキュラムに加え、人間理解や異文化理解、コミュニケーションの力を養うために、4 年間を通じ全学共通科目や語学科目を学べるようカリキュラムを編成します。

## 2. 学修内容・学修方法

### (1) 学修内容

本学科の学生は、学びの順序性や体系性を考慮した科目履修を通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために必要な学修を行います。

dDP1に掲げる目標を達成するために、初年次に履修する「全学共通科目」の履修を通じて、人間・生命の尊厳への理解や豊かな人間性を身につけます。

dDP2に掲げる目標を達成するために、1年次から3年次に履修する「理工共通科目I群およびII群」や「学科コア科目」および、3年次から専門科目である「学科専門科目」を履修することにより、学際的な視点と多様な視点からの課題発見力を身につけます。

また、1年次以降の「演習科目」・「実験科目」や3年次の「ゼミナール」、4年次の「卒業研究」において、他者と協働するための表現・討議力、さらにはコミュニケーション能力やリーダーシップを身につけるほか、全学共通科目や語学科目を履修することで、異分野や異文化の人々と協働しながら課題を解決に導く力を身につけます。

dDP3に掲げる目標を達成するために、1年次に履修する「理工共通科目I群」、1年次から3年次に履修する「理工共通科目II群」、3年次以降に履修する「学科専門科目」の順に学ぶことで、専門分野および関連分野における知識を効率的かつ体系的に修得します。

また、2年次以降に履修する「演習科目」・「実験科目」を通じて、学修で得た知識・能力に基づき、自ら探求し問題を解決する力や、智を実践する力を身につけます。

さらに4年間の学修活動、とりわけ1年次から3年次に履修する「実験科目」・「演習科目」や4年次の「卒業研究」における先行研究や対象分野の学術動向調査などを通じ、オリジナリティの尊重など学術に向き合う倫理観に触れながら、学問に携わる者としての倫理観を身につけます。

これらの学修を通じて得た専門知識と実践力を活用し、4年次で行う「卒業研究」において個人ごとに異なる研究課題に取り組み自主性や探究力の定着をはかるとともに、卒業論文を執筆し知見を整理し表現する力を修得します。

### (2) 学修方法

本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、講義・演習・実験・実習等の多様な授業形態を用いた効果的な学修を行います。

また、能動的・主体的・協働的な学修を促すため、ディスカッションやプレゼンテーション等の双方向学修、PBL(課題解決型学修)、国際的な協働学修などの様々な方法による学修を行うとともに、課題設定等を通じて授業時間外の学修を促し、学修時間の確保と成果の定着を図ります。

### 3. 学修成果の評価方法

ディプロマ・ポリシーに示す目標に対する学生の学修到達状況は、シラバス等に明示された評価基準・方法に基づき、筆記試験、プレゼンテーション、レポート、論文等を用いて多角的に評価します。卒業論文については、明示された審査基準・方法に基づき、厳格に審査を行います。

### III. アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

上智大学理工学部情報理工学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修し、ディプロマ・ポリシーに定められた学修目標を達成できる学生を受け入れるため、以下の通りアドミッション・ポリシーを定めます。

#### 1. 求める学生像

本学科では、「他者のために、他者ととともに」という本学の教育精神および学科のディプロマ・ポリシーで掲げる目標を踏まえ、次の資質・能力を高めたいと望む学生を受け入れます。

- 持続可能な自然との共生の実現に向け、人間・生命の尊厳を尊重しながら物事を理解する姿勢
- 社会の諸問題に関心を持ち、情報技術を用いてその解決を図り、社会に貢献する意欲
- 情報科学、計算機科学、データサイエンス、通信工学、電子工学、数学、応用数理などに興味を持ち、自ら問題解決を思考し、実践するための専門的な知識・技能

#### 2. 入学前に身につけていることを求める能力

本学科では、カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程を履修するため、入学前に、以下の「学力の3要素」に関連した能力を身につけている学生を受け入れます。

##### (1) 知識・技能

- コンピュータ、プログラミング、アルゴリズム、データサイエンス、情報処理など情報学に関する素養と、理科・数学・英語に関する高等学校卒業レベルの知識と技能

##### (2) 思考力・判断力・表現力

- 科学・技術に関する諸問題について分野横断的に思考するための、論理的な思考力、幅広い視野、およびコミュニケーション能力

##### (3) 主体性・多様性・協働性

- 原因の解明や課題解決に向かって主体的に、かつ、多様性を意識しながら協働的に学ぶ意欲

#### 3. 入学選抜の方法

本学科のアドミッション・ポリシーに定める「求める学生像」にふさわしい入学を選抜するにあたり、「入学前に身につけていることを求める能力」を多面的に評価するための選抜を実施します。

一般選抜は、基礎的な学力・文章理解力・論理的思考力・表現力に加えて、実践的な英語力を評価した選抜を実施します。

特別入学試験では、書類審査・小論文・面接試験等を通じて、筆記の学力試験では評価しがたい資質・能力を多面的に評価し、総合的な選抜を実施します。